

千葉敬愛短期大学総合子ども学研究所

年 報

2018(平成30)年度

千葉敬愛短期大学

はじめに

鈴木 健一

千葉敬愛短期大学は、昭和25年に開学いたしました。昭和62年からはこの佐倉市に移り、地域の皆様の御理解・御支援を賜り、教育・保育の敬愛として、数多くの教育者・保育者を送り出してまいりました。さらに、平成26年には佐倉市と連携協力に関する包括協定を締結し、地域と共に歩む大学としてさまざまな取り組みを行ってきております。

総合子ども学研究所は、平成21年に開設されました。本研究所は、

「子ども」を様々な視点から、学問的・実践的見地に基づいて研究し、本学の教育の充実発展を図ると共に、地域の教育・保育に寄与することを目的とする

としており、地域連携、共同研究の推進を事業目的に掲げ、さまざまな取り組みをしてきております。

今年平成30年は、鈴木三重吉が『赤い鳥』を発刊して百年目に当たります。童謡や童話がスタートして百年という節目の年に、本研究所は「子どもと文化」というテーマのもと、童謡と絵本に関する公開講座を開催するなどの企画を進めてきました。

今年度の活動のあらましを、年報という形でまとめ、御報告いたします。併せて論文も掲載しております。御助言を頂戴できれば、ありがたく存じます。

本研究所の活動を進めるに当たっては、内外の方々から多大な御支援・御協力をいただきました。この場をお借りして、改めて深く感謝申し上げます。

千葉敬愛短期大学総合子ども学研究所 年報

目 次

はじめに	1
I 事業報告	
1 現代子ども学公開講座	5
2 夏休み子ども向け公開講座	20
3 通学合宿 2018	23
4 敬愛フェスタでの「いのちのはじまり」上映について	30
5 さくらコミュニティーカレッジへの講師派遣	32
6 佐倉市好学チャレンジ教室（ボランティア活動）	34
7 高大連携・高大接続教育	36
II 研究論文・資料	
絵本選書における大学図書館の課題	
保育者を志す学生の絵本選書傾向からの一考察	齋藤 めぐみ・吉村 真理子 43
保育所における乳児の保育事故を考える ヒヤリハットから	葛野 真恵 55
本学の学生と絵本 学生が選んだ絵本一覧	鈴木 健一 65

I 事業報告

現代子ども学公開講座

総合子ども学研究所では、年に2回、学外の研究者や実戦家をお招きしてお話を伺う公開講座を開催している。『赤い鳥』創刊から100年を迎えた2018年は、「子どもと文化」というテーマを掲げ、童謡と童話に関するお話をしていただいた。

1 第18回公開講座

童謡の歴史や童謡に込められた作者の思いなどを解説していただくとともに、多くの童謡を歌唱していただいた。



(1) 講座概要

- ①日 時 平成30年5月19日(土) 13:10～
- ②講 師 たいらいさお先生 (歌手)
- ③演 題 「童謡誕生100年『伝えたい！童謡のこころ、童謡の歩み』」
- ④会 場 本学体育館
- ⑤参 加 者 本学1、2年生、教職員、他に一般参加者82人
- ⑥主な内容 (配付資料の項目から)

1. あいさつ、講師紹介
2. 童謡誕生100年の概要と日本のうたのルーツについて
3. 子どもの歌、遊びのルーツとは？
4. 学校教育で歌われた歌はどんな歌だったのでしょうか？
5. 「童謡」の誕生！
6. 童謡に託された思いとは？
7. 奇想天外な発想の物語童謡で遊びましょう！
8. 戦後復興の象徴的な名曲を歌いましょう！
9. 詩人・音楽家が情熱を注ぎ込んだスーパー名曲幼児童謡を歌いましょう！
10. 歌い継がれ、伝えていきたい童謡について考えましょう!?

(2) 感想

① 一般参加者の感想

〈幼稚園教諭・保育士〉

＊とても良かったです。たいら先生もとても為になるお話ありがとうございました。ひろみせんせいもいつもいじょうに素敵でした、ありがとうございました。2年生はクラスによってとてもたのし

そうにしていた素晴らしかったです。

＊普段、あたりまえのように歌っている歌。その歌の意味や歌うこと自体のたのしきや大切さを学ぶことができました。早速月曜日から子どもたちの保育の中でいかしていきたいと思います。私自身、幼いころから童謡にふれてきました。その頃を思い出し、うたうことで情景が浮かびました。本日は貴重でたのしい時間をありがとうございました。

＊幼いころから童謡をきいたり、歌ったりしてきましたが、童謡の歴史や歌詞の意味を深く知ることがありませんでした。今回、このような機会を設けていただき、改めて童謡には故郷を思う気持ちや、実体験、日本の四季のすばらしさなど、この先子どもたちに伝えていきたいことがたくさんあると感じました。童謡をとおして心をうごかされました。ありがとうございました。

＊素敵な時間をありがとうございました。子供のころに聞いた曲、歌った曲、遊んだ曲を思い出しました。新しい曲がいっぱいありますが、昔ながらの童謡も改めてよいものだと思えました。今後、保育の中で、沢山童謡を子どもたちに伝えていきたいと思いました。とても楽しかったです。ありがとうございました。

＊とてもすてきな童謡 100 年の歩みの講演とコンサートでした。なつかしい童謡がたくさんでてきて、楽しく、楽しくとてもためになる会でした。ありがとうございました。ひろみ先生、すごく素敵で歌が大好きになりました。今後のご活躍を応援しております。本当に本当に素晴らしいコンサートでした。

＊小さい頃、両親に教わった記憶がよみがえってきました。最近の園では、新しい歌はたくさんうたうことが多いですが、うたいつがれていく童謡は、減ってきたと感じています。やはり思いがこもった童謡は大切な日本の財産でありうたいつがれていくもので、大事にしていきたいと思いました。

＊今日は楽しいひと時を過ごすことができました。たいら先生、岡崎先生も知っていましたので、興味、関心を持って講座を聴くことができました。どれも知っている曲で、曲のお話もとてもためになりました。ありがとうございます。

＊とても分かりやすく童謡の歴史をご紹介、ご説明してくださり、本当にありがとうございました。自分は、今の子ども達と接していて、とても戸惑ってしまう場面がたくさんあります。正直どうしていいかわからないときがありますが、今日は参加できてとてもプラスになりました。違った視点でまた子ども達に接することが出来そうです。たいらいさお先生、今日は本当にありがとうございました。

＊聞くだけではなく、一緒に歌うことができ、とても楽しく、あっという間でした。素晴らしい歌声に大変感動いたしました。今後の保育にも童謡を取り入れたいと思いました。

＊小さい頃に習い事で、多くの童謡をうたってきましたが、深い歴史があるということを今日学ぶことができました。これからの保育にも生かしていきたいと思います。

＊たくさんの童謡が聞けて楽しかったです。改めて歴史の深さを感じました。歌詞ももう一度見直し、又職場でも歌っていきたいと思います。ありがとうございました。

＊なつかしい童謡の曲が沢山あり、また、そのルーツなども聞くことが出来てよかったです。本当によいものは、世代を問わず歌いつがれていくのではないかと思います。

＊感動をありがとうございます。童謡誕生ストーリー、よくわかりました。今後大切に歌い続けたいと思います。

＊童謡の素晴らしさを再確認することができました。次回も是非この続きをしていただきたいと思います。是非、よろしく願いいたします。

＊短い時間でしたが、内容の濃い充実したひとときとなりました。

＊普段、子どもと一緒に、いろいろな歌を歌っていますが、今回のお話を聞き、一つの曲でもつくりあげられるまでに、色々な想いが詰められているのだと感じました。そして、次の時代をになう子どもたちに受け継いでいかなければいけないと思いました。本日はありがとうございました。

＊職場でも子どもたちと共に歌っている童謡ですが、ルーツをたどると平安までさかのぼり、また、数々の人々の子どもたちへの思いがたくさんつまっている、とても大切な物だということが改めて感じられました。多くの思いを、これから生きる子ども達に歌い、さらに先の時代へ残していきたいと思いました。貴重な時間をありがとうございました。

＊普段何気なくうたっていた歌にいろいろな想いがこめられていたこと、気持ちを込めて歌うだけで曲が変わって聞こえることを感じました。ありがとうございました。

＊童謡の歴史についてはじめて知りました。いろいろ歌っていく中で、保育でも久しぶりに歌ってみようと思います。ありがとうございました。

〈民間企業〉

＊今日はありがとうございました。久しぶりに幼い頃や子育てをしていたころを思い出し、また、今まで何気なく口ずさんでいた童謡のストーリーや深さを知ることができました。娘と話す良い体験にもなりました。短い歌の中に「喜怒哀楽」がこんなに入っているんだなと、とても感動です。今度は孫に歌ってあげられそうです！！楽しかったです。

＊本日は童謡の公開講座、とても楽しくわかりやすく、ありがとうございました。またこのような公開講座、よろしくお願いいたします。

＊ぞうさんの歌を聴いて初めて泣いてしまいました。とても感動した講座となりました。

〈保護者〉

＊とても楽しかったです。さすがNHK出身、素晴らしい歌声でした。感動しました。

＊久しぶりに色々と歌えて楽しかったです。「しゃぼん玉」切なかったです。

〈町内会長・自治会・地域住民〉

＊ありがとうございました。毎回、町内の皆様にも参加していただこうと考えております。今日は特に子育て中の奥さん、高齢者にも楽しい時間を共有できるし、大切なことだと思いました。

＊楽しいひと時でした。歌を歌うことは私たち年寄りには大変良いことだと思いました。

〈自治体職員・自治体ボランティア・公務員・学校事務〉

＊歴史をたどることができ、興味が増しました。表情や表現ひとつひとつが勉強になりました。

＊耳になじむ童謡には古い歴史があることが改めて分かりました。興味がわきました。貴重な時間をありがとうございました。

＊熱心なご講演ありがとうございました。広い会場とはいえ、声量のあるお二人のお話と歌、マイクなどいらないのではと思いました。また機会があれば、よろしくお願いします。

＊この様な機会をいただきありがとうございました。心地よく楽しく過ごすことができました。

＊楽しい講座をありがとうございました。

＊楽しい一日でした。ありがとうございました。童心に帰り一緒に歌わせていただきました。

＊童謡をただ楽しむだけだったのですが、その歌の背景に込められた感情を知ることができ、童謡の深さを知りました。たいら先生のお話と歌が素晴らしかったです。一秒も飽きさせない進行・構成に感謝です。地域の子どもたち、自分の孫たちにも伝えていこうと思います。

＊幼なき自分に戻れ、感慨深く両親を思い出しました。童謡は心に残ってました。

〈その他〉

＊とても楽しく時間を過ごすことができました。ありがとうございました。改めて童謡の素晴らしさ

を感じました。

＊今日は楽しく勉強になりました。また参加出来ればと思います。

＊子どもの頃を思い出させていただきました。童謡の素晴らしさをこれからも伝えていただきたいですね。

＊楽しく聴きました。いつまでも歌い?げて行けるのが童謡だと強く思いました。平和な日々が過ごせる世の中を願います。本日はよい機会をありがとうございました。この学園から素晴らしい指導者が育てられるのを希望いたします。

＊とても素晴らしい内容でした。幸せな時間をありがとうございました。

＊昔を思い出し、楽しい一日を過ごさせてもらいました。ありがとうございました。

＊今日はありがとうございました。とても聞きなれた曲であっても、一曲一曲深い意味があると知り、その心を感じながら聞くことができました。特に「しゃぼん玉」は涙が出そうになりました。

＊童謡の歴史を歌いながら楽しみながら学べました。なつかしい歌の知らなかった歴史も知ることができました。ありがとうございました。

＊講話とは違って自分も参加でき、楽しい時間を過ごすことができました。童謡の素晴らしさを、孫たちと歌い続けていこうと思います。ありがとうございました。

＊たいら先生の講演、とても心温まる歌をありがとうございました。岡崎裕美先生の歌声、声量とても素晴らしかったです。

〈保護司〉

＊とても楽しい時間をありがとうございました。童謡の一曲一曲に、こんな思いがあるとは…。感動しました。幼い子どもからお年寄りまで、この感動を少しでもお伝えできたらと思いました。勉強したいと思います。生涯の課題ができて嬉しいです。

〈福祉関係〉

＊楽しい時間を過ごすことができました。

② 学生の感想（一部・抜粋）

＊小さい頃から、私は家族や友人と、数多くの童謡を歌ってきました。「かたつむり」「ちょうちょ」、そして今回歌った「故郷」や「赤とんぼ」「しゃぼん玉」「さっちゃん」など、昔からうたっていたものを改めて今回歌い、とても懐かしい気持ちになりました。まだまだ歌っていたいとさえ思いました。しかし、そのような童謡にも、しっかりと意味があることを知りました。「あめふり」のように、楽しくなる童謡もあれば、「しゃぼん玉」や「赤いくつ」のように、悲しい童謡があるということを、改めて考えさせられました。特に「赤いくつ」という歌は、歌詞は元々知っていたため、悲しい童謡であるということも知っていましたが、「きみちゃん」という実在する女の子の話であると聞き、歌詞の中の女の子はもちろん、この童謡を作った作者はどのような気持ちでいたのだろうと思いました。童謡は喜怒哀楽全てが詰まっているというのは、その通りであると思います。

＊今回の講座を受講して、童謡の歴史や童謡を作った人の思い等について初めて少し深いところまで知ることができました。童謡は、私にとって幼い頃から慣れ親しんできたものですが、詳しく知っている童謡がなかったため、今回初めて聞く話がほとんどでした。中でも「シャボン玉」の話が印象に残っています。幼い頃から好きな童謡の一つで、昔は何も考えず元気いっぱいに歌っていました。けれど、この「シャボン玉」という曲には、作詞した野口雨情さんの幼くして亡くなった我が子に対する思いが込められていることを知りました。だから、これからはただ歌うだけではなく、歌詞や曲調等から作った人の思いや心を感じとって、それを表現するよう歌うことが大切だと思います。童謡が誕生して100年が経つということを知り、「そんな昔から歌われてきたんだ」と驚きました。

祖父や祖母の世代から、父や母の世代に伝わり、童謡が私たちの世代まで歌い継がれてきたということは、それだけ童謡に人を惹き込む魅力や歌うことの喜びを与える力があつたと考えています。そして、そのことを講師のたいらいさおさんやサポートをしていた岡崎裕美先生が実際に目の前で体現して、私たちに教えてくれたと思っています。一曲一曲を作った人の思いを汲み取るように強弱や抑揚で変化をつけながら、丁寧に心を込めて歌っている姿を見て、心をぐっと掴まれました。また、歌うことの楽しさがこちらまで伝わってきて、私自身も楽しんで歌うことができました。

＊「ぞうさん」は、ぞうはぞう、人は人という、尊厳を傷つけられないという意味があることを初めて知りました。鼻が長いと悪口を言われ、しょげたりする代わりに、一番好きな母さんも長いと、誇りをもって答えられる、そんな素敵な歌詞だったんだなと思いました。みんな違ってみんないいという言葉もあるけれど、人が人と一緒に生きていくために大切なことは、互いを認め合うことで、それは昔から同じなんだなと知りました。たいらいさお先生から教えていただいたことは、これから自分が保育士として働くのに、知っていて決して損はないことでした。知らなかったことを知れる楽しさも同時に知ることができました。受講して楽しかったです。

＊その曲に込められたおもいや経緯を知ると、歌うときに情景が浮かびやすく、感情をより込めて歌うことができると思いました。たいらいさお先生と岡崎裕美先生は楽しく歌われており、音を奏でることをとても楽しまれていて、「音楽」を感じました。童謡は幼い頃から聞き、たくさん歌ってききましたが、改めて童謡について知ることができ、楽しく歌うことができ良かったです。この素晴らしいたくさんの童謡をこれから子どもたちにどんどん伝えていきたいと強く思いました。音を奏でる楽しさを伝えたい、伝えなければならないと感じました。自分自身これからもたくさんの童謡を学び歌い続け、その歴史や作詞曲者の方々のおもいなどを調べてみたいです。改めて歌を歌うこと、演奏すること…音楽は楽しいと強く感じた一日でした。童謡誕生100年。これからも深化していく音楽と共に、自分もたくさん成長していきたいです。本日はたくさんの方を教えていただきまして、本当にありがとうございました。

＊一つ一つの童謡曲には、悲しい意味、すれ違い、喜怒哀楽などいろいろな意味や歴史などがつまっているということがわかりました。私は、童謡の奥深さを知って、もっと一つ一つの曲につまんでいる意味や歴史を調べてみたいと思いました。また、調べたことを生かして、たいらいさお先生や岡崎裕美先生のようにその曲にあった歌い方をできるようにしたいです。そして、今日の講座を受講して、わたしはいつの時代や何歳になっても童謡を大切にしていこうと思いました。また、教育者になるので、子ども達に童謡のおもしろさや歴史などを話して、童謡を次の世代、そのまた次の世代へと伝えていきたいと思いました。童謡誕生100年ということで、たいらいさお先生や岡崎裕美先生の講座をはじめ、貴重な体験が教育者になる前にできてとても良かったです。楽しかったです。

＊今回の講座で「童謡は、保育者になろうとしている私たちや保育者が、次の世代へと語り継いでい



くこと」がとても大切であると強く感じました。これからも、学校での学びを通して、より多くの童謡に触れ、沢山の知識を身につけ、そして、童謡の素晴らしさを伝えていけるようなスキルや能力を養っていきたいと思います。

＊童謡は楽しいだけでなく、その他の感情も表しているのだと知った。「シャボン玉」では幼くして亡くなった悲しみを、「赤いくつ」では親と離ればなれになってしまった悲しみを歌に乗せて伝えていることを知り、何気なく歌っている曲にもこんな深い意味があるのかと感嘆した。私が一番感動した童謡は「ぞうさん」である。ぞうさんは、他の動物とは違う自分の長い鼻を誇りに思っているような歌詞である。それは、人とは違う自分の特徴を卑下するのではなく誇りに思うことがたいせつであることを伝えている。今、日本は多国籍な保育園が多くなってきたり、障害児を健常児と同じ環境で育てるインクルーシブ保育が出てきたりしている。その中で、こどもにわかりやすいよう、みんな違うことを誇りに思うことの大切さを「ぞうさん」を通して子どもに伝えていきたいと思う。

＊「しあわせなら手をたたこう」「茶つぼ」「ずいずいずっころぼし」など、参加型の講座でとても楽しかったです。小さい頃によくやったのを思い出して、懐かしい気持ちになりました。たいらいさお先生の歌声は心にとても響いて、自然と私も歌いたくなりました。特に裕美先生とのデュエットは、とてもきれいで感動しました。日本の童謡は親しみやすく、日本の文化を知ることができるような歌ばかりだと思いました。聞いていると、なぜか安心するような、ホッとした気持ちになります。もっとたくさんの童謡を知りたいと思うようになりました。そして、それらを子どもたちにたくさん伝えていきたいと思いました。

＊「どんぐりころころどんぶりこ」、「ゆきやこんこ」など、普段何気なく歌っている歌の歌詞をずっと間違えて覚えていたというのは、びっくりした。小さい頃からよく歌っていた「むすんでひらいて」は、元は「見わたせば」という別の歌で、戦後に「むすんでひらいて」に変更されたことは初めて知った。「しゃぼん玉」は楽しくて明るいイメージだったけど、その裏側には幼くして亡くなった娘への切ない気持ちも込められていて、そういうエピソードを聞くと、歌い方が少し変わるかなと思った。童謡の良い所は、楽しいだけでなく、喜怒哀楽が含まれていて様々な気持ちになれるところ。「赤いくつ」は曲調や歌詞からとても悲しいという気持ちが伝わってくる。幼児のために曲づくりをした「ぞうさん」(まどみちお)、象の尊厳、象が象であるという曲。「いぬのおまわりさん」(スーパー名曲幼児童謡)。テレビの普及⇒リズムミカル、遊び歌、動きのあるもの「おもちゃのチャチャチャ」。子どもに関わる保育者という職業なので、こどもに“歌うことの楽しさ”を味わってもらえるようにしたい。日本の文化である童謡を子どもたちにたくさん伝えて、それから先の時代も歌い継いでいけるようになると良いなと思った。

＊2018年は童謡が誕生して100年という話を聞き、童謡の歴史の長さを感じました。童謡クイズで、雪やこんこあられやこんこであると、初めて知りました。幼い頃からずっと口ずさんできた歌でも案外間違えて覚えているのだなと思いました。幼い頃から何気なく聞いて知った気になっているけれど、一曲一曲きちんと勉強すれば、曲に込められた思いや歴史を知ることができると思うので、勉強したいと思いました。今私達が歌っている曲が100年程前から歌われているということは、100年前の時代に生きた人も歌っていたことになり、音楽を通して異なる世代の人と繋がれることを感じました。歌と共に手遊びや踊りなど、童謡を通して様々な楽しみ方に広げていけると思うので、子どもと共に楽しみながら親しんでいきたいと思います。

＊童謡は時代を超えて長い間歌い継がれていることがわかった。100年という時の流れの間に世の中の情勢で歌の解釈が少しずつかわって親しまれていることもあり、人々の生活に密接だということ

を感じた。曲のリズムや音源が外国からのものもたくさんあるということで、国によって歌詞をつけて雰囲気が別の曲になっているのも面白いと思った。今回、地域の方、保護者も参加していたが、いろいろな世代の人が楽譜なし、歌詞カードがなくても自然に口ずさめる童謡は、いくつになっても心にずっと残る不思議な魅力があるのだと思った。どの人も楽しそうにしていたと会場の雰囲気を見て思った。実際、母も参加していたが、作曲、作詞家が童謡を完成するまでの背景などを聞くことができ、曲に込められた想いなど興味深く、改めて聴くと今までと違う意味も感じられて、表面的な楽しさだけでもよいけれど、違う哀愁もあり、涙ぐんでしまう曲もあったそうだ。童謡は幼い子がうたうものと思っていたけれど、ずっとうたい継ぐ大切なコミュニケーションのツールになると学ぶことができた。たいらいさお先生、ひろみ先生といろいろな童謡を聴くこと歌うことができ楽しかった。童謡の素晴らしさを再確認することができた。

＊今回の講座を受講し、まずは導入で全体を立ち上げらせ全員参加型の雰囲気を作り上げられていて、これからの講座の内容を考えたり期待させる導入であると感じた。わらべ歌では、「ずいずいずっころばし」「茶つぼ」など私たちに馴染み深いものを実際に行うことで、何人かと一緒に行うことの楽しさや、歌いながら手を動かすことなどの楽しさを体感することができ、自分で体験したことは子どもたちに伝えることができるので楽しみながら学ぶことができた。特に小学校1年生は就学前施設で童謡に触れて生活をしてきていると思うので、学校生活の中に取り入れていき、教科としての音楽につなげ、童謡を歌うことから唱歌という活動に慣れさせていくことが大切であると感じた。また、童謡の中には音楽の授業で歌うものも多々あり、童謡に対する知識は音楽教育の唱歌を充実させる有効な手立てであると感じ、理解を深めていく必要があると考えられた。先生の歌い方を聴き、歌詞の意味や変化に応じて強弱や声色を変えられており、表現の多様性やそれを聴く際の鑑賞の観点など、子どもたちに伝えられることがたくさんあると感じた。童謡には、手で遊ぶもの、体全体を使って動きながら歌うもの、物語になっているものなど様々な種類があり、友だちと遊んで友情を深めたり歌詞の意味を考えて自分なりに表現したり、色々な活用方法があることを知り、唱歌から、身振り、振り付けなどを加えた表現につなげていくことができると考えられた。

2 第19回公開講座

子どもの年齢に合った絵本の紹介をしていただき、読み合い・読み語りの要点を教えていただいた。また、絵の役割の解説とともに、先生御自身の読み語りを披露していただいた。

(1) 講座概要

- ① 日 時 平成30年11月17日(土) 13:10～
- ② 講 師 生田美秋先生
(絵本学会理事、絵本専門士養成講座講師)
- ③ 演 題 「保育と絵本を学ぶ人のために」
- ④ 会 場 本学体育館
- ⑤ 参 加 者 本学1、2年生、教職員、他に一般参加者86人
- ⑥ 主な内容 (配付資料の項目から)



- ☐ 保育を学ぶ人に 保育の基本
- ☐ 楽しい時間を分かち合うあかちゃん絵本

- ☐子どもの成長・発達と絵本
- ☐こんなとき、こんな絵本—絵本で保育
- ☐絵本から遊びの世界への展開
- ☐絵本の効果を証明した古典 『クシュラの奇跡—140冊の絵本との日々』（ドロシー・バトラー著、百々佑利子訳、のら書店）エリナー・ファージョン賞受賞
- ☐読み語りの効果を脳科学の分野から検証する『読み聞かせは心の脳に届く』（泰羅雅登著、くもん出版）
- ☐はじめて出会う本だからこそ最高のものを
- ☐文と絵が一体となって一つの物語を構成しているのが絵本です
- ☐絵本を読むということ—子どもと大人の読み方の違い
- ☐絵本は子どもの心（脳）と言葉の栄養
- ☐絵本は保護者や保育士が子どもに読んであげる本です
- ☐どんな上手な読みも、保護者や保育士の声にはかなわない
- ☐まず読み手である自分が楽しむことが基本です
- ☐絵本は読みっぱなしでよい理由
- ☐「聞く耳」を育む、読み合い・読み語り
- ☐読み合い・語りは就学前までというのは間違いです
- ☐よい絵本とはどん絵本ですか？
- ☐読み手である自分が好きな絵本を読んであげたい。
- ☐「成人式を迎えた絵本」
- ☐何度もリクエストする絵本を買ってあげたい
- ☐下読みが大切
- ☐絵本の持ち方、めくり方
- ☐会場作りとプログラム
- ☐読み語り上達の秘訣
- ☐「お話し会」はレストランのお食事気分で
- ☐本は人の一生を潤すもの
- ☐子どもへの映像メディアの影響
- ☐就寝前は読み聞かせの時間
- ☐ゆとりを持って絵本を楽しむ
- ☐「いつも本のある家庭、園」
- ☐絵本の輪を広げるために
- ☐『認定絵本土』養成制度スタート—関東で唯一の認定大学 千葉敬愛短期大学

（２）感 想

① 一般参加者の感想

〈保育士（保育所・こども園）〉

＊絵本の読み伝えをする時は、文章を重要視するのではなく、とびらや裏表紙にも重点を置き、読みたいと思いました。様々な絵本も出版されていますが、昔ながらの古典的な絵本も取り入れていき、子どもたちと楽しみたいと感じました。

＊今日はありがとうございました。子どもにとって絵本が大切なことを、気をつけながらいつも読み

聞かせをしているのですが、今日話を聞いて、改めて絵本の読み聞かせをしていきたいと思いました。

＊いつも読んでいる絵本を、もう一度見直して何度も読んでから、読み伝えをしていきたいなと思いました。絵本は好きで書店でよく探すのですが、その時もよく見て選んでいこうと思います。もう一度見直す機会を与えていただき、ありがとうございました。

＊絵本は内容だけが面白いのではなく、イラストでも子どもたちに伝えられることがあることがあったので、絵本をより丁寧に見てみようと思えることができました。絵本は短い話の中にも子どもの姿や遊び心がたくさん描かれていることに驚きました。心にゆとりを持ちながら、子どもたちと一緒に絵本が楽しめるようにしていきたいと思います。

＊「絵本の大切さ」をあらためて感じ、絵本がさらに好きになりました。絵本を通じて、子どもとのスキンシップや保護者の会話にも盛り込んで、親子での時間を（共働きで忙しいですが）作ってもらえるようにしていきたいと思いました。

＊本日生田先生の講演を聴き「絵本」は子どもの発達・成長・基本的な人格を育むためのとても大切な教材だということを感じました。保育所で子どもたちに絵本を読み聞かせることもあります、じっくりと絵本を読みとくことをしていなかったのが、今回のお話を聞き、学んだことを活かして子どもに適した絵本選びをしていきたいと思いました。また、今まで「読み聞かせ」という言葉を使ってきましたが、「絵本」は「語り合う」ものということを知り、自分の中でもじっくりときました。子ども達との「読み語り」の時間を大切に作っていききたいと思いました。本日は本当にありがとうございました。

＊本日はありがとうございました。大変勉強になりました。絵本を学ぶにあたり、保育の基本を再確認、改めて保育へ向かう気持ちを大切にしていきたいと感じた次第です。子どもの幸せを考える仕事の前提には、まず子どもに携わる自分自身が幸せであること、精神衛生がよくなければいけないということは、とても納得のいくものがあり、職場において職員も子どもたちにとっても心地よい環境づくりを大切にしていきたいと思う。その中に絵本を取り入れ、楽しい日々が送れるようにしていきたい。

＊今回この研修に参加し、絵を読みとくということの面白さを特に感じました。普段文章を読んで楽しんでいるのだと、この研修会に参加し思いました。子どもとさらに絵本を楽しむ為に、もっと絵本を丁寧に読んでいこうと思いました。また、絵本と子どものつながりを大切に子どもの様子を見て絵本を選んでいきたいと思います。

＊大学時代の講義を思い出しました。大切なことを教わっていたと改めて感じました。毎日忙しくて忘れていたことも、また思い出すことができたので、子どもたちに丁寧に大好きな絵本を読んで、子どもたちと絵本を通じて「好き」を共有していけたらいいなと思いました。また絵本についての勉強もしていきたいと思います。

＊普段から「はじめてのおつかい」を保育の中で読む機会があり、何度か読んでいたのですが、今日の講座で猫がどこにいるかという話が出てきて、今まで何度も読んでいるのに、気づくことができていなかったことに気付きました。生田先生の言うように、絵をよく見ていなかったのだと、改めて感じる事ができました。読むだけではなく、絵がどのように繋がっているのか、子どもはどこに目を向けてその絵本を見ているのかを考えてみながら、今後も子どもたちと楽しく絵本を見ていけたらいいなと思いました。

＊絵本を読みとく、ショートストーリーについて感心しました。「はじめてのおつかい」もよく知られている絵本ですが、改めて読み直し、色々な絵を探してみたいと思いました。絵本を通して子ども

たちの発達、成長を助けていけるように日々の保育の中で読み聞かせていきたいと思います。ありがとうございました。

＊なかなか絵本を選んだり新しい面白い絵本に触れる機会がなく、今回は色々と紹介してもらえかなと思い参加しました。改めて、絵本は子どもの栄養になるんだと感心しました。絵本を通じて他者とかかわるきっかけとなるというのも印象的で、聞き手―読み手の人間がいなければ読み語りは成立しないということに気づかされました。一人では成立しないからこそ、テレビや動画などの電子媒体とは違っていると感じます。推奨されるゆえんなのですね。

＊普段読んでいる絵本もきちんと読んでみたら、細部までこだわって作られていることが分かりました。下読みをして、子どもたちが気づけるように働きかけて良いと思いました。読み聞かせをやめて、読み語りをしていきたいと思います。

＊改めて、絵本が子どもにとって大切なものだということに気づかされました。ありがとうございました。

＊改めて、絵本が子どもにとって大切なものだ実感しました。今回のお話を職場でも生かしていきたいと思います。

＊子どもの発達に合わせて、どんな絵本を選べば良いか等、実践で生かせそうな話も交えての講演でとても参考になりました。

＊絵本の必要性がとても分かりやすかったです。

〈保育士（施設）〉

＊「はじめてのおつかい」は好きで読んでいましたが、あんなに奥が深いとは思っていませんでした。もう一度絵を見返してみたいと思います。最後の「だいじょうぶ だいじょうぶ」は感動しました。心がジーンと熱くなりました。先生のお話は分かりやすく、ためになりました。これから生かしていきます。

＊今日はありがとうございました。絵本に関しての講座ということで楽しみにしておりました。この講座で学んだことを日々に活かしていきたいと思います。

〈幼稚園教諭〉

＊子どもの成長や発達の事を年齢別に詳しく書かれてあり、簡単にいただいた説明もとても分かりやすく感じました。絵本をたくさん見ていき、子どもたちにもたくさんの絵本に触れられるようにしていきたいと思います。

＊土曜日に講座があり、参加しやすくなりました。先生方や職員の皆様の準備等感謝申し上げます。生田先生のことはこの講座で初めて知りました。レジュメの中にたくさんの先生の著書の紹介があり、読んだ本も持っている本もありますが、知らなかった本もありましたので購入したいと思いました。知っていたことや現場で実践していたこと等、講演の内容はこれまで何度も耳にしていた内容でしたが、再び確認し、絵本の魅力や絵本の持つ力を改めて実感しました。今日はこのような機会を作ってくださいありがとうございました。

＊日々の保育の中で何気なくしている読み語り（読み聞かせと私も言っておりました）、とても勉強になり、改めて選び方から読み方まで学ぶことができました。中でも保育者自身が読み語りを楽しむということが大切だと思った時には、はっとさせられました。この時間、みんなが座っていただけるかな聞いてくれるかな、そんなことに悩んでいたこともあり、選び方や発達の段階を知れたことで、これからの読み語りの意識が変わりそうです。本当にありがとうございました。

＊身近にある絵本、理解はしていましたが、改めて絵本の大切さを感じました。林明子先生から、「はじめてのおつかい」のおもしろさを若い頃にお聞きし、今日再度思い出しました。私自身もワクワク

ク、ニヤニヤしたこと、さっそく月曜日子どもたちと一緒に楽しめます。最後に読んでいただいた「だいじょうぶ、だいじょうぶ」は涙が出てしまいました。この絵本に出会えて良かったです。ありがとうございました。また勉強させていただきたいです。

＊休日に一般も参加できる会を開催していただき、ありがとうございました。

＊もっともっといろいろなことを学ばなくてはいけないと、教育の重さを強く感じるようになっていきます。絵本についても…。基本に戻ることができました。いい絵本を見つける楽しさを改めて感じました。絵本の世界に子どもと共にひたれば、こんなに絵本から感動を受けるのだという体験もできました。本当に本日はありがとうございました。

＊現場に出ている、今の学生が学んでいる授業の一環の話を伺えたこと、とてもうれしく思いました。色々な資格が増える中、今の学生はたくさんの方が学べて羨ましいと思います。大勢の参加でしたが、少人数での読み語りや、おすすめ（の講座？）、実力を伸ばすなどの研修などあったら嬉しいです。先生が出されている本を読みたいと思いました。

＊「はじめてのおつかい」は大好きな絵本でしたが、絵を読むことははじめてで、色々な情報や仕掛けがあるんだなあと初めて知り、もっと大好きになりました。絵本は幼児活動の導入として使いがちでしたが、今日の講演を聴いて絵本も一つの大切な教育なのだとわかり、1ページ1ページゆっくり丁寧に読んでいきたいなと思いました。来週から帰りの活動の前に絵本を読む時間を作り、毎日必ず一冊読んでいけるように頑張りたいと思います。ありがとうございました。

＊日々の絵本の読み方、選び方、考えることができました。下読みの大切さも実感です。月曜日から保育の中で改めて子どもたちに絵本を読んでもみたいと思い、反応も楽しみになりました。ありがとうございました。

＊子どもの成長に合わせた絵本選びが大切だということを学び、今後の保育で絵本を選ぶ時に参考にさせていただきたいと思いました。挿絵の見方が変わりそうです。これからは注意深く見ていきたいと思いました。子どもたちと一緒に良い本を、たくさん読み語りをしていきたいと思います。ありがとうございました。

〈高校生・企業指導型保育園保育士・学童指導員・民間企業・自治体ボランティア〉

＊子どもたちの想像力、表現力、社会性を育てるためには、絵本の読み合い、読み語りが必要だということを改めて感じました。自分がその絵本を好きになるということから始めようと思いました。

＊絵本を選ぶのは本当に難しいです。絵本は読む側も楽しまなくてはいけないということがよくわかりました。私も1歳8か月の娘がいるので夜などメディア（ビデオ）など見せてしまうことが多いので、時間を作り絵本を読んであげようと思います。

＊資格を取ってみたいと思いました。最後に読んでいただいた「だいじょうぶ だいじょうぶ」、涙が出そうになりました。購入したいです。

＊家に帰り「はじめてのおつかい」をすぐ読んでみたくなりました。子育て中は忙しい中で読み聞かせしながら先に私が寝てしまったり…。孫ができ、ゆったり一緒に楽しんで 読み合いします。とても、感動と発見ができて楽しかったです。帰って娘と今日の話ができそうです。

＊ありがとうございました。認定絵本土の資格は一般の方も学べるのでしょうか？

〈一般〉

＊本日の講座、受講できてもっと絵本が好きになりました。自分の子ども、自分の周りの子どもたちに、もっともっと素晴らしい絵本を届けたいです。本日はありがとうございました。

＊とてもためになる講座でした。育児中なので子どもと絵本を楽しみたいし、絵本を通して子ども

の悩み（カウンセリング）も知れたらと思います。忙しい中で絵本の時間を作りたいです。

＊保育士は人格形成の基礎を作る大事な仕事。その中で絵本は大事な位置を占めていることを強く感じた講演でした。絵本を、スライドを通して解説してくれたことはとても参考になり、また改めて絵本を読みたくくなりました。保育士の現場からすでに20年前に退職していますが、また子どもたちと関わりたくくなりました。

＊本日はとても参考になるお話ばかりで、とても勉強になりました。絵本がこんなに子供の成長に影響を与えていることを、改めて考えさせられました。

＊一冊一冊丁寧に下読みし、読み合い・読み語りができるようにしていきたいと思います。生田先生、ありがとうございました。

＊絵本の読み聞かせの良いお話ありがとうございました。参考になりました。孫三人のバアバ

＊ボランティアとして子どもたちに絵本を届ける活動を10年以上しています。その中で体得してきたことが実感できたり（子どもの発達との論理など）、新たな気づきもたくさんあり、とても勉強になりました。ありがとうございました。認定絵本土の講座を一般向けにも聴講可能にいただけたらと希望しております（なかなか絵本専門士の講座は受けられないので）。

＊かつて様々な生い立ちや背景を持つ高校生に、授業のはじめや終わりのわずかな時間で絵本の読み聞かせの実践をしていました。不遇な環境で育ったため、生の感情を表出する傾向が強く、情緒の発達が十分でないように思えたからです。言葉で伝えるのではなく、絵本の絵や文を見たり聞いたりする中で、「ああ、そうだなあ」「本当に…ね」と感じる体験をたくさんしてほしいと思いました。荒れた言動をする子どもの、心の奥に残っている「希望」や「可能性」に期待したかったのです。きっとどこか心の中に、柔らかく温かいもの、しっかりとした人間の軸が育ってくれると願っています。そして、絵本は子どもたちだけでなく、時に、疲れた大人たち、生きにくい環境にいる人間を潤す力があると信じています。生田先生の今日のご講演は、会場にいた皆の心に様々な種をまいてくださったように思います。明日からまた「人生」を楽しんでいこうと思います。今日の出会いに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

② 学生の感想（一部・抜粋）

＊子どもと大人とでは絵本の読み取り方が違うことを知りました。子どもは最初絵を見て内容理解に入りますが、大人は最初文章を読んでから内容理解に入ろうとします。この性質を知ったので、実習で絵本を読む機会をいただいた時に、自分が思っているよりも、もっと子どもに絵を見せる時間を増やそうと思いました。また、「よい絵本」を選ぶコツを知りました。七つあって、ストーリーとテーマが分かりやすいか、子どもが理解できる子どもの共感を呼ぶ内容か、ブックデザインや造本がしっかりしているか、文はリズムのある正しい日本語が用いられているか、ストーリーとイラストレーションは調和しているか、イラストレーションを追うだけでストーリーがわかるか、イラストレーションはストーリーに込められたテーマを表現できているかです。

＊私は、下読みの大切さを改めて感じた。「はじめてのおつかい」で、掲示板に広告が描かれていて、その前のページには広告の内容が隅の方にあったり電柱の印があることで、位置関係が分かったりすることが、絵で表現されていることを初めて知った。そして、今までの絵本をもう一度読み直したいと思った。作者が伝えたいページは、速くめくらずに絵をよく見せたり、間が大切だと学んだ。また、子どもたちが「絵本を読んで」と持ってきた時は、何度か読んでいた絵本でも繰り返し読んであげることが大切だと学んだ。保育者が絵本を選んで読む時には、成人式を迎えた絵本を読み、子どもたちの反応から絵本を見分ける物差しを自分の中に作っていききたい。実習の時に子どもの前で読み聞かせをさせていただける機会があったら、今回の講座で学んだこと、大切だと感じたこと

を活かしたいと思う。認定絵本士という資格取得を目指すうえでも、もっと絵本を考えて読み込み、楽しみながら読み聞かせができるようになりたいと考える。

＊生田先生は、お話の途中で何度も「絵本は年齢に即したものを選ぶことが大切」だとおっしゃっていました。絵本をただ読むだけでは意味がなく、何歳の子もは何ができて、何に興味を示す時なのかを意識して絵本を選び、子どもが絵本を楽しめることや絵本を通して遊びが広がることに意味があるのだと思います。幼い頃は、保護者や保育者と楽しい時間を一緒に過ごし、コミュニケーションをとることが大切です。絵本と一緒に読み楽しむことは、コミュニケーションをとることにも発達を促すためにも良いと感じました。また、読んでもらい眺めるだけだった絵本を自分で持とうとしたり、ページをめくり次の場面を想像したりと成長にともない絵本の楽しみ方が変わってきます。それを理解し、子どもの発達に合った絵本を選び、子どものその後の遊びや生活が豊かになるように保育を展開していくことが大切だと思いました。

＊子どもと絵本の関係、絵本を読む保育者や保護者など、絵本の良さや大切さが改めてよく感じられました。あかちゃんは生後4～7ヶ月頃から絵本に興味を持ち始めること、大人の読み合いや読み語りを通して、1～2歳は言語力（語彙力）や情緒が、3～5歳では想像力や社会性が育まれることなど、絵本がそれぞれの年齢時に与える力が学べました。この絵本が与えてくれる力は、これから先、人としてなくてはならない大事な力なので、あかちゃんの時から絵本に触れさせ続けることが大切だと思いました。子供にとって絵本は心と言葉の栄養であり、絵本との出会いがその後の遊びや生活を豊かにしてくれます。だからこそ、子どもに絵本と触れ合う機会を与えたり、読み聞かせをしたりする保育者や保護者の存在もまた大切になってくると学びました。まず、基本として読み手である自分が楽しむこと、それから子どもの発達段階に応じた本や自己肯定感と信頼感に基づくハッピーエンドの絵本などのよい絵本を選び、読み方にも気をつけていくことが大切だとわかりました。

＊好きな絵本を繰り返し読む大切さを学ぶことができた。今までは大人と同じ考えで、一冊読んだら次は当分読まないということが飽きを生まない方法だと考えていた。しかし、何度も同じ本を読み、子どもがそれを覚えることで、発語や言葉を覚える近道であると気付くことができた。また、絵本を一对一で読み合う大切さも学ぶことができた。こうすることで、保育者と愛着を築くことができ、情緒の安定へつながると気付いた。

＊保育に関わる上で、絵本は欠かせないものであり、就職後は今よりもさらに必要なものになるし、たくさんの絵本を知っておかなくてはならないので、今日の講座はこれからの私たちにとってとても良い機会だと思いました。絵本は、言葉が分からない赤ちゃんでも興味を示し、小さいうちから読めば読むほど言語力や情緒、想像力などの基礎的な力が育っていき、子どもを育てる上では本当に大切な本当に大切なものなんだなと思いました。また、親子で対話を楽しみながら絵本と関わる



ことで愛着関係が築けるなど、絵本にはたくさんの力があることが分かりました。

＊私は最初、色々な種類の絵本を読むことが大事だと思っていましたが、好きな絵本は何度も読んだ方が良いことを学びました。たくさんの絵本を知ることもちろん大事なことです、一冊一冊の細かい工夫などを知っていいと思いました。「はじめてのおつかい」では、細かい工夫がされていることを学びました。おつかいに行く場面の歩いているところが、手と足が一緒になっていることに初めて気づきました。これは緊張を表わしていると知りました。そして裏表紙にはお姉ちゃんの手がお母さんのひざの上に置いてあり、「かまってほしい」など甘えている様子を表わしていることだとわかりました。このようなことを知り、絵本がもっとおもしろく感じました。「はじめてのおつかい」だけでなく、色々な絵本の細かいところをもっと見てみようと思いました。

＊人格というのは、保育園・幼稚園の時期に育つものであることがわかりました。そして、それを育てることができるのはすぐれた教育者であることもわかりました。子どもの幸せを考える前に自分が幸せでないといけないこと、保育者・教育者は精神衛生がよくないといけないということを知りました。自分の気持ちのコントロールができないと、子どもの対応に影響してしまうということだと思いました。

＊絵本は子どもの想像力をふくらませて遊びへと展開させることができるということで、子どもにとってなくてはならないものであるということがわかりました。だいたい何歳ぐらいでこういった力が形成されているのか、それに応じてどのような絵本がいいのかも、詳しく説明があり、すぐに読み聞かせなど現場で生かせると思いました。読み聞かせという子どもとのスキンシップをすることで信頼関係が築かれるということから、子ども一人一人と向き合い接するうえでの大切なことだと再認識できました。また、「はじめてのおつかい」を読み聞かせしていただき、その絵の場面ごとに解説をしていただいたことで、今までは気づかなかった作者林明子さんの工夫や思いに気づくことができました。子どもに読み聞かせをする時には、こういった工夫を知っているほうが、より子どものことを考えた読み聞かせができると思うので、今回のこの学びを生かしていろいろな絵本を読みたいと思っています。

＊言語力、情緒、想像力などの基礎的な生きる力を育むために、乳幼児期の絵本体験は本当に大切なことであるとわかりました。今考えると、幼い時に毎日たくさん絵本にふれさせてくれた母に感謝だなと思いました。1歳代は、一対一で読むのが基本で、好きな絵本を繰り返し読んであげること。2歳代は、言葉をたくさん獲得するから「言葉のシャワー」をあげてあげること。などが大切なところであるということがわかり、年齢のポイントを押さえて絵本選びをしてきたいと思いました。絵本は読んで終わりではなく、それを題材に遊びへと展開して楽しむことが大切であると学びました。また、最後のページを読み終わったら終わりではなく、裏表紙までしっかりストーリーがあるので、最後まで見せるということも大事にしていきたいと思います。子ども一人一人の伸びる力を見極め、その成長を助けてあげられるような絵本を伝えていけるような保育者になりたいと、お話を聴いていて強く思いました。

＊今回の講座を受講して、保育と絵本の関連性や絵本について学び、絵本に関する知識と見方を広げることができました。乳幼児期は、絵本を読むのではなく、乳幼児と保護者や保育者が絵本を介して楽しい時間を分かちあうコミュニケーションが大切な時期で、発達を促すのだと学びました。また、1～2歳は言語力や情緒が、3～5歳は想像力や社会性が育まれるため、子どもの成長・発達に対応した絵本を読むことが必要であると理解しました。そして、発達した力から出た芽を伸ばしてあげることが保育者に求められるとわかりました。3歳を過ぎると多くの子どもはストーリーを理解して遊びに展開させるようになるので、想像力や創造力が膨らむような絵本を保育に取り入れたいと

思いました。子どもは文字が読めないため耳で聞きながら絵をじっくり見て絵本を理解しようとすることから、絵本は絵に語らせる工夫が凝らされていると知りました。「はじめてのおつかい」を例に、読み解いてみて、子どもが主人公になりきれのような構図であったり、子どもが見つけて楽しめるものが隠されていたりしました。また、作者の遊び心として、ショートストーリーが含まれていました。文章を読んで話を理解するだけでなく、絵を見てわかることや楽しめる工夫があるからこそこの絵本なのだと思います。

＊私には忘れられない絵本があります。「ノンタン」シリーズです。地元の病院で何度もくり返し読んでいた記憶があります。子どもは好きな絵本をくり返し読むという言葉聞いて、その頃を思い出しました。知っての通り、絵本には年齢によってさまざまな種類があります。何故違いがあるのか、文字の量の違いだけなのかと思いましたが、それだけではなく、年齢によってはページをめくことを楽しんだり擬音を楽しんだりするという、子どもの年齢別の楽しみ方の違いがあることを知りました。年齢によって心の発達の違いや絵本の楽しみ方が違うため、そのあたりも考慮してこれから絵本を選んでいこうと思いました。絵本は、ただ子どもが楽しむためのものではなく、絵本によって何かを伝え、心の成長を促すものであることが分かりました。障害者の成長に大きな効果があったり、脳の発達を促したりすることには驚きでした。また、「はじめてのおつかい」で、みいちゃんが緊張の現れで両手両足を一緒に動かしている絵や、必死にお金を探そうとして他のことが見えなくなっている絵など、絵本の中の絵によって感情や状況を伝えているものもあり、絵をより深く見てみたいと思うようになりました。

＊今回の講座で一番最初に学んだことは、子どもの幸せを考える仕事の前提にあるのは、自分自身が幸せである必要があるということです。子どもに接する時に精神衛生がよくなければ、不機嫌だったり、イライラしたり子どもに冷たく接したり意地悪なことをしてしまうということも学びました。ですから私は自分が今幸せなのかどうか、自分自身としっかり向き合って考えたいと思いました。いつも突っ走るのではなく、時には立ち止まって振り返ってみてもいいと思いました。そして子どものことが大切で子どもの味方になろうとして親まで敵にするのではなく、良い関係を築き家庭との連携がとれるようにすることが大切であり、子どものためにもなるのだと改めて学びました。現在ブックスタートが全自治体の60%以上で実施されており、絵本の読み合いの大切さが浸透しているということを学びました。生後4～7ヶ月頃の赤ちゃんは絵本の内容も分からないし言葉の意味もわからないので、絵本を読むのではなく、赤ちゃんと保護者が絵本を通じてコミュニケーションをとり、発達を促すということを目的に実施しているのだということを学びました。保育者が絵本を子どもたちの発達に合わせて読むこと、例えば1歳代ならば擬音語が多いものを読んであげる、そして、大きくなると想像ができるようになり、遊びへと発展するなど、保育者が援助することによって子どもたちは成長していくのだと思いました。また、保護者から相談があった時に、素早く対応し、原因を説明してあげて、このような時はこの本を読むことがおすすめですなどと、子育てをする保護者のサポートもすることが大切だと思いました。

(文責：鈴木健一)

夏休み子ども向け公開講座 (佐倉市教育委員会委託事業)

開催日：平成30年8月10日(金)、16日(木)、17日(金)

平成30(2018)年度の夏休み子ども向け公開講座を8月10日(金)、16日(木)、17日(金)に実施し、佐倉市内の小学校から、のべ170名の参加者があった。8月9日(木)は、英語と音楽の講座を予定していたが、台風の影響のため、中止となった。

今年度も、千葉県内の高校(千葉女子高、我孫子高、君津高)と連携し、高校生をジュニアスタッフとして受入れ、本学学生とチームを組み、小学生の受入れや講座の準備・運営をおこなった。

【理科Ⅰ】(杉山清志先生、参加者29名)

①声で動くモール、②地面すれすれスライダー、③何でも通り抜けてしまう壁の製作に挑戦した。それぞれの製作、実験を通して生活環境にある空気や光の存在に、気づき科学的視点をもつ楽しさを感じることができた。また、製作には保護者も参加し、この特性に合わせて協力しながら実施することができ、新しいコミュニケーションの場としても機能していた。



【工 作】(杉山清志先生、参加者29名)

スノードームの製作をおこない、参加者の個性的な表現を見ることができた。そのなかでも、各年齢ごとに、課題を見つけ試行錯誤しながら解決していく姿も見られた。



【図 画】（久保木健夫先生、参加者42名）

各自の夏休みの課題（図画工作、ポスター製作）をもちより、それぞれの興味関心を紹介しながら課題に取り組んできた。時間内に作品を完成させることができた子どももあり、自分の作品にも満足感がみられた。



【体 育】（村瀬瑠美先生、参加者22名）

大きく体を使った遊びやダンスを楽しみながら経験することで交流した。スタッフの高校生、短大生も加わり、いろいろな体の動きを楽しみながら関わり、初対面の小学生同士が仲良く話を深めている姿が見られた。



【理科Ⅱ】（沼倉徹先生、参加者24名）

モーターづくりをテーマに、電気エネルギーの活用方法に気づいていくことをねらいに、「ヘンテコモーター」の製作をおこなった。小学校では学んでいない電磁石の単位に関連するものであったが、興味深く取り組んでいた。そのなかでも、「コイルと永久磁石の同極同士の反発」に気づく子どももいた。子どもの興味関心からはじまり、想定以上の学びがあったように思える。



【国 語】（鈴木健一先生、参加者25名）

各自で持参した本をペアを組んで紹介し合うことから始まった。その後、感想ということの意味を説明し、考えてもらい、読書感想の書き方について理解を深めた。そして構想プランの作成を行い、個々の課題図書に取り組んだ。子どもが各手順を知ること、自身の感想、思いを表現することに熱中している姿を見ることができた。



通学合宿 2018

【通学合宿の目的】

地域に根ざす高等教育機関として、地域の教育活動の充実・発展に貢献する。

小学生の学習指導や生活指導の一端に触れさせることによって、学生の児童理解を深め、教育活動への認識や指導技術の向上を図る。

異年齢の小学生が親元を離れ、地域の施設で一定期間、寝食をともにし、買い出し、食事作り、清掃等の集団生活を実施することで、子どもたちの社会性・自主性・協調性を伸ばし、生きる力を育成する活動である。

この事業は、平成13年より佐倉市教育委員会、佐倉市中央公民館、八街市教育委員会の依頼を受け実施しており、今年度は、初等教育科の1年生延べ17名の学生が4回の通学合宿に参加した。児童の活動を支えるとともに、学生もまた大学の授業では経験することの出来ない貴重な取り組みである。

1 八街市教育委員会主催「通学合宿」

実施内容

①実施期間：6月17日(日)～6月20日(水) 3泊4日

場所：千葉黎明高等学校合宿所

対象児童：実住小学校・朝陽小学校 4～6年生児童20名

参加学生：男子3名、女子4名

スケジュール

《1日目》	《2、3日目》	《最終日》
	6:00 起床、洗面、朝食準備、朝食 片付け、登校準備	6:00 起床、洗面、朝食準備、朝食 片付け、登校準備
	7:20 登校(合宿所発) ～学校生活～	7:20 登校(合宿所発) ～学校生活～
9:30 受付開始		
10:00 開講式 オリエンテーション 話し合い(班編成等)		
12:30 昼食(弁当持参)		
13:30 食材買い出し		
16:00 夕食づくり、清掃	16:00 下校(合宿所着)	16:00 下校(合宿所着)
16:30 夕食作り	16:30 学習、荷造り等	16:30 清掃、荷造り等
18:00 夕食	18:00 夕食	18:00 閉校式
		18:30 解散
18:40 片付け 入浴、学習、班別話し合い 布団敷き	18:40 片付け 入浴、学習、班別話し合い 布団敷き	
20:45 就寝準備	20:45 就寝準備	
21:00 就寝(消灯)	21:00 就寝(消灯)	

《成果と課題 ～参加学生のアンケートより～》

・男子A：私たち学生に対して親切に対応して頂き、児童との触れ合いの中で大変な面もあったが精

神的に支えてもらった。普段関われない児童たちと深い関わりが持てたことで教師になりたいという思いを強めることができた。プールの授業のある児童はプール着を洗い、翌日までに乾かす必要があったが、プール着を乾かす環境がなかったため、その点の対策をした方が良かったと思った。

- ・男子B：教員になるにあたっての子どもと接することができたことはとても良い機会になった。この通学合宿を通して自分の教育者としての課題が見つかった。
- ・男子C：子ども達と一緒にたくさん学ぶことができた。通学合宿を通して、先生になりたいという気持ちが強まった。
- ・女子A：市役所の方々の指示がとてもわかりやすく、私自身も凄く楽しむことができた。車でのお迎えもしていただき、本当に助かった。子ども達のサポートをするのはもちろんのこと、学校では学ぶことのできない子ども達の様子などを4日間も体験することができて良かった。
- ・女子B：時間もスケジュール通りに進んでよかった。怪我人も出なかったこともよかった。子どもと関わっていく中で、自分自身の学びに繋がる貴重な体験だった。気づいたことは、お風呂のシャワーが熱くて危険だと思った。
- ・女子C：自分にとってとてもいい体験をすることができた。車でのお迎えや買い出しなどで車を出してくださり、とても助かった。また、料理や子どもの対応が上手にできない私たちも充実した4日間を過ごすことができた。気づいた点は、お風呂のシャワーの水が途中で熱湯に変わってしまったので、入る度に確認するよう子ども達に伝えてほしい。水着を折って帰ってくる児童が多く、洗濯機と乾燥機がないので少し大変だったように感じた。
- ・女子D：開講式や閉校式がちゃんとしていて、特に閉校式はマイクを通して行われたので、いい緊張感があってよかった。遊びの時間と勉強の時間がいい具合にあって、子ども達もメリハリがあったと思った。通学合宿はとてもいい勉強になった。先生の道を目指したいと改めて思うことができた。

②実施期間：9月24日(日)～9月27日(水) 3泊4日

場所：千葉黎明高等学校合宿所

対象児童：八街東小学校・八街北小学校 4～6年生児童20名

参加学生：男子3名、女子4名

スケジュール

《1日目》	《2、3日目》	《最終日》
	6:00 起床、洗面、朝食準備、朝食 片付け、登校準備	6:00 起床、洗面、朝食準備、朝食 片付け、登校準備
9:30 受付開始	7:20 登校(合宿所発) ～学校生活～	7:20 登校(合宿所発) ～学校生活～
10:00 開講式 オリエンテーション 話し合い(班編成等)		
12:30 昼食(弁当持参)		
13:30 食材買い出し		
16:00 夕食づくり、清掃	16:00 下校(合宿所着)	16:00 下校(合宿所着)
16:30	16:30 夕食作り	16:30 学習、荷造り等
18:00 夕食	18:00 夕食	18:00 閉校式
		18:30 解散
18:40 片付け 入浴、学習、班別話し合い 布団敷き	18:40 片付け 入浴、学習、班別話し合い 布団敷き	
20:45 就寝準備	20:45 就寝準備	
21:00 就寝(消灯)	21:00 就寝(消灯)	

《成果と課題 ～参加学生のアンケートより～》

- ・男子A：2回目だったこともあり、スムーズに進んでいてまたやってみたいと思った。
- ・男子B：今回の通学合宿では、児童と身近に生活できたことで、様々な性格や行動の多様性を学ぶことができた。普段の生活からは得られないことだったので。教員を目指している自分には大変勉強になった。防犯対策、警備の強化をお願いしたい。
- ・男子C：犯罪が起こらない部屋で行ってほしい。学校の敷地内で問題が起これしまうと、学校側に配慮しなくてはいけないため被害者への配慮が怠ってしまったので、学校外で通学合宿を行った方が良いと思う。防犯の強化、鍵のかかる部屋の用意が必要だと思った。
- ・女子A：貴重な経験になった。子どもと関わり、自分自身の無力さに気付いた。同時に、子どもと関わる職に就きたいと心から思うようになった。班だけでのアイスブレイクではなく、班対抗のミニスポーツ大会などに取り組むと小学校同士の壁もなくなるのではないかと思った。スタッフルームを男性と女性に分けてほしい。鍵がかけられるようにしてほしい。
- ・女子B：とても楽しい5日間だった。実際に小学生と触れ合うことができ、良い経験になり、ありがとうございました。誰でも出入りできないよう部屋には鍵を付けた方がよいと思う。
- ・女子C：初めての通学合宿でわからないことが多く不安がたくさんあった。でも、児童の明るさや笑顔を見て少しずつ慣れていくことができた。着いてすぐにはどのようにすればよいのか、何かあった時にはどう対応すればよいのかわからず、あまり自分から話しかけることができなかったが、一日経てば楽しそうに話しかけてくれたので安心して過ごすことができた。児童が学校から帰ってくると宿題をされていて、なかなか消灯時間までには終わらず、遊べない子もいた。その子にどのような声かけをすればよいのか最後までわからなかった。でも、そのことについて考えることができたことが良い経験になったと思う。他には、異性に対してどこまで許されるのかということも考えることができた。小学校だけではなく合宿所の様子を間近で見ることができる貴重な経験になり、とてもいい勉強になった。食事を作る班以外は、食事の準備をするスペースに入らないような声かけをした方が衛生的には良いかと思った。キャリーケースやバッグは鍵のかかる部屋に置いた方がよいと思った。2階の荷物を置くところでかくれんぼをされていて、部屋の扉というか、ふすまを開けていてようのかどうかわからなかったので一応注意したが、その指示があった方がよいのかと思った。同じ班に学年の違う子がいることで、6年生がリーダーとなって話がまとまったりしていて、そういう分け方はとても良いと思った。
- ・女子D：多くの子どもたちと関わり、教師になりたい気持ちが一層増した。とても遣り甲斐を感じ、学びを深めることができた。防犯面では鍵のかかる部屋などがあった方が良く、もう少し小さい部屋でいいので、職員の荷物置きは着替えなども考え、男女別々の部屋が良いと思う。



目標決め



買い出し

2 佐倉市教育委員会主催「通学合宿」

実施内容

①佐倉市中央公民館通学合宿

実施期間：9月17日（祝・月）～9月20日（木） 3泊4日

場所：千葉県立佐倉高等学校セミナーハウス

対象児童：佐倉小学校 4年生7名、5年生7名、6年生7名

協力者：佐倉高等学校 ESS

佐倉市市民カレッジ生・佐倉市市民カレッジ同窓生（朝夕：各2名）

中央公民館利用団体ふきのとう（朝夕：各3名）

公民館職員5名

千葉敬愛短期大学（男子3名、女子3名）

スケジュール

《1日目》	《2日目》	《3日目》	《4日目》
	4:30 起床(調理担当)	4:30 起床(調理担当)	4:30 起床(調理担当)
	6:00 朝食準備、片付け	6:00 朝食準備、片付け	6:00 朝食準備、片付け
	6:30 登校(朝練組)	6:40 登校(朝練組)	6:40 登校(朝練組)
	7:30 登校(通常組)	7:30 登校(通常組)	7:30 登校(通常組)
	～学校生活～	～学校生活～	～学校生活～
10:30 開講式			
11:00 話し合い 紹介カードの作成			
12:15 昼食(お弁当)			
13:00 話し合い			
14:30 買い出し	14:50 下校	14:50 下校	13:30 下校
17:00 夕食準備 風呂、トイレ掃除	16:00 夕食準備 風呂、トイレ掃除	16:00 夕食準備 風呂、トイレ掃除	帰宅準備 全員で合宿所の掃除
18:00 夕食、片付け	18:00 夕食、片付け	18:00 夕食、片付け	17:00 閉校式、解散
19:00 入浴	19:00 入浴	19:30 入浴	
19:30 反省、自由時間	20:00 反省、自由時間	20:00 反省、自由時間	
21:00 就寝準備	21:00 就寝準備	21:00 就寝準備	
21:30 就寝(消灯)	21:00 就寝(消灯)	21:30 就寝(消灯)	

《今後の通学合宿について ～主催者からのレポートより～》

- ・アンケート結果は、児童、保護者ともに概ね好評であり、参加児童全員が「また参加したい」と回答するように、子ども達はカウンセラーや仲間たちと4日間楽しく過ごせたようである。特に千葉敬愛短期大学の学生カウンセラー6人は、全員子ども達と親しい関係を築けていた。おとなしい児童にも声をかけ、輪の中に入れるなどし、期間中子ども達の笑顔が絶えず、アンケートにも「仲良くしてもらった」「分け隔てなく接してくれた」など、カウンセラーへの感謝の言葉が多く見られた。21人全員を気にかけて、楽しい雰囲気を作ってくれたおかげで、慣れない集団生活やハードなスケジュールにも関わらず、体調を崩す物もなく無事に終了することができた。
- ・朝の食器洗いは時間がないため、カウンセラーが行ったが、朝練のない児童が自主的に毎朝食器洗いを手伝っていた。また3日目には先に選んだ自分のケーキを他の児童に譲ってあげたり、上級生が下級生の面倒を見たりするなど、他者への気遣いや助け合いの場面が見られた。
- ・今回、指導課の竹中栄養士に参加いただき、メニューの決め方と講義と、子ども達が考えたメニューにアドバイスを頂いた。講義の内容は大変わかりやすく、講義の後にメニュー決めに入ったため、話し合いがスムーズに進んだ。また班内の意見も調整して頂くなど、食育面、運営面、更にはアレルギーに対する安全面でプラスの効果が生まれた。



調理



食事



佐倉高校 ESS による特別授業



通学

《成果と課題 ～主催者からのレポートより～》

- ・体調を崩す者や、大きな事故もなく終了したが、2日目の就寝前の自由時間に女子児童1名が唇を切るケガをした。倒立をしてふざけていた児童の足が、別の児童の赤間に当たり下唇を噛んでケガをしたとのことであった。カウンセラーが止血等の対応をしたが、翌朝も腫れが引かず、登校中も傷が痛むため保健室で処置をしてもらったとのことである。ケガや事故なく終わることが何より大切であり、幸い大きな事故にはならなかったが、事故防止の対策を考える必要がある。「自由時間中」「倒立をしていた」等の状況を考えると防げたかもしれない事故であり、次年度は事前に安全管理について職員とカウンセラーが学んでおく必要があると思われる。
- ・起床時間が調理の班は4時30分としたことで朝の慌ただしさはなかったが、学校から「眠そうにしていた」との報告を受けた児童が数名いた。児童の健康状態や学校生活への影響を考えると4時30分起床時間は早過ぎであり、起床時間はこれまでの5時起床が限界ではないかと思う。
- ・参加した児童は4日間楽しい時間を過ごせたようだが、それだけで終わっていないか検証が必要である。カウンセラーやボランティアなど、多くの労力と時間を費やすからには「楽しいお泊り会」以上の成果が求められる。内面の変化を成果として示すことは難しいが、料理や洗濯などの生活体験は目に見えるため、参加児童を早めに決定し家庭での事前練習を行うなど、見える形で成果を示すことも必要ではないかと思った。

3 佐倉市教育委員会主催「チャレンジ通学合宿」

実施内容

①チャレンジ通学合宿

実施期間：10月1日(月)～10月4日(木) 3泊4日

場所：佐倉市立青少年センター

対象児童：内郷小学校 4年生～6年生 21名

参加学生：男子3名、女子3名

スケジュール

《1日目》	《2日目》	《3日目》	《4日目》
	5:00 起床 朝食準備(2班)	5:00 起床 朝食準備(3班)	5:00 起床 朝食準備(1班)
	6:00 朝食	6:00 朝食	6:00 朝食
8:30 開場設営	6:40 登校準備	6:40 登校準備	6:40 登校準備
9:30 受付開始	6:50 (朝練組)登校	6:50 (朝練組)登校	6:50 (朝練組)登校
10:00 開講式	7:30 (普通組)登校	7:30 (普通組)登校	7:30 (普通組)登校
10:30 班目標決め	8:00 打ち合わせ	8:00 打ち合わせ	8:00 打ち合わせ
11:30 メニュー決め①	8:30 フリータイム	9:00 フリータイム	8:30 フリータイム
12:15 昼食	14:00 打ち合わせ	15:00 打ち合わせ	14:00 打ち合わせ
13:00 メニュー決め②	14:20 (4年生)下校	15:20 児童下校	14:20 児童下校
14:30 食材買い出し	15:20 (5年生)下校		15:00 大掃除
16:00 夕食準備(1班)	16:00 夕食準備(2班)	16:00 夕食準備(3班)	15:30 感想記入
自由時間(2班)	風呂掃除(1班)	風呂掃除(2班)	16:30 閉会式
入浴(3班)	自由時間(3班)	自由時間(1班)	17:30 解散
18:00 夕食	18:00 夕食	18:00 夕食	
20:00 学習・日記タイム	19:00 自由時間(1班)	19:00 自由時間(2班)	
19:00 入浴(1班)	入浴(2班)	入浴(3班)	
夕食の片付け(2班)	夕食片付け(3班)	夕食片付け(1班)	
自由時間(3班)	20:00 学習・日記タイム	20:00 学習・日記タイム	
20:00 学習・日記タイム	21:00 就寝準備	21:00 就寝準備	
21:00 就寝準備	21:30 就寝	21:30 就寝	
21:40 打ち合わせ	21:40 打ち合わせ	21:40 打ち合わせ	

《成果と課題 ～参加者のアンケートより～》

- ・子ども：個人差はあるが、親元を離れて異年齢集団で生活体験を行うことにより、自主性協調性を高め、心豊かでたくましく生きる力を育むことができた。
- ・家庭：一定期間、子どもと離れて生活することで、日頃の親子関係を見直し、家庭の教育力向上を図れた。
- ・地域：地域の方々が、共に子どもの生活体験活動にかかわることにより、地域の繋がりを深め、地域の教育力のさらなる向上を目指すことができた。
- ・短大生：学校では見せない子供達の実態を体験することができた。意見を集約や生活指導の難しさや人間関係を構築できたときの喜びを学ぶことができた。教職を目指す学生にとって貴重な経験を積むことができた。

《成果と課題～参加学生のアンケートより～》

(1) 通学合宿に対しての期待や不安について

①期待について

- ・普段かかわることのできない児童とかかわる事で、机上だけで学んでいるだけの今の学習を実際の現場で使えるようにする力にかえるきっかけとなることを期待していた。
- ・小学校教諭になりたいので、子どもと4日間寝泊まりして学ぶことができるという期待があった。

- ・施設の視察、日程の確認をしていたので不安はなかった。

②不安について

- ・児童とうまくコミュニケーションをとれるかが不安だった。
- ・料理はその場で決めるので不安な気持ちがあった。
- ・突発的に起こったことに対し、対応できるのか心配だった。
- ・どれくらい関わっていいのか不安だった。

(2) 通学合宿を実施し、子ども達と接する中で感じたこと、前後での自分の内面の変化について

- ・アンケート結果は、児童、保護者ともに概ね好評であり、参加児童全員が「また参加したい」と回答するように、子ども達はカウンセラーや仲間たちと4日間楽しく過ごせたようである。特に千葉

(3) 来年度の実施に向けて、気づいた点や改善点等

- ・昼ご飯が困った。
- ・子供の履いていた上履きが、かかとのないスリッパのものを履いている子がいたので安全のため、全員がかかとのあるものがいいと思った。
- ・グループで暇になってしまう時間にレクやゲームを行う計画を立てるとよいと思った。
- ・キッチン台にキャストーストッパーがついておらず動いてしまったので簡単に動かないようにしてほしい。
- ・空調管理が難しかった。

(文責：岡崎裕美)

敬愛フェスタでの「いのちのはじまり」上映について

1 はじめに

子ども研究所では、本学の学園祭である「敬愛フェスタ」において、一般の方々をお招きして映画の上映を行っています。今年度は、子育ての重要性をドキュメンタリーで表した「いのちのはじまり」を上映いたしました。本映画は、乳幼児教育研究の第一人者のインタビューを交えながら世界中の子育ての実情をドキュメンタリーで紹介しています。シングルマザー、専業主夫、養子を育てる夫婦、子育てをするレズビアンカップル、ドラッグ中毒を経て立ち直った母親、両親を亡くし幼い兄弟の面倒をみる少女など、さまざまな困難な状況下の中での子育てが映し出され、身につまされる場面もありました。

様々な事情を抱えた中であっても子どもにとって大切なことは、大人が安全で愛情に満ちた環境を与えることである、というメッセージを全世界の人々が知るために一人でも多くの人に観てほしいと思う映画です。

2 「みんなの学校」概要

（「いのちのはじまり」公式サイト <http://www.uplink.co.jp/hajimari/>より）

世界には、いろんな育児のかたちがある。

子供の成長に本当に必要なものとは？

人格の土台が形成される乳幼児期（生後～就学前）の脳では、毎秒700個から1000個もの神経細胞が新たに活性化しています。この神経細胞同士の接続によって脳は発達し、後の健康や精神的な幸福、学習能力が決定づけられます。

この成長でもっとも大切なのは、大人との触れあい。血のつながった“親”に限らずとも、周囲の大人が乳幼児に安全で愛情に満ちた環境を与えることができれば、より良い社会を創造する未来が開かれます。

本作は、世界9カ国で家族や育児現場を取材し、さまざまな文化・民族・社会的背景における子育ての今を伝えます。さらに、早期幼児教育の専門家たちへのインタビューを織り交ぜながら、親をはじめ子育てに関わる周囲の大人たちが、安心して育児に取り組めるような公共政策の必要性を訴えます。

世界的ファッションモデルのジゼル・ブンチェンや、ノーベル経済学賞受賞歴もあるシカゴ大学のジェームズ・ヘックマン教授、ユニセフ本部で「ECD = Early Childhood Development（乳幼児期の子供の発達）世界キャンペーン」を統括するピア・ブリット氏、先進的な幼児教育で注目を集めるイタリアのレッジョ・エミリア市の保育者らも出演。彼ら自身の経験と研究に基づいたメッセージが胸に迫ります。

映画『いのちのはじまり：子育てが未来をつくる』（原題：O Começo da Vida / The Beginning of Life）

2016年、ブラジル、96分

監督：エステラ・ヘネル（Estela Renner）

制作会社：マリア・ファリナ・フィルムズ（Maria Farinha Filmes）

日本配給会社：アップリンク

3 上映報告

- ①試写会：2018年10月24日(水) 15：30～17：00 @視聴覚室 参加者：教職員8名
- ②本 番：2018年10月28日(日) 13：00～14：30 @視聴覚室 参加者：合計18名：一般12名
同窓生3名 教職員3名
- ③試写会：2018年11月31日(水) 16：30～18：00 @205教室 参加者：教職員4名

4 一般のお客様からの感想（集計：黒田順子）

①アンケート回答者属性

- ・回答者 11名
- ・性 別：男性4名／女性7名
- ・年 齢：10代0名 20代1名 30代2名 40代2名 50代6名
- ・職 業：会社員1名 教員2名 その他8名
- ・上映会を知った媒体
チラシ3名 本学ホームページ2名 町内会の回覧板3名 その他（校友会）1名

②映画の評価

- ・映画について：非常によかった8名 よかった3名

③感想

- ・小さければ小さいほどかわり方が大切だということを感じました。いっぱい言葉をかけ、聞いてあげられる大人でありたいという思いです。ありがとうございました。
- ・とても役に立ちました。色々な国の状況等勉強できました。
- ・孫の子育てを手伝うことになり、少しでも勉強になればと思い参加しました。ありがとうございました。
- ・今後の育児の励みになりました。よい機会をありがとうございます。
- ・世界の様々な育児の様子がとても興味深かった。これから育児にかかわる広い世代の方々に観てほしい映画だと思いました。
- ・「子どもは集中できないのではなく、常に集中している」とらえ方の違いを学ばせて頂き、今後職場でも子育てでも活かしたいと感じました。ありがとうございました。
- ・この映画を観て、「子育てがやり直せるなら」(?)という何かの詩を思い浮かべた。コミュニティとの関わりも含めて、考えさせられるよい機会であった。初孫の接し方も。
- ・子供を育てる教育を一層よくしてください。
- ・「子供は親だけではなく、地域、町、国で育てる者」心にひびきました。私が子どもの頃、「米は宝だ、宝の草を植えりゃこがねの花が咲く」という歌を歌っていたことを思い出しました。
- ・少ししか見られませんでした。機会があれば初めから見たいと思いました。
- ・少ししか見てませんが、大変感動致しました。

5 おわりに

本学が提唱する保育観を一流の研究者や専門家が講義してくださったような内容のこの映画を総合子ども研究所主催で上映でき、ほんの少しですが地域貢献につながったと考えられます。今後も教育、保育の観点から良質な映画を地域の方々に鑑賞していただくべく、映画の選出、観客動員の努力を怠らないようにすることが望まれます。

（文責：齋藤めぐみ）

さくらコミュニティーカレッジへの講師派遣

佐倉市公民館主催のさくらコミュニティーカレッジは、地域の住民を対象にした教育活動である。2年制で行われており、市民の意欲的に学ぶ姿が見られる。

このコミュニティーカレッジに本学から現職・元職の教員を講師として派遣している。今年度も以下のようなテーマで1年生に講義を行った。

月日	講義テーマ	派遣講師
5/20	記念講演「地域で学び、地域で生きる」	伊藤 勝博
6/ 3	よりよいコミュニケーションとは（1） ～グループエンカウンター体験～	吉村 真理子
6/ 3	地域のリーダーになるために ～地域の人の意見をまとめるには～	清水 一巳
6/17	よりよく「聴く」ことへの「責任」 ～守秘義務と個人情報の扱い・傾聴技術の習得～	大野 雄子
6/17	よりよいコミュニケーションとは（2） ～アサーション・トレーニングとDESC法体験～	大野 雄子
9/ 9	異年齢社会の構造と課題（1） ～小・中学生が抱えているもの～	鈴木 健一
11/11	身近な人権 ～ひとを人として認める地域とは？～	松本 峰雄
12/16	異年齢社会の構造と課題（2） ～乳幼児を取り巻く社会環境～	小田 ひとみ
12/16	家庭・家族と地域の社会的役割 ～青少年を取り巻く現代社会の環境～	新田 司

加えて、2年生の実践発表会（7/7）には吉村真理子が、1、2年生合同の中間研究発表会（2/10）には明石要一が参加している。





また、講座を持とうと考えている市民を対象にした講座（講師塾）もあり、こちらにも講師を派遣した。

月日	講義テーマ	派遣講師
7/29	講義を進めるにあたって	鈴木 健一

（文責：鈴木健一）

佐倉市好学チャレンジ教室（ボランティア活動）

1 ねらいと実施内容

好学チャレンジ教室は、基礎・基本の確実な定着や自ら学び自ら考える力などの育成を図り、一人一人の児童に確かな学力を育むことを目的として、平成26年度より実施されている。

今年度も初等教育コース15名の学生がボランティアとして参加し、7月26日(木)、27日(金)、30日(月)の3日間、本学を会場に好学チャレンジ教室を実施し、山王小学校2年生、3年生の児童合計22名が参加した。

2 実施後の感想

〈参加児童の感想 ～山王小学校2年生〜〉

- ・とても勉強が楽しかったです。分からないところを教えてくれてありがとうございます。来年の好学チャレンジも絶対きます。
- ・お兄さん、お姉さんが優しく勉強を教えてくれたので、漢字も計算もできるようになりました。ありがとうございます。
- ・いつも分からないところを教えてくれてありがとうございます。今までやったプリントを基に、学校でも頑張ります。

〈参加児童の感想 ～山王小学校3年生〜〉

- ・3日間、ありがとうございました。おかげで、苦手な教科が少しできるようになりました。また、教えてもらえる時には、少し得意になるように学校で勉強を頑張るので、応援してください。
- ・夏休みの宿題を進められて良かったです。わり算が難しかったけれど、簡単になりました。とてもうれしかったです。
- ・3日間の間、分からないときはヒントを教えて下さり、本当にありがとうございました。これから、家で頑張ります。

〈学生ボランティアの感想〉

- ・自分が分かっていることを、分からない子供たちに教えることの難しさを感じました。また、自分の話を聞いてもらうための工夫も必要なことが分かりました。この好学チャレンジで自分の力を見



る良い機会となりました。この経験を次に活かしていきたいと思います。

- ・ 好學チャレンジを通して、子供たちの勉強をただ見て教えるのではなく、どうしたら分かりやすくなるのか、また、一人一人に合った教え方を試行錯誤するのは、すごく難しかったのですが、とても良い経験になり、私自身の学びも多かったです。
- ・ 大学の授業を通していろいろなことを学んできたつもりでした。児童の言葉かけや集中が途切れてしまった時の対応など教えていただいたことはたくさんありましたが、今回の実践では、あまり効果がありませんでした。教わったことを教わった通りに行うのではなく、相手や環境が違うのだから、それに合わせて指導していくことが必要であることを学びました。
- ・ コミュニケーションはうまくとれましたが、児童との接し方、メリハリがどれだけ大切か身に染みて感じました。児童によって性格が多彩であることを認め、適切なサポートをしていきたいです。
- ・ 勉強を教えることは難しく、大変と感じました。分からないところはどこまでヒントをだしていいのか、思い出せないところは正解を教えてもいいのか、迷いました。また、集中が途切れてしまった子はどのような指導をしたらいいのか困りました。今回のボランティアで学ばせていただいたことやアドバイスいただいたことを、実習に生かせるようにしていきたいと思います。

3 成果と課題

- 学生ボランティアの雰囲気が大変良く、質問しやすい環境で、子供たちが安心して参加することができた。
- 2日間、連続して同じ学生が担当することにより、コミュニケーションが深まり、学習効果の高まりだけでなく、心のつながりも見られた。
- 1対1や多くとも1対3の個別指導を行ったことにより、一人では学習を進めることが難しい児童も、漢字や計算をきめ細かく指導を受けることができ、基礎学力のさらなる定着を図ることができた。
- 指導した学生ボランティアにとっても、子供たちに接し、学習を支援する良い機会となり、今後の学校での実習に向けて子供の実態をつかむことができた。
- 昨年度、課題であった廊下歩行は、声かけの効果で、しっかりとできた。
- ▲ 普段と違う教室内のため、気持ちが高ぶってしまう様子が見られた。初日は、緊張しているのだが、2日目、3日目と十分気をつけるように声かけをしていかなければならない。
- ▲ 3日目は昨年度同様、介護等体験で学生の多くが実習に出てしまい、スタッフが手薄になってしまった。可能なら日程の調整が必要である。

＊この項は、佐倉市教育委員会がまとめられた報告書に、若干の加筆をしたものです。

(文責：鈴木健一)



高大連携・高大接続教育

本学は、「資格取得」と職業が直結する「教育・保育」の人材を養成する短大である。

入学者への調査からも「職業観の育成は早ければ早いほど、学習や体験への動機付けや意欲が高まる傾向が強い。」ことが裏付けられ、高校における出前授業や本学を会場にした講座等を設定し高校との連携を強化し、志の高い学生の入学を期待している。高校在学中に教育・保育に関わる体験や学習ができるような機会とプログラムを提供し、正しい理解に基づく職業観の涵養と進路意識の明確化ができるように支援している。

1 高大連携について

「出前授業」や「キャリアガイダンス」は、高校からの要望に応じて実施しているが、実際に大学で、学生に混じって授業を受けるということも積極的に実施している。高校生に大学の教育資源を提供し、専門分野への興味関心を呼び起こすという点でも有意義なものであり、出前講座については年間20校程度で実施している。

また、本学の独自の高大連携プログラムとして、高校生セミナーやインターンシップ事前講座、教員基礎コース設置校への特別講座、入学前教育等も実施している。

〈高校生セミナー〉

高校生が参加しやすい日として、千葉県民の日、夏季休業中に体験授業を設定した。大学生の一日を体感し、通学、90分授業、専門的内容の授業、教育・保育に関する学び、学生生活の一日の流れを体感するプログラムを実施した。



「～絵本の世界～」伊藤先生



「えほんのもり」で読み語りする高校生

〈インターンシップ・事前講座〉

保育園・幼稚園体験と小・中学校体験に参加する高校生に向けた事前学習のうち、専門的な領域を本学が提供する。手遊びや紙飛行機作り、子どもとの関わり方等の学習について学ぶ。教育・保育に関する基本姿勢、志を説く明石学長の特別講座もある。教育・保育の学びの体験と理論を学ぶことで、ただ単に「子どもが可愛いから」ではなく正しい職業理解に基づく「志望」への変容を期待している。



「うとてとこの授業」明石学長



「『教育』の意味と意図」山中先生

〈我孫子高校教員基礎コース夏季合宿での出前講座〉

我孫子高校、教員基礎コースの生徒を対象にした合宿に講座を提供している。「教育・保育」という職業に関わる者に必要な資質、子どもたちや様々な事象に興味や関心を持ち、様々な気づきを大事にする人に育つことを期待している。



「おもしろ科学実験教室」杉山先生



「音楽表現」岡崎先生

〈高校における新たな教育への支援〉

① 総合的な学習の時間のゼミへの講師派遣と支援

浦安高校では、平成30年度入学生に対する総合的な学習の時間でゼミ形式の講座の取り組みが始まった。高大接続教育の試みとして、その内容と効果の検証、またキャリア形成や進路選択との関連のリーサーを行う。

② 新しい教育プログラムの策定と実施の継続支援

本学は2年間で、小学校教諭・幼稚園教諭2種免許取得、保育士資格・幼稚園教諭2種免許取得を目指す為、実習も多く、学生生活はかなりハードなスケジュールとなる。また、早い時期に合格の決まるAO入試、指定校入試等の合格者の学習意欲や目的意識の向上のために、「教育・保育」を目指すための動機付けや、準備期間として入学前の約半年の中でピアノの初心者への対応も含めた早期教育を実施している。

2 高大接続教育について

本学は、2年間で、小学校教諭・幼稚園教諭2種免許取得、保育士資格・幼稚園教諭2種免許取得を目指すため、実習も多く、学生生活はかなりハードなスケジュールとなる。また、早い時期に決まった入学予定者の学習意欲や目的意識の向上のために、「教育・保育」を目指すための動機付けや、ピアノの初心者への対応も含めた早期教育を実施している。

〈2.5教育〉

本学では、「2.5教育（入学前教育）」と位置づけ、「初心者向けピアノ講座」「日本語講座」さらに

「絵本ノート」「音楽表現―歌唱指導―」「教員採用試験―基礎教養―」の講座を設定し、合格後の時間で大学での学修の基礎固めや準備に充てている。

講座の満足度については、短大での生活や学習への意欲や明確な目標を記述する高校生がほとんどであり、入学に向けての学習方法や資料収集・情報活用についての基礎固めを期待している。



「日本語」鈴木先生



ノートをとる参加者



「絵本ノート」吉村先生

3 今後の高大連携・高大接続の方向

新たな教育の方向として、高校在学中に職業選択に向けての専門的な知識・理解、技術の修得ができるような仕組みや講座の検討が重要になる。高等学校との連携で、教育課程の編成や、効果的な教育プログラムの開発、授業方法の検討、評価方法の検討など、より活発な議論が必要である。

本学では明石学長の提唱する「2.5教育」はもちろんだが、高校の学習との「接続」も視野に入れ、保育や福祉の学習を設定している高校との教育プログラムの検討も準備している。

総合子ども学研究所として、学生の入学前の教育を、高等学校とのより密接な協力関係のもとに検討していく必要があり、一方でこれまで本学が行ってきた卒業後の「教育・保育」実践の現場との連携強化、共同研究の推進に力を注ぐこととなる。

本学は、入学から卒業後まで、一生サポートする短大として地域に貢献できる短大でありたい。



春の高校生セミナー「絵本の読み語り」講座



「えほんのもり」での一コマ



「教育と保育の学び」新田先生



「浦安高校探求ゼミ」村瀬先生と受講生

4 活動実績

- ・ **インターンシップ事前指導講座**：柏中央高校（本学）、成田北高校（高校）
- ・ **本学訪問**：敬愛八日市場高校・松尾高校・横芝敬愛高校・東京学館高校・佐倉西高校
- ・ **教員基礎コース出前講座**：我孫子高校（夏8月 2講座、冬1月 3講座）・安房高校（4月 1講座）
- ・ **SPH対象校特別講座・出前講座**：館山総合高校 6月・9月
- ・ **高校ゼミナール出前講座**：浦安高校 複数回派遣
- ・ **佐倉市教育委員会委託事業小学生向け公開講座高校生ボランティア参加校**：千葉女子高校・君津高校・土気高校・我孫子高校・成田北高校
- ・ **高校生セミナー参加校**：茨城県立神栖高校・波崎柳川高校・若松高校・我孫子高校・成田西陵高校・佐倉東高校・県立銚子高校・八街高校・小見川高校・多古高校・松尾高校・東金高校・生浜高校・千城台高校・船橋豊富高校・千葉英和高校・松戸六実高校・八千代東高校・柏井高校・土気高校・佐倉南高校・市原八幡高校・敬愛八日市場高校千葉西高校・富里高校・千葉敬愛高校・千葉聖心高校・館山総合高校・四街道高校・市立銚子高校・千葉女子高校・佐原白楊高校・匝瑳高校・茂原高校
- ・ **業者対応講座**：四街道高校・千葉敬愛高校・千葉英和高校・千葉商業高校・四街道北高校・君津高校・君津青葉高校・市川昂高校・松戸六実高校・習志野高校・鎌ヶ谷西高校・船橋啓明高校・千葉北高校・千城台高校・生浜高校・成田北高校・多古高校・犢橋高校・佐倉西高校・茂原北陵高校・千葉学芸高校・松尾高校・船橋古和釜高校・横芝敬愛高校・敬愛学園高校・九十九里高校・大多喜高校・市原高校・若松高校・長狭高校・佐倉東高校・佐倉西高校・佐倉南高校・大網高校・茂原高校・茂原樟陽高校・東金高校・千葉黎明高・明聖高校・東京学館高校・姉崎高校・敬愛大学八日市場高校・千葉聖心高校・一宮商業高校・東金商業高校・船橋豊富高校・京葉高校・市原八幡高校・土気高校・泉高校・船橋北高校・千葉中央学園高等部・茨城県立神栖高校・石岡商業高校……他
- ・ **職員研修**：四街道北高校・成田国際高校

（文責：佐久間敦子）

II 研究論文・資料

絵本選書における大学図書館の課題

保育者を志す学生の絵本選書傾向からの一考察

齋藤 めぐみ・吉村 真理子

Task of University library for Picture-book selection
A Consideration from analysis of trends on Picture-book selection by the students

Megumi SAITO / Mariko YOSHIMURA

キーワード：保育者養成、絵本、選書、大学図書館

序論

1. はじめに

絵本は子どもの心の成長やことばの豊かさにとって計り知れぬ意味をもつ（松居，2008）。絵本の読み語り子どもに果たす役割について松居（2018）は、子どもが物語を耳で聞き、絵を手がかりに見える世界に置き換えることにより想像力を育てる、と述べている。また、松岡（2017）は、以下の3点から絵本の絵の役割を説いている。第一に、幼児の時代は絵でものを考える時代であり、絵によって実生活での経験を確認、整理し、それを頭の中で再現する。絵本の読み語りにより、それを繰り返して体験し、子どもたちは徐々に「ものごとを抽象的にとらえるやり方や能力を身に付けていく」。第二に絵本の絵は、子どもたちの知識や経験の乏しさを補い、想像力に確かな後ろだてを与える。それにより子どもたちは実際の経験に代わる経験を絵本の中で行い、「ものごとを絵にする力」を養う。また、ただ、ものごとを絵にして示すだけでなく、それらを美しい、楽しい、しっかりした絵にして示すことによって子どもたちの目を美しいものの見えるしっかりしたものの見方のできる目に訓練していき、「物を見る目を養う」役割を果たす。従って子どもに読み語りを行う大人は、子どもにこれらの役割が果たせる絵本を選書する必要がある。そのひとつの方法として、松居（2018）は出版されて20年以上、松岡（2017）は、25年以上の絵本を選ぶことを薦めている。

保育者を志す学生において、子どもたちの育ちを考慮した絵本の選書は必須である。八木（2018）は、保育者を志す学生の絵本選書の理由として絵本の絵や文章を基に選書している学生が多いが、絵について、絵の形や色彩という分析的な見方ではなく、「かわいい」「かわいらしい」等直感的・情緒的に選択している学生が多いことを示している。また、橋村（2018）は学生の絵本関与は自分の好きな絵本や過去に読んでもらったという経験知、さらには過去の経験をもとに、それを他者にも読み与えたいとする、極めて表面的な選書であると述べている。

本学では、平成30年度入学生より「認定絵本土」資格取得が可能となった。また、かねてより学生に「絵本ノートの作成」という課題を与え、1年間で70冊ほどの絵本リストを作成するという絵本の教育に力を注いでいる。このような教育的背景に加え、平成30年3月にはメディアセンターに「えほんのもり」と名づけられた絵本のコーナーが新設され、絵本に関する学習環境が整えられつつある。

しかしながら、絵本の選書サポートというソフト面について大学図書館として今まであまり検討されておらず、ソフト面の方法や内容について検討する必要がある。そこで本研究は、本学学生の絵本選書の傾向を明らかにし、それに基づいて絵本の選書に関するメディアセンターとしての今後の取り組みについて課題と展望から検討することを目的とする。

2. 本学の絵本に関する取り組み

1) 「認定絵本土」資格取得

本学において平成30(2018)年度入学生から保育コースの学生は、通常の講義中に組み込まれた認定絵本土カリキュラムに沿って学ぶことにより、2年間で「認定絵本土」の資格を取得できることになった。全国に先がけて、今回スタートするのは、西日本では大阪樟蔭女子大学、東日本では本学のみである。

「認定絵本土」は、平成26年度から絵本専門士委員会(事務局は、国立青少年教育振興機構教育事業部企画課)が既に養成している「絵本専門士」に準ずる資格である。「絵本専門士」は、子どもたちの健やかな成長を促す絵本の可能性やその活用法を、学校や家庭のみならず地域社会に普及させるとともに、絵本の読み聞かせやワークショップなど、読書活動の推進に携わる専門家である。「認定絵本土」資格取得後、幼稚園教諭や保育士など3年以上の絵本に関わる実務経験を積むことで「絵本専門士」の資格取得申請を行うことができる(絵本専門士としての資質・能力を判定するための課題を課される場合がある)。

学生は、基本的には既存の講義に組み込まれたカリキュラムと専門的に学ぶ「読書と豊かな心」の講義を受講することで資格取得ができる。「読書と豊かな心」は、公立の図書館司書、絵本編集者、出版社社員等様々な分野の専門家による絵本についての講義である。

2) 絵本ノートの作成

保育コースを希望し、AO入試、自己推薦入試の合格者に対して入学前に絵本ノートの作成を課している。絵本ノートの対象となる絵本は、松居直「絵本の与えかた」(福音館書店リーフレット)に掲載されている絵本の中から入学前に15冊を選書して作成する。入学後には、保育内容の研究「言葉」の課題として、規定の冊数を完成させ提出する。

(1) 絵本の種類：

- ①赤ちゃんの本 19冊(5冊)
- ②2歳、3歳児の絵本 17冊(5冊)
- ③4歳児の絵本 11冊(3冊)
- ④5歳、6歳児の絵本 10冊(2冊)

(2) 記入する内容

- ①題名(表紙の絵を描く or カラーコピー)
- ②(文、訳、絵)
- ③出版社
- ④初版年
- ⑤あらすじ
- ⑥感想

3) オープンキャンパスにおける取り組み

本年度のオープンキャンパスにおいて「認定絵本土」の説明をする際、学生が絵本の紹介や絵本の読み語りを行った。学生が紹介した絵本を以下に記す。

「からすのパンやさん」作：かこさとし 福音館書店

「うさこちゃん」シリーズ 作：ディック・ブルーナ 福音館書店

「ぜったい ぜったい ひみつだよ」 著：アナ・カン 絵：クリストファー・ウェイアント

「ボタンちゃん」 著：小川洋子 絵：岡田千晶

「かみなりどんがやってきた」 著：中川ひろたか 絵：あおきひろえ

「パパ、おつきさまとって」 作：エリック・カール

「みんなでつくっちゃった」 著／編：長 新太

「あめがふってよかったね」 著：よしいたかこ 絵：石倉ヒロユキ

「こんとあき」 林明子

「めっきらもっきらどおんどん」 著：長谷川摂子 絵：ふりやなな

「にじをつくったのだあれ？」 著：ベティ・アン・シュワルツ 絵：ドナ・ターナー 文：鈴木ユリイカ

「おこだてませんように」 著：くすのきしげのり 絵：石井 聖岳

「へんしんトンネル」 著／絵：あきやまただし

「ちょっとだけ」 著：瀧村有子 絵：鈴木永子

「にいちゃんのなみだスイッチ」 著：いとうみく 絵：青山友美

4) イベント時の絵本の読み語り

5月に行われた「さつき祭り」と10月開催の「敬愛フェスタ」において、メディアセンター来場の子どもたちを対象にした学生部図書係の企画進行による絵本の読み語りが行われた。図書係のメンバーは1年生のみであることから、5月の「さつき祭り」では読み語りは2年生に依頼した。10月のフェスタ時には図書係の読み語り班の代表者が読み語りをを行った。読み語りをを行った絵本を以下に記す。

①さつき祭り

「くれよんのくろくん」 絵：なかやみわさく

「ちいさなクレヨン」 作：篠塚かをり、絵：安井 淡

「どろんこおそうじ」 作・絵：さとうわきこ

「まゆとおに」 作：富安陽子、絵：降矢なな

「三びきのやぎのがらがらどん」 絵：マーシャ・ブラウン 瀬田貞二訳

「おおきなかぶ」 A・トルストイ再話 内田莉沙子訳 佐藤忠良画

「おばけのてんぷら」 せなけいこ

「私のワンピース」 にしまきかやこ 絵と文

②敬愛フェスタ

「パパ、おつきさまとって」 作：エリック・カール

「わにわにくんのおふろ」 作：山口マオ

「おまえ うまそうだな」 作：宮西達也

5) 総合子ども学研究所主催による絵本についての公開講座

今年度は、第19回現代子ども学公開講座として生田美秋先生（絵本学会理事・絵本専門士養成講座講師）から「保育と絵本を学ぶ人のために」と題して絵本についてお話を伺う機会があった。子どもと絵本、読み合い・読み語り、絵本の選び方、絵本の絵を読む方法などを中心に、学生は保育と絵本の基本について学んだ。講座の中で「はじめてのおつかい」をスクリーンで映しながら挿絵の細かな配慮を特に強調して教えていただいた。

方 法

メディアセンターのデータベースと質問紙による調査により学生の選書実態を分析した。

1. メディアセンターにおける絵本の貸出状況調査

1) 調査対象

千葉県の保育者を養成する短期大学2年次の学生149名を対象とした。

2) 調査期間

2018年4月1日～12月17日

3) 調査方法

メディアセンター保有の貸し出し状況データから必要データを使用した。

4) 分析方法

「貸出絵本」について、松岡享子著「えほんのせかい こどものせかい」(2017)、松居直「松居直のすすめる50の絵本」(2008)、および全国学校図書館協議会選定の「第28回選定よい絵本」(2016)との比較により質的に分析を行った。

2. 好きな絵本、絵本の選出基準、絵本の調達方法

1) 調査対象

千葉県の保育者を養成する短期大学2年次の学生133名を対象とした。

2) 調査期間

2018年12月22日～12月25日

3) 調査方法

質問紙を用いて行った。質問内容は、以下の通りであった。

- ①絵本の選出基準（自分が好き〔絵・ストーリー・作者〕・授業で薦められた・メディアセンターで薦められた・その他から選出、複数回答可）
- ②絵本の調達方法（メディアセンターで借りる・近くの図書館で借りる・家にある・購入するから選出、複数回答可）
- ③好きな絵本5冊の自由記述

4) 倫理的配慮

調査にあたり、調査項目、実施の有無は成績と一切関係しないことを説明した。また研究目的以外には使用しないことを質問紙配布時に説明を行い、同意の得られた者を対象とした。

5) 分析方法

1.の「貸出絵本」と合わせ、「好きな絵本」について、松岡享子著「えほんのせかい こどものせかい」(2017)、松居直「松居直のすすめる50の絵本」(2008)、および全国学校図書館協議会選定の「第28回選定よい絵本」(2016)との比較により質的に分析を行った。

結 果

1. 絵本貸出状況

1) 絵本貸出数

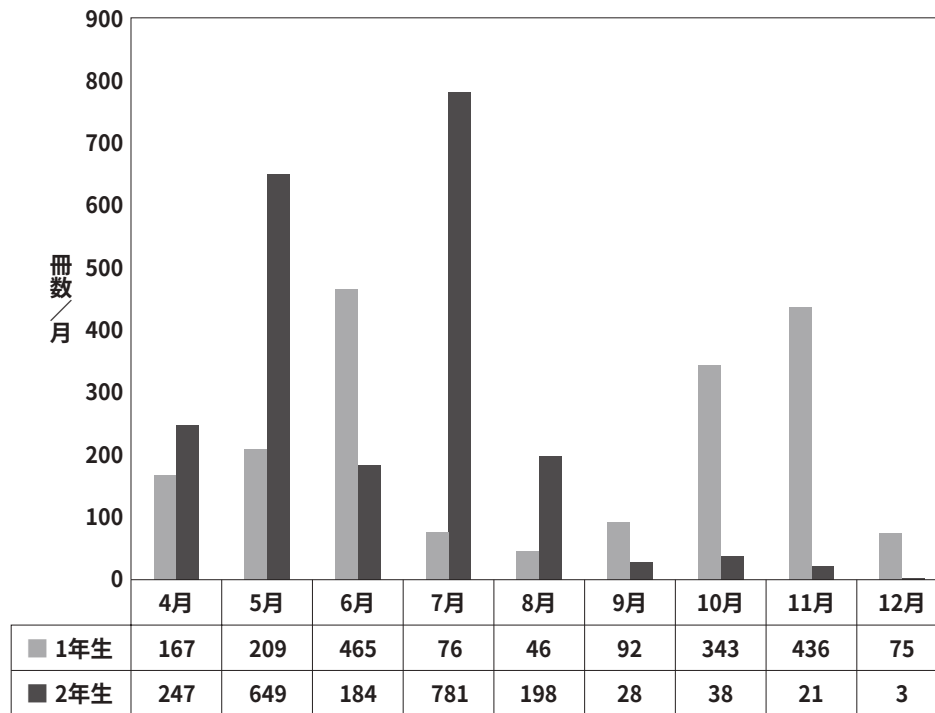
9か月分の絵本の貸し出し数を1年生との比較を含めて図1に示した。5月7月は2年生の貸出数が多く、特に7月は781冊と年間を通して最大数の貸し出しがあった。一方、9月28冊、10月38冊、11月21冊、そして12月は3冊と後期に貸出数が激減した。

2) 貸出の多かった絵本

貸出数の多かった上位50（55種類）の絵本を表1に示した。

1位から5位までに選出された絵本は、くれよんのくろくん、しろくまちゃんのほっとけーき、どうぞのいす、わたしのワンピース、そらめくんのベッドの順であった。

図1 2018年4月～12月 学年別絵本貸出数



2. 好きな絵本、絵本の選出基準、絵本の調達方法

1) 学生が「好き」な上位50の絵本

学生が「好き」な上位50の絵本を表2に示した。上位5位は、ぐりとぐら、はじめてのおつかい、はらぺこあおむし、だるまさんシリーズ、くれよんのくろくんであった。貸出された絵本と同じ絵本は25種類あり、グレーで示した。上位20まではほとんど重複していた。学生は、好きな絵本をメディアセンターで借りる傾向があるということがわかった。

2) 絵本選出の基準

絵本を選書する基準についてたずねた結果を表3に示した。自分が好きだからという回答が圧倒的に多かった。また、好きな内容は、絵が好き、ストーリーが好き、がほぼ同じ割合で多かった。その他の理由については、子どもの頃から読んでいたから、実習では対象となる子どもの状態を考慮して選ぶとの回答がみられた。作者が好き、と回答した中で、なかやみわ（1名）、ヨシタケシンスケ（2名）と特記していた者があった。

表 1 2018年4月～12月 貸出絵本(上位50)

絵本	出版年	作家	出版者	貸出数
くれよんのくろくん	2001	なかやみわさく・絵	童心社	43回
しろくまちゃんのほっとけーき	1972	わかやまけん著	こぐま社	42回
どうぞのいす	1981	香山美子作 柿本幸造絵	ひさかたチャイルド	35回
わたしのワンピース	1969	にしまさかやこ(西巻芽子)絵と文	こぐま社	30回
そらめくんのベッド	1999	なかやみわさく・絵	福音館書店	27回
はらぺこあおむし	1969	エリック＝カールさく もりひさし訳	偕成社	24回
そうくんのさんぽ	1977	なかのひろたか さく・絵 なかのまさたかレタリング	福音館書店	24回
どろんこハリー	1964	ジーン・ジョン文 マーガレット・ブロイ・グレアム絵 わたなべしげお訳	福音館書店	23回
おおきなかぶ	1966	A.トルストイ再話 内田莉莎子訳 佐藤忠良画	福音館書店	22回
からすのパンやさん	1973	加古里子絵と文	偕成社	20回
三びきのやぎのがらがらどん	1965	マーシャ・ブラウン絵 瀬田貞二訳	福音館書店	20回
どうすればいいのかな?	1980	わたなべしげお文 おおともやすお絵	福音館書店	19回
がたんごとんがたんごとん	1987	安西水丸さく	福音館書店	18回
キャベツくん	1980	長新太文・絵	文研出版	17回
おでかけのまえに	1981	筒井頼子さく 林明子絵	福音館書店	17回
ぐりとぐら	1967	ながかわり絵こ作 おおむらゆりこ絵	福音館書店	17回
11ぴきのねこふくろのなか	1967	馬場のぼる著	こぐま社	17回
てぶくろ ウクライナ民話	1965	エウゲーニー・M・ラチョフ絵 うちだりさこ訳	福音館書店	17回
ちいさなうさこちゃん	1964	ディック・ブルーナ文・絵 いしいももこ訳	福音館書店	16回
ぼくのくれよん	1993	長新太おはなし・絵	講談社	16回
せんたくかあちゃん	1982	さとうわきこさく・絵	福音館書店	16回
だるまさんが	2008	かがくいひろしさく	ブロンズ新社	16回
でこちゃん	2000	つちだのぶこさく・絵	PHP研究所	15回
ぐるんぱのようちえん	1966	西内ミナミさく 堀内誠一絵	福音館書店	15回
いただきますあす	1980	わたなべしげお文 おおともやすお絵	福音館書店	15回
めっきらもっきらどおんどん	1990	長谷川摂子作 ふりやなな画	福音館書店	14回
ティッチ	1975	パット・ハッチンスさく・絵 いしいももこ訳	福音館書店	14回
かばくん	1966	岸田衿子さく 中谷千代子絵	福音館書店	14回
はじめてのおつかい	1977	筒井頼子さく 林明子絵	福音館書店	13回
11ぴきのねこ	1967	馬場のぼる著	こぐま社	13回
すてきな三にんぐみ	1969	トミー＝アングラーさく いま絵よしと(今江祥智)訳	偕成社	13回
おふろだいすき	1982	松岡享子作 林明子絵	福音館書店	13回
そらいろのたね	1967	中川李枝子さく 大村百合子絵	福音館書店	13回
じゃあじゃあびりびり	2001	まつのりこ作・絵	偕成社	13回
そうくんのあめふりさんぽ	2006	なかのひろたかさく・絵	福音館書店	11回
かみなりどんがやってきた	2014	中川ひろたか文 鈴木翼 熊木たかひと原案 あおきひろ絵	世界文化社	11回
だるまさんと	2009	かがくいひろしさく	ブロンズ新社	11回
だるまさんの	2008	かがくいひろしさく	ブロンズ新社	10回
もうぬげない	2015	ヨシタケシンスケ作	ブロンズ新社	10回
おひさまあはは	1989	前川かずお作・絵	こぐま社	10回
はけたよはけたよ	1970	かんざわとしこ(神沢利子)文 にしまさかやこ(西巻芽子)絵	偕成社	10回
くろくとなぞのおばけ	2009	なかやみわさく・絵	童心社	9回
バムとケロのにちょうび	2008	島田ゆか作・絵	文溪堂	9回
にじいろのさかな	1997	マーカス・フィスター作 谷川俊太郎訳	講談社	9回
しゅくだい	2003	宗正美子原案 いもとようこ文・絵	岩崎書店	9回
ラチとらいおん	1965	マレーク・ペロニカ文・絵 とくながやすもと訳	福音館書店	9回
あんなになかよしだったのに…	2009	かさいまり作・絵	ひさかたチャイルド	8回
おまえうまそうだな	2003	宮西達也作絵	ポプラ社	8回
おばけのてんぶら	2005	せなけいこ作・絵	ポプラ社	8回
くもくん	1998	いとうひろし作	ポプラ社	8回
ねずみくんのチョッキ	1974	なか絵よし作 上野紀子絵	ポプラ社	8回
おやつなんだろう?	2017	山本和子 1949- 国松エリカ 1962-	ひさかたチャイルド	8回
おさるのおいかけっこ	2007	いとうひろし作・絵	講談社	8回
おべんとうはママのおてがみ	2015	田島かおり作	教育画劇	8回

表 2 学生の好きな絵本(上位50)

絵本	出版年	作家	出版者	選出者数
ぐりとぐら	1967	なかがわり絵こ作 おおむらゆりこ絵	福音館書店	49
はじめてのおつかい	1977	筒井頼子さく 林明子絵	福音館書店	41
はらぺこあおむし	1969	エリック=カールさく もりひさし訳	偕成社	31
だるまさんシリーズ	2008	かがくいひろしさく	ブロンズ新社	25
くれよんのくろくん	2001	なかやみわさく・絵	童心社	24
そらまめくんのベッド	1999	なかやみわさく・絵	福音館書店	23
もうぬげない	2015	ヨシタケシンスケ作	ブロンズ新社	20
三びきのやぎのがらがらどん	1965	マーシャ・ブラウン絵 瀬田貞二訳	福音館書店	13
わたしのワンピース	1969	にしまさかやこ（西巻芽子）絵と文	こぐま社	13
バムとケロのシリーズ	2010	島田ゆか作・絵	文溪堂	12
からすのパン屋さん	1973	加古里子絵と文	偕成社	11
しろくまちゃんのホットケーキ	1972	わかやまけん著	こぐま社	10
どうそこのいす	1981	香山美子作 柿本幸造絵	ひさかたチャイルド	10
でこちゃん	2000	つちだのぶこさく・絵	PHP研究所	9
おまえうまそうだな	2003	宮西達也作絵	ポプラ社	8
めっきらもっきらどんどん	1990	長谷川摂子作 ふりやなな画	福音館書店	8
ぐるんぱのようちえん	1966	西内ミナミさく 堀内誠一絵	福音館書店	7
こんとあき	1989	林明子作	福音館書店	7
てぶくろ	1965	エウゲーニー・M・ラチョフ絵 うちだりさこ訳	福音館書店	7
おふろだいすき	1982	松岡享子作 林明子絵	福音館書店	6
かいじゅうたちのいるところ	1975	モーリス・センダック著・画	富山房	6
きんぎょがにげた	1982	五味太郎作	福音館書店	6
ともだちや	1998	内田麟太郎作、降矢なな絵	偕成社	6
ねずみくんのチョッキ	1974	なか絵よしを作 上野紀子絵	ポプラ社	6
ブタのたね	1989	佐々木マキ作・絵	絵本館	6
100かいの家シリーズ	2008	いわいとしお作	偕成社	5
どろんこハリー	1964	ジーン・ジオン文 マーガレット・ブロイ・グレアム絵 わたなべしげお訳	福音館書店	5
11びきのねこシリーズ	1967	馬場のぼる著	こぐま社	4
三びきのこぶた	1967	瀬田貞二訳 山田三郎絵	福音館書店	4
おしっこちょっぴりもれたろう	2018	ヨシタケシンスケ	PHP研究所	4
かさをさしてあげるね	1998	はせがわせつこ、にしまさかやこ	福音館書店	4
すてきな三にんぐみ	1969	トミー=アンゲラーさく いま絵よしとも（今江祥智）訳	偕成社	4
ねないこだれだ	1969	せなけいこ	福音館書店	4
へんしんとんねる	2002	あきやただし	あきやただし	4
りんごかもしれない	2013	ヨシタケシンスケ	ブロンズ新社	4
14ひきシリーズ	1983	いわむらかずお作	童心社	3
かばんうりのガラゴ	1997	島田ゆか作・絵	文溪堂	3
キャベツくん	1980	長新太文・絵	文研出版	3
きょうはなんのひ？	1979	瀬田貞二作 林明子絵	福音館書店	3
きょだいなきょだいな	1994	長谷川摂子作、降矢奈々絵	福音館書店	3
くまのこうしょうせんせい	2004	こんのひとみ作	金の星社	3
スイミー	1969	レオ=レオ二作 谷川俊太郎訳	好学社	3
スーホーの白い馬	1967	大塚勇三再話	福音館書店	3
たまごにいちちゃん	2001	あきやただし作・絵	鈴木出版	3
にじいろのさかな	1997	マーカス・フィスター作 谷川俊太郎訳	講談社	3
ばけけけけけけたくん	2009	岩田明子作	大日本図書	3
はみがきれっしゃ	2015	くぼまちこ	アリス館	3
まあちゃんのながいかみ	1995	高橋方子	福音館書店	3
ミッフィー	1998	村田さち子、ディックブルーナ	講談社	3
ももたろう	1965	まついただし作、あかばすえき絵	福音館書店	3

表 3 絵本の選書基準

選書基準①	%
自分が好き	89
授業で推薦された	21
メディアセンターで推薦された	6
選書基準②	%
絵が好き	58
ストーリーが好き	55
作者が好き	9
その他	15

3) 絵本の調達方法

絵本を読む場合、また実習等で使用する場合に調達するところについてたずねた。その結果、家の近くの図書館で借りる、メディアセンターで借りる、の順に多かった。学校のメディアセンターより、家の近くの図書館で借りる割合がわずかではあるが多いことがわかった。

表 4 絵本の調達方法

絵本の調達方法	%
家の近くの図書館で借りる	66
メディアセンターで借りる	64
家にある	38
買う	20

4) 松居、松岡、全国学校図書館協議会の推薦する絵本との比較

①発行年からの経年比較

松居、松岡、全国学校図書館協議会の推薦する絵本と学生が貸出（学生1）、好き（学生2）な絵本の発行年からの期間（年数）を表5に示した。学生が選出した絵本は、他の選者の選出した絵本の発行年からの年数と比較して短かった。新しい絵本を選書する傾向があることがわかった。

表 5 学生の選書した絵本と有識者の選書絵本の発行年からの経年比較

選者	年数(年)	SD
松居	39	15.9
松岡	50	10.1
協議会	33	16.2
学生1	32	17.8
学生2	32	16.9

②選書の比較

学生が選出した絵本の中でいずれかの選者の推薦する絵本と同じ絵本は26種類（32.5%）であった（表7）。一方、3者とも選出した絵本の中で学生が選出していなかった絵本は30種類あり、表8に示した。5回貸出のあった「おおかみと7ひきのこやぎ」について、選者はグリム著 フェリクス・ホフマン画を選出、学生は那須田淳 文 柿本幸造 絵を選出していた。

表 6 松居、松岡、全国学校図書館協議会のいずれかの推薦する絵本と学生の選書

松居	松岡	協議会	絵本	出版年	作家	出版社
○	○	○	おおきなかぶ	1966	A.トルストイ再話 内田莉莎子訳 佐藤忠良画	福音館書店
○	○		かいじゅうたちのいるところ	1975	モーリス・センダック著・画	富山房
○	○		ちいさなうさこちゃん	1964	ディック・ブルーナ文・絵 いしいももこ訳	福音館書店
○	○		ラチとらいおん	1965	マレーク・ペロニカ文・絵 とくながやすもと訳	福音館書店
○		○	スイミー	1969	レオ＝レオニ作 谷川俊太郎訳	好学社
○		○	はけたよはけたよ	1970	かんざわとしこ(神沢利子)文 にしまきかやこ(西巻芽子)絵	偕成社
○		○	はらべこあおむし	1969	エリック＝カールさく もりひさし訳	偕成社
○		○	わたしのワンピース	1969	にしまきかやこ(西巻芽子)絵と文	こぐま社
○			はじめてのおつかい	1977	筒井頼子さく 林明子絵	福音館書店
○			ももたろう	1965	まついただし作、あかばすえきち絵	福音館書店
	○	○	ぐりとぐら	1967	なかがわり絵こ作 おおむらゆりこ絵	福音館書店
	○	○	スーホーの白い馬	1967	大塚勇三再話	福音館書店
	○	○	ティッチ	1975	パット・ハッチンスさく・絵 いしいももこ訳	福音館書店
	○	○	てぶくろ	1965	エウゲーニー・M・ラチョフ絵 うちだりさこ訳	福音館書店
	○	○	どろんこハリー	1964	ジーン・ジオン文 マーガレット・ブロイ・グレアム絵 わたなべしげお訳	福音館書店
	○	○	三びきのやぎのがらがらどん	1965	マーシャ・ブラウン絵 瀬田貞二訳	福音館書店
	○		おふろだいすき	1982	松岡享子作 林明子絵	福音館書店
	○		ぐるんぱのようちえん	1966	西内ミナミさく 堀内誠一絵	福音館書店
		○	11びきのねこ	1967	馬場のぼる著	こぐま社
		○	キャベツくん	1980	長新太文・絵	文研出版
		○	きょうはなんのひ?	1979	瀬田貞二作 林明子絵	福音館書店
		○	しゅくだい	2003	宗正美子原案 いもとようこ文・絵	岩崎書店
		○	でこちゃん	2000	つちだのぶこさく・絵	PHP研究所
		○	ねずみくんのチョッキ	1974	なか絵よしを作 上野紀子絵	ポプラ社
		○	ぼくのくれよん	1993	長新太おはなし・絵	講談社
		○	三びきのこぶた	1967	瀬田貞二訳 山田三郎絵	福音館書店

表 7 松居、松岡、全国学校図書館協議会の3者が推薦する絵本で学生が選出しなかった絵本

絵本	出版年	作家	出版社
はなをくんくん	1967	ルース・クラウス著、マーク・シーモント画	福音館書店
ちいさいうち	1954	バー吉ニア・リー・パートン著・画	岩波書店
ピーターラビットのおはなし	1971	ビアトリクス・ポター著・画	福音館書店
かにむかし	1959	木下順二著、清水崑画	岩波書店
まりーちゃんとひつじ	1956	フランソワーズ著・画	岩波書店
きかんしゃやえもん	1959	阿川弘之著、岡部冬彦画	岩波書店
よあけ	1977	ユリー・シュルヴィッツ著・画	福音館書店
あおい目のこねこ	1965	エゴン・マチーセン著・画	福音館書店
フレデリック-ちょっとかわったのねずみのはなし	1969	レオ・レオニ著・画	好学社
おいしいのぼうけん	1974	古田足日著、田畑精一画	童心社
きかんしゃやえもん	1959	阿川弘之文 岡部冬彦絵	岩波書店
だるまちゃんとてんぐちゃん	1967	加古里子さく／絵	福音館書店
おいしいのぼうけん	1974	ふるたたるひ たばたせいいちさく	童心社
かにむかし	1959	木下順二文 清水崑絵	岩波書店
だいくとおにろく	1967	松居直再話 赤羽末吉画	福音館書店
はなをくんくん	1967	ルース・クラウス文 マーク・シーモント絵 きじまはじめ訳	福音館書店
ひとまねこざる	1998	H. A. レイ文、絵 光吉夏弥訳	岩波書店
ちいさいうち	1965	ばーじにあ・りー・ばーとん文と絵 いしいももこ訳	岩波書店
ペレのあたらしいふく	1976	エルサ・ベスコフさく・絵 おのでらゆりこ訳	福音館書店
だいくとおにろく	1967	松居直再話	福音館書店
あおいめのこねこ	1965	エゴン・マチーセン著・画	福音館書店
きかんしゃやえもん	1959	阿川弘之文	岩波書店
ちいさいうち	1965	バー吉ニア・リー・パートンおはなしとえ	岩波書店
ペレのあたらしいふく	1976	エルサ・ベスコフさく・絵 おのでらゆりこ訳	福音館書店
よあけ	1977	ユリー・シュルヴィッツ著・画	福音館書店
だるまちゃんとてんぐちゃん	1967	加古里子作・絵	福音館書店
ピーターラビットのえほん	1971	ビアトリクス・ポター著・画	福音館書店
ひとまねこざる	1998	H. A. レイ文、絵 光吉夏弥訳	岩波書店
フレデリック	1969	レオ・レオニ	日本パブリッシング
まりーちゃんとひつじ	1956	フランソワーズ著・画	岩波書店

考 察

本研究は、本学学生の絵本選書の傾向を明らかにし、それに基づいて絵本の選書に関するメディアセンターとしての今後の取り組みについて課題と展望から検討することが目的であった。

まず、本学学生の絵本選書の傾向について考察する。

貸出数の動向からみると、学生は課題や実習時には絵本を読むが、2年生の12月の貸出数が3冊であったことからわかるように必要性がないと絵本をほとんど読まない傾向にあると考えられる。これは課題のひとつである。保育者を志す学生が常に自ら絵本を読む機会を創出するための支援をメディアセンターで行う必要がある。

絵本選書の理由は、自分が好きだからであった。授業で推薦された、メディアセンターで推薦された、を選書理由とする学生は非常に少ない。メディアセンターで今後支援する余地があり、それにより学生の絵本選書に力を貸せる可能性が大きいということでもある。

選書の対象となる絵本については、絵本の経年平均が比較的短期であることから、貸出、好きな絵本を含めて古典と称されるベストセラー絵本と近年話題となっている新作が混在していることがわかる。好きな絵本については、初版から50年愛され続けている「ぐりとぐら」が一番、「はじめてのおつかい」、「はらぺこあおむし」と続いた。学生たちはベストセラーといわれる良質な絵本を好んでいる傾向があることが示唆された。これは授業や絵本ノート作成において良質な絵本を知る機会があることの影響が大

きい。また、「はじめてのおつかい」については、11月の生田美秋先生が講座の中で丁寧に絵について説明してくださり、学生もその絵の魅力に魅かれた可能性がある。良質の絵本を丁寧に教授することで学生の絵本に対する見方が変わる可能性が示唆された。一方で貸出数が一番多かった絵本は、2001年に出版された「くれよんのくろくん」であった。作者の丸みをおびたやわらかいイラストが好き、という学生が多く、同じ作者の「そらめくんのベッド」も貸出の上位となっている。また、近年話題となっているヨシタケシンスケの絵本も好きな絵本として挙げられている。ヨシタケシンスケの絵本については、近年の発刊ということもあり、本研究において分析の参考として用いた絵本のリストには掲載されていない。子どもの目線で書かれているため子どもが楽しめるという評価もあるが、幼児向けの読み語りに適しているかどうか研究する必要がある。

絵本選書の内容について考察する。考察に当たり、松井直氏と松岡享子氏、および全国学校図書館協議会の推薦する絵本と比較した。その結果、一致率は30%程度であった。また、3者ともに推薦している絵本は31冊であったが、そのうちの30冊は、学生が選書した好きな絵本や貸出絵本に含まれていなかった。さらに、上位の貸出数ではなかったためリストには掲載されていなかったが、「おおかみと7ひきのこやぎ」は、グリム著 フェリクス・ホフマン画ではなく、那須田淳 文 柿本幸造 絵を選出していたことがわかった。松居（2008）は、“ホフマンの挿絵には、ゆたかな余白が生かされ、それが物語をみごとに生かすとともに、絵の細部にはストーリーを生かす絶妙な工夫がされている”とその挿絵の素晴らしさを強調している。学生は、その魅力より、学生の基準で「かわいい」を基準に選書している傾向があると考えられる。八木（2018）が説明している保育者を志す学生の絵本選書の理由として絵について「かわいい」「かわいらしい」等直感的・情緒的に選択している学生が多い（八木，2018）ことと一致する。絵本の絵が大事であることは、前述したように松岡（2017）も力説している。講座の中で生田先生が「はじめてのおつかい」に隠れている挿絵の妙を教えてくださいました事で学生が理解したように、良い絵を丁寧に学生に伝える機会をもつことが今後必要ではないかと考えられる。「おおかみと七ひきのこやぎ」や「三匹のこぶた」「三匹のくま」など、数種類の書き手がある昔話は特に、選書をする目を学生に養わせることが望まれる。

かわいく漫画的なイラストについて、中澤（2005）は実験的検証から、幼児に最も好まれた“登場人物がかわいく漫画的、色調は明るくメルヘンなイメージ”の絵は幼児の想像力（イメージ形成）の妨げとなっていたことを導き出した。そのことから幼児が好む絵本（好む絵）を与えることは必ずしも幼児の発達にとって良いわけではないということを示唆し、幼児に読み語りをを行う際、幼児の状態や何を育てたいのかを考えながら絵本の選択を行っていく必要があると説いた。

まだ絵本を見る目が完全に養われていない学生に対し、良質の絵本から選書するよう働きかけること、絵本の絵を見る目を養えるような支援方法を検討する必要がある。例えば吉田（2017）が行って効果があったと報告しているように、学生が良き絵本を選出し、POPを書き、他の人に紹介するなど教職員からの一方的な支援ではなく、自主的に取り組みつつ学べるような企画も考えられる。

さらに、伊勢ら（2018）が述べているように新任の保育者は、日々の仕事に追われ、絵本研究に時間を割くことが難しいことから、学生時から保育に生かすという観点を持ち、記録しながら絵本を読むことを早い時期から習慣づける指導を行う必要がある。絵本ノートの作成時のみならず学生が自主的に記録をしていくような教材も同時に考え、学生が絵本を見る目を養えるように考えること、それにより実習や課題以外でも絵本を読む学生が増えるようメディアセンターでの支援を検討し展開することが望まれる。

まとめ

1. 本学の学生は、課題や実習時に多くの絵本を読むが、それ以外では自主的にあまり絵本を読まない傾向がある。
2. 「好きな絵本」を主な理由に選書している者が多い。
3. 学生が絵本の絵を見る目を養うための支援方法を検討し、メディアセンターで実施することが望まれる。

〔謝辞〕 本研究は、2018年度千葉敬愛短期大学 学長裁量プロジェクト研究の一環として行いました。プロジェクトの採用にあたりご尽力くださいました教職員の皆様、メディアセンター運営委員会の教職の皆様、プロジェクトを採択してくださいました千葉敬愛短期大学 学長 明石要一先生に心よりお礼申し上げます。

質問紙調査に協力してくださった本学2年次の学生の皆様、メディアセンターの貸出データを作成してくださった本学メディアセンター司書の矢野香織様、「えほんのもり」に関して尽力してくださっているメディアセンター司書の古賀一美様、重ねて矢野香織様に記してお礼申し上げます。

■引用文献

- 橋村晴美（2018）「領域「言葉」における言葉の感覚が養われる教育方法についての一考察
—学生の絵本の選書から見てきたもの—」中部学院大学・中部学院大学短期大学部教育実践研究第（3）19-28
- 伊勢明子・吉村真理子（2017）「保育者にとっての絵本体験の重要性?保育者の資質を高める絵本ノートの活用について?」
千葉敬愛短期大学紀要（39）449-455
- 松居直（2008）「松居直のすすめる50の絵本」教文館
- 松居直（2018）「絵本の与え方」福音館書店
- 松岡享子（2017）「えほんのせかいこどものせかい」文春文庫
- 八木義仁（2018）「保育内容の研究（言葉）」における読み聞かせの選書理由の傾向」畿央大学紀要（15）5-10
- 吉田昭子（2017）大学生の選んだ「こどもたちに読ませたい本」の展示 文化学園大学・文化学園大学短期大学部紀要（48）123-131
- 工藤真由美 保育者にとっての絵本に関する一考察 四條畷学園短期大学紀要49 2016 40-46
- 「全国学校図書館協議会選定 第28回選定よい絵本」（2016）<http://www.jsla.or.jp/recommend/yoiehon-top.html>
- 中澤潤、中道圭人、大澤紀代子、針谷洋美（2005）「絵本の絵が幼児の物語理解・想像力に及ぼす影響」千葉大学教育学部研究紀要（53）193-202

■参考文献

- 絵本ナビ <https://www.ehonnavi.net/ehon/106343/>

保育所における乳児の保育事故を考える

ヒヤリハットから

葛野 真恵

Think about childcare accidents in infants at nursery schools

From incident

Masae KADONO

キーワード：乳児保育

1 はじめに

保育施設で保育を行う時、保育士たちが何よりも心を砕くことは、子どもたち一人ひとりの育ちと共に、朝預かった子どもを保護者の下に無事にお返しする事である。その為にも子どもたちにとって保育施設は、家庭に代わる安全で安心して過ごせる場でなくてはならない。

日々保育士は細心の注意を払って保育に取り組んでいるが、残念ながら保育事故は毎年、多数発生しているのが現実である。独立法人日本スポーツ振興センターによる平成29年度災害共済給付状況では保育所等の災害発生件数は40,211件（発生率2.22%）そのうち負傷は36,503件と前年（36,105件）に比べて増加している。平成27年度に子ども子育て支援新制度により小規模保育所など保育を行う場が広がったことで保育事故の件数が増加した要因の一つとも考えられるが、保育施設を利用する保護者にとっては、信頼して我が子の命を預ける場として、不安の要因を持っていることとなるのは非常に残念な事である。

保育事故を発生させないためには、過去に起きた事例をもとに保育士たちが学習し、同じ事故を起こさせない、また、似たようなケースの事故発生を防ぐことが一番であろう。その為に 保育現場では「ヒヤリハット」を作成し保育事故の共有化と再発防止に努めている。ここでは、「ヒヤリハット」を検討することで特に乳児保育の立場で保育事故発生の分析を試みることから、保育のなかにある危険性を把握し、事故防止に役立てる可能性を探る。

2 方 法

分析対象として、筆者が関わったI市の公立保育所1園が作成した「ヒヤリハット」1年間分を使用する。対象とする年度に作成された「ヒヤリハット」は76件であった。その中の乳児が該当する保育事故について考える。また、医療機関へ受診したケースについては日本スポーツ振興センターへの給付申請が行われているが、「ヒヤリハット」も作成されているので、今回の研究の対象とする。

乳児保育の授業では、「3歳未満児」を「乳児」と呼ぶが今回は「3歳未満児」を「未満児」「3歳以上児」を「以上児」と表現することが多いため、今回は「3歳未満児」を「未満児」として記載する。また、ここでの記載における年齢表記は保育所保育の中でのクラス年齢である。

図1 「ヒヤリハット」書式

出来事の種類		内容
ケガ等	転落	＊ヒヤリハットの内容（状況・職員の配置等） 状況（図など）
	転倒	
	指はさみ	
	かみつ	
	ひっかき	
	衝突	
	骨折・脱臼	
	熱傷	
	溺水	
	窒息	
	交通事故	
	殴打	
	切り傷	
	その他	
登所・降所時	登所・降所時	＊どうすれば未然に防ぐことが出来ましたか？
	災害	
	第3者からの被害	
トラブル	誤薬	
	アレルギー	
	伝達・確認ミス	
	その他	
＊今後どのように活かしていきたいですか？ 		

3 集計と分析

まず、使用する「ヒヤリハット」の書式を図1に示す。1事故につきA4番1枚となっている。記録者は保育事故に直接かかわったり、目撃した職員が作成している。その為、作成者は正規保育士、非正規保育士に関わらず作成をしている。提出の時期は、事故発生後すぐに所長へ口頭での報告を行いその後「ヒヤリハット」を作成する。所長が不在の場合は、副所長へ報告を行う。また、時間外保育時に発生した場合は、医療機関への受診を必要とするケースについては所長へ連絡を入れるが、受診を必要としない場合については翌日に報告し同時に「ヒヤリハット」を提出する。

(1) 在籍数

	(人)					
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
人数	9	18	30	32	45	45

一年間の間に転所、退所又は途中入所等在所児の人数には多少の変動があるが、ほぼこの在籍数である。

特に、乳児の場合は定員が満たされるとその後の変動はほとんどない。

(2) 「ヒヤリハット」報告数

1年間に76件の報告があり、内訳は以下の通りである。

	ケガ等	トラブル	その他	計
未満児 (一時預かり保育 子育て支援センター含)	26 (一時預かり保育 2 子育て支援センター 4)	6	7	39
以上児 (一時預かり保育含)	22 (一時預かり保育 1)	9	4	35
その他(給食)	0	1	1	2
計	48	16	12	76

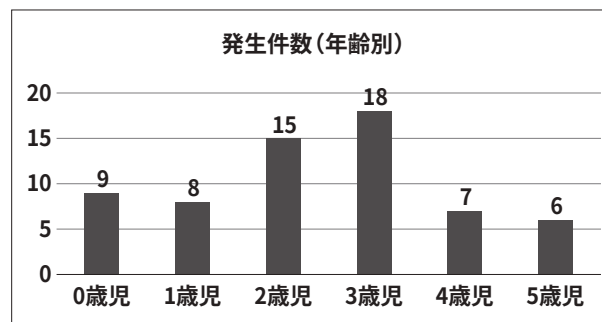
(件)

当該保育所には、一時預かり保育と子育て支援センターも併設されており、そこで発生した事故についても「ヒヤリハット」を作成し報告がされている。一時預かり保育内での事故は、保育中の事故として担当保育士が「ヒヤリハット」を作成し報告を行っている。子育て支援センターでの事故は、基本的に保護者の下での事故になるが、場に居合わせた保育士が感じた事として「ヒヤリハット」を作成している。子育て支援センターは小学校入学までの子が利用しているが、今回は以上児の事故発生はなかった。

「けが等」「トラブル」は「ヒヤリハット」にある項目である。「その他」については、保育士が保育の中で危険性に気づき整えた「環境整備」として提出されたものである。その為、以降はこの「その他」の部分以外の「けが等」「トラブル」63件について検討していく。

(3) 発生件数年齢別

	件数	合計
0歳児	9(6)	31(1)
1歳児	8	
2歳児	15	
3歳児	18(1)	31(1)
4歳児	7	
5歳児	6	
合計	63	63(7)



※()内は一時預かり保育、子育て支援センターでの事故数。

○考察

入所児数は圧倒的に以上児が多いが、事故発生件数は未満児32、以上児31とほぼ同数である。0歳児の事故発生件数は9件であるが、この中には一時預かり保育、子育て支援センターを利用した0歳児も含まれているため事故発生件数は在園児数のみの件数としては3件となる。

未満児の事故発生の要因として、未満児の運動能力の不安定さやコミュニケーション能力の不足から来るものが多いのではないかと考えるが、0歳児については、同じ乳児が複数回事故を起こすなどのケースもみられる。事故を起こしやすい子は、保育士が常に目を離さず対応するようにしてはいるが、同じ乳児が3回という結果は残念な数字ではある。しかし年間を通して、事故発生数が3件という数字と、1歳児18名の在園で年間8件という事故発生数はクラス担任の保育事故対応への健闘を称えたいところ

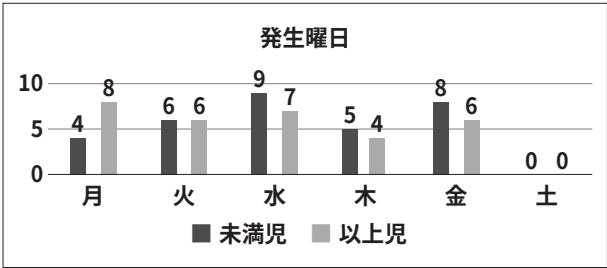
でもある。

一時預かり保育はここ数年未満児の利用が増えているところから、本来は事故がないことが望ましいのだが未満児の利用頻度が上がると事故発生の可能性も高くなるのではないかと。

（４） 発生日時

① 発生日曜

	月	火	水	木	金	土	合計
未満児	4	6(1)	9(4)	5(1)	8	0	32(6)
以上児	8	6(1)	7	4	6	0	31(1)
合計	12	12	16	9	14	0	63(7)

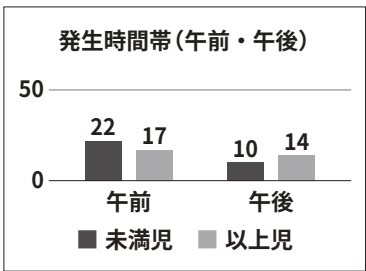


○考察

全体的に「月曜日」以外は大きな差は見られなかったが、結果として全体では週の半ばの「水曜日」が最も多く発生している。未満児に限ってみると「水曜日」が最も多く、次いで週末の「金曜日」が多くなっており休日明けの「月曜日」の発生が少ないのは意外であった。保育士は曜日を考慮に入れて活動内容や保育の展開を考えている。週半ばの「水曜日」は保育の展開として一番盛り上がる曜日であり、気持ち的にも「慣れ」が出てしまうのかとも考えられる。著者が保育所長をしている時は「魔の木曜日」と言い、保育事故が多発する曜日なので十分心して保育に当たる様よく声掛けをしたものであるが、今回の集計では少ない方に入っており意外であった。保育事故発生は休日明けと疲れの出る週末とよく保育士間では言われていたため、それを考慮に入れ保育内容を組立てたと仮定すると、未満児の休日明けの保育事故が少なくなっていることは、保育士の取り組みが効果を発揮したとも考えられる。

②発生日間帯（午前・午後）

	午前	午後	合計
未満児	22(6)	10	32(6)
以上児	17(1)	14	31(1)
合計	39	24	63(7)

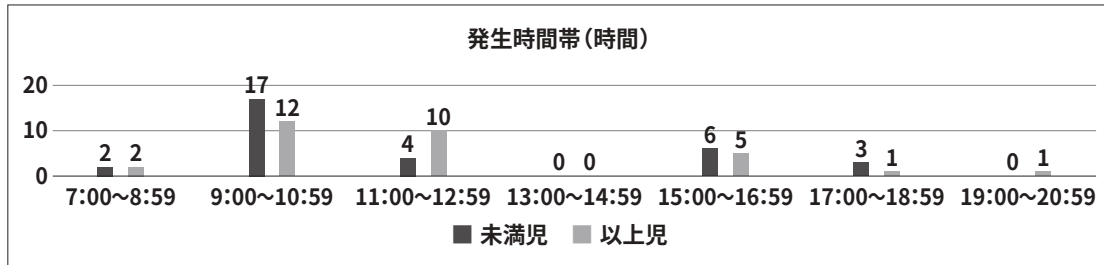


○考察

発生日間帯を午前午後にわけて検討してみると、以上児はさほどの差は見られなかったが、未満児に関しては圧倒的に午前の発生が多い。これは保育活動内容によるものと推測するが、次に示す発生日間帯の表からもう少し詳しく考察したい。

③発生時間帯

	7:00～8:59	9:00～10:59	11:00～12:59	13:00～14:59	15:00～16:59	17:00～18:59	19:00～20:00	合計
未満児	2	17(4)	4(2)	0	6	3	0	32(6)
以上児	2	12	10(1)	0	5	1	1	31(1)
合計	4	29	14	0	11	4	1	63(7)



④保育時間帯の保育体制

ここで、参考資料として 当該保育所の一日の保育体制と保育場所について示す。

時間帯	保育場所	担当者
7:00～	時間外保育クラス(2歳児クラス)	正規保育士・時間外保育補助員
7:30～	0, 1歳児…1歳児クラス 2歳児…3歳児クラス	時間外保育補助員
8:30～	各年齢クラス	クラス担任
17:00～	1歳児クラス	時間外保育補助員
19:00～20:00	時間外保育クラス(2歳児クラス)	正規保育士・時間外保育補助員

時間外保育専用の保育室はなく、防犯のため早朝と最終時間帯は2歳児クラスを使用している。

朝の時間外保育時は、以上児が続々と登所してくるため未満児への影響を考え7時30分から保育室を0, 1歳児と2歳児を分けて、安全な保育に努めている。

○考察

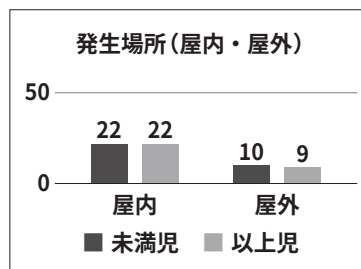
発生時間帯(午前・午後)で見られるように午前の保育事故発生が高く、特に発生時間帯(時間)によると9時から10時59分までが圧倒的に多くなっている。これは 未満児の活動として午前中に設定する活動内容によるところではないだろうか。つまり、乳児保育の場合は、午前中の時間帯に室内外での活動的な遊びを設定し、午後は室内での遊びが中心となるため、この時間帯に保育事故発生の可能性が高くなるのではないかと考えられる。以上児の場合は、午睡明けの午後戸外での活動が行われるので、保育事故発生の可能性が午後上がるのではないかと考える。

未満児の事故数には、一時預かり保育も含まれており、一時預かり保育も乳児保育と同様な保育内容となっているためこの時間帯に多く含まれている。また、子育て支援センターは午前、午後と利用は可能なのだが午前に事故が発生しているため乳児の午前の事故発生件数を上げている一因でもあるのではないかと考える。

次に保育事故発生件数が多い15時から16時59分という時間帯は、午睡から起きおやつを食べお迎えの時間までを保育室内またはホールなどで過ごす時間である。午睡の片づけ、子どもたちの世話、おやつの準備や片付けをしながらお迎えに来た保護者対応も行われており、保育士が忙しく立ち働く時間帯である。加えて、寝起きで子どもの体調面や、目覚めたばかりでもう少し甘えたいなどの未満児の精神面での状態が今一つという事も考慮すれば、保育事故発生が多くなる可能性は十分考えられる。

(5) 発生場所別

	屋内	屋外	合計
未満児	22(3)	10(3)	32(6)
以上児	22(1)	9	31(1)
合計	44	19	63(7)



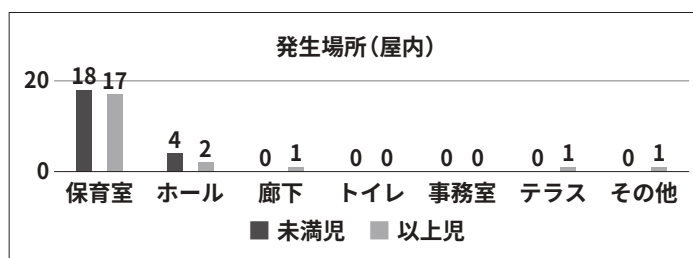
○考察

未満児、以上児とも圧倒的に屋内での保育事故が多い。これは屋内で過ごす時間と屋外で過ごす時間との関係が考えられる。特に、乳児保育の場合は屋外で過ごす時間は一日のうち1時間～2時間程度である。もちろん0歳児と2歳児とでも差が出てくるが、それでも一日8時間～12時間保育を利用している未満児にとって、屋内より屋内で過ごす時間がかなり長くなるため、保育事故が発生する比率としては屋内が高くなるのではないかと考えられる。

①発生場所別(屋内)

次に、発生場所を細かく見ていく。

	保育室	ホール	廊下	トイレ	事務室	テラス	その他	合計
未満児	18(3)	4(3)	0	0	0	0	0	22(6)
以上児	17(1)	2	1	0	0	1	1	22(1)
合計	35	6	1	0	0	1	1	44(7)



※「その他」とは「給食室の扉」

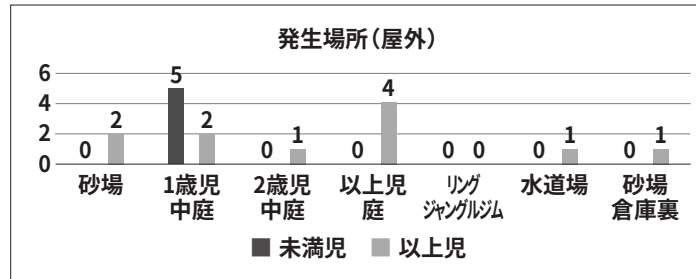
○考察

屋内の発生場所として未満児、以上児とも保育室が最も高くなっているが、これは 保育室で過ごす時間が最も長いためであると考えられる。また、保育の態勢にも理由があるのではないか。乳児保育の場合保育士は、廊下やテラスなど保育室以外で過ごす時は、可能であれば 保育士が関わる未満児の人数を絞り、未満児同士の相性などを見て組み合わせて保育をすることが多い。その為 廊下、トイレ、事務室などでの保育事故が「0」という状況が生まれているのだと考える。

また、ホールは日頃保育室にはない遊具や玩具があることや、広い空間が遊びの方法や未満児の気持ちに開放感が生まれることなどから保育事故発生につながっているのではないか。

②発生場所別（屋外）

	砂場	1歳児中庭	2歳児中庭	以上児中庭	リングジャングルジム	水道場	砂場倉庫裏	合計
未満児	0	5	5	0	0	0	0	10
以上児	2	0	0	4	1	1	1	9
合計	2	5	5	4	1	1	1	19

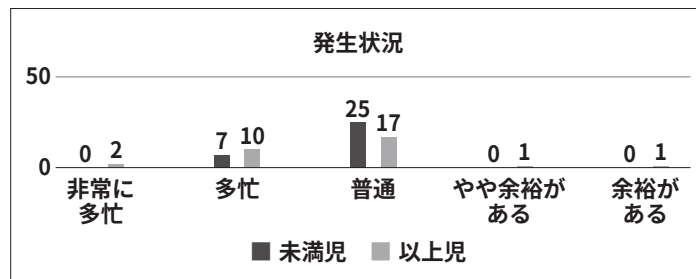


○考察

保育事故発生件数としては、屋内の半数ほどではあるが集中して1歳児、2歳児の中庭で発生している。当該保育所は未満児の戸外遊びは、0、1歳児は「1歳児中庭」で、2歳児は「2歳児中庭」で行う事がほとんどであるためこのような結果となったのではないかと考える。詳細を確認したところ、「1歳児中庭」では0、1歳児の、「2歳児中庭」では2歳児の保育事故が発生していることが確認できた。より長い時間生活する場所での保育事故発生は確立として高くなるのであろう。ちなみに未満児が以上児の広い庭で遊ぶことはあるが、その様な時は保育士が少人数の未満児を連れて行き遊びの場として適任と思える空間を設定するようにしている。以上児は遊びに来た未満児を見ると一様に興味を持ち、世話を申し出て一緒に遊ぶ光景が見られるが、その事による保育事故は発生していない。このことは、当該保育所保育の中で、以上児と未満児との交流が上手く行われ、以上児の未満児への関りや思いやりがしっかりと育っていると考えられるのではないだろうか。この先の保育の取り組みとして模範となるのではないか。

（6）発生状況別

	非常に多忙	多忙	普通	やや余裕がある	余裕がある	合計
未満児	0	7 (1)	25 (5)	0	0	32 (6)
以上児	2 (1)	10	17	1	1	31 (1)
合計	2	17	42	1	1	63 (7)



一般的に保育事故発生は保育士が「非常に忙しい」時間帯に起こる可能性が高いのではないかと予想されるが、今回のこの調査では その予想とは全く異なる形となって表れた。未満児の場合の事故発生は保育の状況は「普通」に時間が流れ保育が行われている時間帯が最も多く、次に「多忙」である時間帯に発生していることが伺える。保育士が忙しさとして「普通」と感じている時間帯については、「場所」

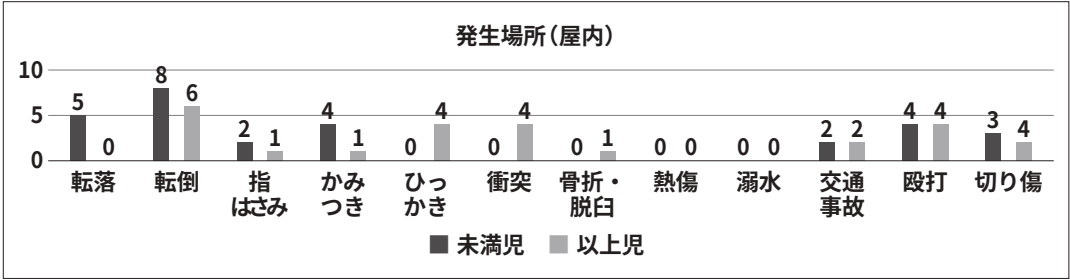
や「時間帯」から考えると戸外や室内での午前の遊びの場面であり、保育士が定数配置され、保育室等での遊びが展開されている状況での事故発生であったことから、保育態勢としての大きな問題点は考えられない。「普通」という状況の中での事故発生は忙しさのみに発生要因が絞られないという事が理解できる。

「非常に忙しい」時間帯と保育士が感じる時間帯は、給食準備と戸外遊びからの入室が重なる時などである。このような時は、乳児一人ひとりの性質、特徴などを把握しているので保育事故の起きやすいケースを事前に予測し、そこを重点的に注目することで、保育士たちは保育事故を起こさないためにより態勢を整えて保育に取り組む。その事が「非常に忙しい」時間帯の保育事故を防ぐ要因となったのではないかと推測する。

(7) 出来事の種類

①ケガ等

	転落	転倒	指はさみ	かみつき	ひっかき	衝突	骨折・脱臼	熱傷	溺水	交通事故	殴打	切り傷	その他	合計
未満児	5(2)	8(2)	2	4	0	0	0	0	0	0	2	4(1)	3	28(5)
以上児	0	6	1	1	4	4	1	0	0	0	2(1)	4	2	25(1)
合計	5	14	3	5	4	4	1	0	0	0	4	8	5	53(6)



○考察

保育事故によるケガの状況は一つの事故に対して転倒して傷が出来た等、二つ以上の怪我の分類が報告されているケースもある為、数字が事故発生数と一致していない。未満児の事故によるけがの分類は、転倒が多くなっているが、これは未満児、特に0, 1歳児の身体的、運動能力的な面からの影響が考えられる。バランスを崩しやすい、転びやすいというのは未満児の生活の中で日常見られる特徴であり、それを保育士が防ぐ事が出来なかったというケースであろう。次に転落が多くなっているがこの数字には2件子育て支援センターの数字も入っているので、在園児としての数は3件となるのだが、転落は一つ間違えると重症や死に繋がるケースもあるので0となるような取り組みが必要と考える。未満児、特に0, 1歳児の運動能力、身体的特徴を考えた時、保育士は起こりうる事故について想像力を働かせ、自身の立つ位置など取るべき対応を考えて保育に臨む必要がある。

乳児保育の授業の中で、乳児の保育の注意点として「かみつき」を取り上げる。ここの分類としても「かみつき」が見られるが、詳細を確認すると1歳児1件、2歳児3件となっており最も注意を要する1歳児の「かみつき」への対応が十分になされていると考えて良いのではないだろうか。また、2歳児の場合も30人一クラスの中での保育運営を考えると、3件の「かみつき」は評価したいと思うのは、著者がその保育を体験しているところから来る身びいきであろうか。

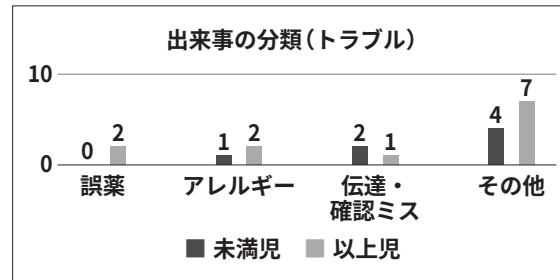
「その他」は、乳歯のぐらつきや唇、舌をかむなどがあり、転倒に伴うケガであった。

この「出来事の種類」の中に乳児で一番心配される「誤飲」の項目がないことに注目したい。「誤飲」は保育士が必ず止められる事故であり、そのための取り組みが日々の環境構成の中で行われ、「誤飲」を

起こさない環境を整えてきている。その為ヒヤリハットの項目として載らなかったようだが、乳児保育を行っている場としては、入れておくべきであろう。その点については残念である。

②トラブル

	誤薬	アレルギー	伝達・ 確認ミス	その他	合計
未満児	0	1	2	4	7
以上児	2	2(1)	1	7	12(1)
合計	2	3	3	11	19



○考察

担任以外の保育士が補助として保育に入る時に、最も気を付けなければならない事の一つに、アレルギー児への対応がある。最悪の場合は命を落とす結果となるため慎重に行いたい事であるが、残念ながら1件の発生が見られる。この場合も補助として保育に入った職員が与えてしまい、担任が気づいた時には乳児が口に入れてしまっていたという状況であった。幸いなことにアレルギー症状としては非常に軽く、念のために除去しているというケースだったため大事には至らなかったが、重く取り上げなくてはならないケースであると考え。未満児は複数担任であることが多い。このようなミスを行さない為に、担任は補助の保育士への言葉かけを行い、出来る事ならアレルギー児への対応は担任のみというところまで徹底するべきかもしれない。

「伝達ミス・確認ミス」2件は、前に触れたアレルギー児への確認ミスと0歳児でミルクの確認ミスが報告されている。アレルギーのところでも触れたが、体の発育が十分でない未満児、特に0、1歳児への誤食は大人とは違い重要な結果を招く可能性が大きいので、再発防止に努めなくてはならない。現にこの後、当該保育所では哺乳瓶への名前の明記、その方法とアレルギー食の提供の仕方についての再検討を行い、事故が発生しないような取り組みが行われ成果が出ている。

「その他」については、1歳児が保育室から廊下へ出てしまった事、個人ロッカーのフックが危険なためテープで止めておいたのだが、それを剥がそうとしていた事、手洗い場の段に上っていた事、2歳児で寄りかかった棚が動いてしまった事などが等には繋がらなかったが、保育士が危険と感じたことが報告されている。

なお、「登所・降所時」「災害」「第三者からの被害」については1件も発生していない。

4 まとめ

本来「ヒヤリハット」はそのことば通り、「ヒヤリ」とした事「ハット」としたことを書き留めて、保育士間で共有し事故発生防止に役立てるために作成することが目的でもある。今回の資料にはこの本来の姿勢にかなうものも有ったが、大方は事故発生後 保育士が改めて気づいた点などが記載されたものであった。

1年間のみの「ヒヤリハット」をまとめ、考察したところ、未満児の保育事故発生の可能性が以上児

よりも格段に高いという事が理解できた。そこには未満児特有の身体的、精神的発達が途上であるという事が原因の一つと考えられる。しかし 保育士はそれを考慮の上、保育を計画し、展開している。例えば、環境設定では室内の角になる部分にはクッション材を取り付けたり、死角となる部分を極力なくし、遊具、玩具は定期的に点検等を行っている。保育の方法も、常に同じ人数を同じ空間で保育するのではなく、一日の保育の流れの中で少人数に分ける、その日の個々の精神状態を把握した上での対応など、未満児にとってゆとりの持てる保育を展開している。そのような努力の中で起きる保育事故は事故の大小にかかわらず、未満児とその保護者の気持ちを傷つけることはもちろん、保育士の心にも大きな痛手となる。

「ヒヤリハット」を作成することで事故に関わった保育士が改めて自分の保育について見なおすと共に、他の保育士はその状況を理解し、自分の保育を展開する時に、その中に潜む危険性の可能性を先に提出された「ヒヤリハット」から学び、保育事故防止へ役立ててくれることを望む。

最後に、当該保育所では「ヒヤリハット」作成後は職員全員が情報を共有できるよう回覧し、朝のミーティング等で報告を行い保育事故防止に取り組んでいる。

■参考文献

- 1) 内閣府子ども・子育て本部「平成29年教育・保育施設等における事故報告集計」の公表及び事故防止対策について」
- 2) 日本スポーツ振興センター災害給付状況 平成29年度「学校管理下の災害」

本学の学生と絵本 学生が選んだ絵本一覧

鈴木 健一

Relationships between the Students of Keiai Junior College and the Picture Books The List of the Picture Books selected by the Students

Kenichi SUZUKI

キーワード：絵本、学生による選書

1 はじめに

本学の保育コースの学生には、「絵本ノート」を作るという課題が課されている。この「絵本ノート」の目的や内容、進め方などは、すでに伊勢明子氏と吉村真理子氏が報告している⁽¹⁾。この資料は、本学の学生（2年生）が具体的にどのような絵本を選んだかを取り出して整理したものであり、分析・考察は別の機会に行いたい。

抽出したのは保育コースの学生61名と、課題ではないが推奨活動として提案しておいた初等教育コースの学生15名の計76名が選択した絵本である。ただし、課題としなかったため、初等教育コースの学生の作品数は少なくなっている。

選択された絵本の数は、以下に整理したとおりで、858種類、延べ数では2387であった。

2 選ばれた絵本

整理するに当たっては、

- ① 絵本は題名を五十音の順に並べる。
- ② 「 」内に絵本の題名
- ③ （ ）内に作者（文を書いた者）名と出版社（文を書いた者がいない例もある）
- ④ （ ）の後に選ばれた数（23なら23名に選ばれている。記入なしは1名の選択）

というようにした。

【あ】選択作品数（異なり53 のべ97）

- 「あーんあん」（せなけいこ 福音館書店）5
- 「あーんあんの絵本」（せなけいこ 福音館書店）
- 「あいしてくれてありがとう」（宮西達也 ポプラ社）2
- 「あいすることあいされること」（宮西達也 ポプラ社）
- 「あおくとときいろちゃん」（レオ・レオニ 至光社）
- 「あかあおふたりで」（U・G・サトー 福音館書店）
- 「あかがいちばん」（キャシー・スティンソン ほるぷ出版）
- 「あかですよあおですよ」（かこさとし 福音館書店）
- 「あさえとちいさいいもうと」（筒井頼子 福音館書店）
- 「あさですよよるですよ」（かこさとし 福音館書店）3

「あしかくんふねにのる」(飯島敏子 ひかりのくに)
 「あしたえんそくだから」(守屋正恵 あかね書房)
 「あしたえんそく!らんらんらん」(武田美穂 ポプラ社)
 「あしたのぼくは…」(みやにしたつや ポプラ社) 2
 「あしたもともだち」(内田麟太郎 偕成社) 2
 「あたし、ピーカンちゃん」(大森裕子 教育画劇)
 「あっ!」(中川ひろたか 金の星社) 2
 「あっ、オオカミだ!」(ステファニー・ブレイク あすなろ出版) 2
 「あっ・ほっ」(五味太郎 絵本館)
 「あつい!!」(木曾秀夫 フレーベル館) 3
 「あっこおにいちゃんので」(大西ひろみ ひかりのくに)
 「あっはっは」(川之上英子・川之上健 岩崎書店)
 「あっぱれ!てるてる王子」(コマヤスカン 講談社) 2
 「あな」(谷川俊太郎 福音館書店)
 「あなたをずっとずっとあいしてる」(宮西達也 ポプラ社) 2
 「あのな、これはひみつやで!」(くすのきしげのり 偕成社) 2
 「あぶくたった」(さいとうしのぶ ひさかたチャイルド)
 「アボカド・ベイビー」(ジョン・バーニンガム ほるぷ出版)
 「あまがえるのあおちゃん」(高家博成・仲川道子 童心社)
 「あみだだだ」(谷川俊太郎 福音館書店)
 「あめあめあれれ」(梅田俊作 童心社)
 「あめだまをたべたライオン」(今江祥智 フレーベル館)
 「あめのひ」(サム・アッシャー 徳間書店)
 「あめのひくろくま」(たかいよしかず くもん出版) 3
 「あめのひのえんそく」(間瀬なおかた ひさかたチャイルド)
 「あめのひのくまちゃん」(高橋和枝 アリス館)
 「あめふり」(さとうわきこ 福音館書店)
 「あめふりくまのこ」(鶴見正夫 ひさかたチャイルド)
 「あめふりさんぽ」(えがしらみちこ 講談社)
 「あめぼぼぼ」(ひがしなおこ くもん出版)
 「あらいぐまとねずみたち」(大友康夫 福音館書店)
 「ありがとう……どういたしまして」(ルイス・スロボトキン 偕成社)
 「ありがとうターブゥ」(わたなべまりな エムオン・エンタテインメント)
 「ありがとうともだち」(内田麟太郎 偕成社)
 「ありがとうのきもち」(柴田愛子 ポプラ社)
 「ありがとうへんてこライオン」(長新太 小学館)
 「ありこちゃんのおてつだい」(高家博成・仲川道子 童心社) 3
 「ありこのおつかい」(石井桃子 福音館書店)
 「ありさんぽつぽつ」(たんじあきこ 主婦の友社) 6
 「アリのおでかけ」(西村敏雄 白泉社) 2
 「アルパカパカパカやってきて」(おおなり修司 絵本館) 2
 「あれれれれ」(やぎゅうげんいちろう 福音館書店) 2
 「アンガスとあひる」(マージョリー・フラック 福音館書店) 17

【い】 選択作品数 (異なり 29 のべ109)

「いいからいいから」(長谷川義史 絵本館) 2
 「いいからいいから4」(長谷川義史 絵本館)
 「イーヨとヤーヨ」(ささきまゆ 是之堂)
 「イカになあれ」(真珠まりこ 講談社)
 「いじめっこ」(ローラ・ヴァッカロ・シーガー あすなろ書房)

「いじわる」(せなけいこ 鈴木出版)
 「いたずらきかんしゃちゅうちゅう」(バージニア・リー・バートン 福音館書店) 4
 「いたずらこねこ」(バーナディン・クック 福音館書店) 12
 「いただきバス」(藤本ともひこ 鈴木出版) 6
 「いただきまーす！」(二宮由紀子 解放出版社)
 「いちご」(平山和子 福音館書店) 17
 「いっしょにするよ」(風木一人 KADOKAWA)
 「いっすんぼうし」(いしいももこ 福音館書店) 16
 「いっせーのばあ」(新井洋行 KADOKAWA)
 「いつでも会える」(菊田まりこ 学研) 3
 「いつもいっしょに」(こんのひとみ 金の星社)
 「いつもわがままガマおうじ」(えんどうしゅうこ ワニブックス) 3
 「いないいないばあ」(松谷みよ子 童心社) 3
 「いやいやにゃんこ」(ひがしくんぺい 小学館) 2
 「いやだいやだ」(せなけいこ 福音館書店) 17
 「いやだいやだの絵本」(せなけいこ 福音館書店)
 「いろいろいちご」(山岡ひかる くもん出版) 4
 「いろいろなほん」(エルヴェ・デュレ ポプラ社)
 「いろいろサンドイッチ」(山岡ひかる くもん出版)
 「いろいろしかく」(中辻悦子 福音館書店)
 「いろいろたまご」(山岡ひかる くもん出版) 3
 「いろいろばあ」(新井洋行 えほんの杜)
 「いろいろバス」(ツペラツペラ 大日本図書) 2
 「いろいろバナナ」(山岡ひかる くもん出版)

【う】 選択作品数 (異なり 32 のべ52)

「うさぎちゃんとドーナツ」(きよながこういち ミスタードーナツ [非売品])
 「うさぎのダンス」(彩樹かれん ひさかたチャイルド) 2
 「うさぎのニコラス」(リチャード・スキヤリー 好学社)
 「うさこちゃんがっこうへいく」(ディック・ブルーナ 福音館書店)
 「うさこちゃんとうみ」(ディック・ブルーナ 福音館書店) 4
 「うさこちゃんとたれみみくん」(ディック・ブルーナ 福音館書店)
 「うさこちゃんとどうぶつえん」(ディック・ブルーナ 福音館書店)
 「うさこちゃんとふがこちゃん」(エリック・カール 福音館書店)
 「うさこちゃんのさがしもの」(ディック・ブルーナ 福音館書店)
 「うさこちゃんのだいすきなおばあちゃん」(ディック・ブルーナ 福音館書店)
 「うさこちゃんのたんじょうび」(ディック・ブルーナ 福音館書店)
 「うさこちゃんのだんす」(ディック・ブルーナ 福音館書店)
 「うさこちゃんのがみ」(ディック・ブルーナ 福音館書店)
 「うさこちゃんはじょうおうさま」(ディック・ブルーナ 福音館書店)
 「うさこのサンタクロース」(矢崎節夫 フレーベル館)
 「うしはどこでも「モー！」」(エレン・スラスキー・ワインスティーン 鈴木出版)
 「うしろにいるのだあれ」(ふくだとしお+あきこ 幻冬舎)
 「うずまき貝のロケット」(なすだみのる ひくまの出版)
 「うずらちゃんのかくれんぼ」(きもとももこ 福音館書店)
 「うそつきのつき」(内田麟太郎 文溪堂)
 「うたこさんのにわしごと」(ディック・ブルーナ 福音館書店)
 「うちにかえったガラゴ」(島田ゆか 文溪堂) 3
 「うちのパパってかっこいい」(アンソニー・ブラウン 評論社)
 「うみの100かいだてのいえ」(いわいとしお 偕成社) 5

「うみべのハリー」(ジーン・ジオン 福音館書店)
「うめぼしくん」(わたなべあや 学研) 2
「うめぼしさん」(かんざわとしこ こぐま社)
「うれないやきそばパン」(冨永まい 金の星社) 6
「うんこ」(サトシン 文溪堂) 3
「うんちがぼとん」(アロナ・フランケル アリス出版)
「うんちしたのはだれよ!」(ヴェルナー・ホルツヴァルト 偕成社)
「うんちっち」(ステファニー・ブレイク あすなろ書房) 3

【え】 選択作品数 (異なり 6 のべ 15)

「えーと、えーとね、ぼくペンギン?」(エーデル・ロドリゲス ポプラ社) 5
「ええところ」(くすのきしげのり 学研)
「えっちゃんのながぐつ」(野村ユキ ひさかたチャイルド)
「エリック・カールのイソップものがたり」(エリック・カール 偕成社)
「エレノアのひとりじめ」(ジュリー・ギアスマン 辰巳出版)
「えんそくバス」(中川ひろたか 童心社) 6

【お】 選択作品数 (異なり 101 のべ 282)

「おいし〜い」(いしづちひろ くもん出版) 3
「おいしいおと」(三宮麻由子 福音館書店)
「おうさま」(ディック・ブルーナ 福音館書店)
「おえかきクッキング」(すとうあさえ 金の星社)
「おーいおーい」(さとうわきこ 福音館書店) 9
「おおかみだってきをつけて」(重森千佳 フレーベル館)
「おおかみと七ひきのこやぎ」(グリム童話 瀬田貞二訳 福音館書店) 2
「おおきくなったらなにになる?」(フランソワーズ 偕成社)
「おおきくなりたいの」(マーガリータ・エンゲル 岩崎書店) 3
「おおきくなるっていうことは」(中川ひろたか 童心社)
「おおきなおきなおいも」(赤羽末吉 福音館書店)
「おおきなおひめさま」(三浦太郎 偕成社)
「おおきなかぶ」(ロシア民話 トルストイ再話 福音館書店) 25
「おおきな木」(シエル・シルヴァスタイン 篠崎書林)
「おおきな木のおはなし」(メアリ・ニューウェル・デパルマ ひさかたチャイルド)
「おおきなきゃべつ」(岡信子 世界文化社)
「おおゆきくまちゃん」(シャーリー・パレントー 岩崎書店)
「おかあさん、すごい!」(スギヤマカナヨ 赤ちゃんとママ社)
「おかあさんのパンツ」(山岡ひかる 絵本館) 4
「おこだでませんように」(くすのきしげのり 小学館) 3
「おさかなちゃんのばいば〜い」(ヒド・ファン・ヘネヒテン 学研)
「おさるのおいかけっこ」(いとうひろし 講談社) 6
「おさるのまねっこ」(いとうひろし 講談社)
「おしくら・まんじゅう」(かがくいひろし ブロンズ新社) 3
「おしっこちょっぴりもれたろう」(ヨシタケシンスケ PHP 出版) 10
「おすわりくまちゃん」(シャーリー・パレントー 岩崎書店) 2
「おたからパン」(真珠まりこ ひさかたチャイルド) 3
「おたすけこびととハムスター」(なかがわちひろ 徳間書店)
「おつかい」(さとうわきこ 福音館書店)
「おっきくなったら」(エマ・ドッド バベル・プレス)
「おつきさまこんばんは」(林明子 福音館書店) 34
「お月さまってどんなあじ?」(マイケル・グレイニエツ セーラー出版)

「おつきさまのかぞえうた」(新井洋行 えほんの杜)
 「おつきさまのぽっと」(ちぐまや 絵本投稿サイト「絵本ひろば」)
 「おっとおとしもの」(五味太郎 絵本館)
 「おっぱいのひみつ」(柳生弦一郎 福音館書店)
 「おでかけのまえに」(筒井頼子 福音館書店) 2
 「おとうさんがいちばん」(バレリー・ゴルバチョフ 講談社)
 「おとうさんがおとうさんになった日」(長野ヒデ子 童心社)
 「おとうさんのかさ」(三浦太郎 のら書店)
 「おとうさんはウルトラマン」(みやにしたつや 学研)
 「おとうさんはパンやさん」(平田昌広 佼成出版社)
 「おとまりのひ」(中川ひろたか 童心社)
 「おともだちたべちゃった」(ハイディ・マッキノン 潮出版社)
 「おともだちになってね」(岡本一郎 金の星社)
 「おにいちゃんといもうと」(シャーロット・ゾロトウ あすなろ書房)
 「おにがでた」(木村裕一 偕成社)
 「おにぎりがしま」(やぎたみこ ブロンズ新社)
 「おにぎりころころ」(トモコ＝ガルシア 岩崎書店) 4
 「おにぎりにんじゃ」(北村裕花 講談社)
 「おにのいす」(すぎやまたえこ 絵本塾出版)
 「おねしょのかみさま」(長谷川義史 学研)
 「おばけだじょ」(ツペラツペラ 学研)
 「おばけとかくれんぼ」(新井洋行 くもん出版) 4
 「おばけなんてないさ」(せなけいこ ポプラ社) 2
 「おばけのアイスクリームやさん」(安西水丸 教育画劇)
 「おばけのえんそく」(西平あかね 福音館書店)
 「おばけのかくれんぼべんとう」(木坂涼)
 「おばけの地下室たんけん」(ジャック・デュケノワ ほるぷ出版)
 「おばけのてんぷら」(せなけいこ ポプラ社) 6
 「おばけのどろんどろんとぴかぴかおばけ」(わかやまけん ポプラ社)
 「おばけのバーバパパ」(アネット・チゾン、タラス・テイラー 偕成社)
 「おばけのやだもん」(ひらのゆきこ 教育画劇) 2
 「おばけパーティ」(ジャック・デュケノワ ほるぷ出版)
 「おばけマンション」(鈴木翼 世界文化社)
 「おはなしいっぱい魔女おばさん」(ありたみちこ アスラン書房)
 「おはなししまししょう」(谷川俊太郎 福音館書店)
 「おはよう」(中川李枝子 グランママ社) 2
 「おはよう！」(ますだゆうこ そうえん社)
 「おひげおひげ」(内田麟太郎 鈴木出版)
 「おひさま あはは」(前川かずお こぐま社)
 「おひさまとかくれんぼ」(たちもとみちこ 教育画劇)
 「おひさまはよるどこへいくの？」(ギンズバーグ ほるぷ出版)
 「おひさまパン」(エリサ・クレヴェン 金の星社) 2
 「おひめさまようちえんのにんぎょひめ」(のぶみ えほんの杜)
 「おふろだいすき」(松岡享子 福音館書店) 30
 「おふろのくまちゃん」(シャーリー・パレントー 岩崎書店)
 「おへそのひみつ」(やぎゅうげんいちろう 福音館書店)
 「おへんじください」(山脇恭 偕成社) 2
 「おべんとう」(さとうめぐみ ひかりのくに)
 「おべんとうしろくま」(柴田ケイコ PHP 研究所) 6
 「おべんとうなあに？」(山脇恭 偕成社) 4

「おべんとうばこのうた」(さいとうしのぶ ひさかたチャイルド) 3
 「おべんとうバス」(真珠まりこ ひさかたチャイルド) 3
 「おまえうまそうだな」(宮西達也 ポプラ社) 3
 「お守りかえる」(紺汀子 絵本投稿サイト「絵本ひろば」)
 「おもいで星がかがやくとき」(刀根里衣 NHK出版)
 「おもちのかいすいよく」(荻田澄子 学研)
 「おやおや、おやさい」(石津ちひろ 福音館書店)
 「おやすみ、ロジャー ～魔法のぐっすり絵本～」(カール＝ヨハン・エリーノ 飛鳥新社)
 「おやすみ時計」(山岡ひかる 偕成社)
 「おやすみなさいのほん」(マーガレット・ワイズ・ブラウン 福音館書店) 14
 「おやすみなさいフランス」(ラッセル・ホーバン 福音館書店) 8
 「おやすみやさい」(わたなべあや ひかりのくに) 2
 「おやつなんだろう？」(山本和子 ひさかたチャイルド)
 「およげないさかな」(せなけいこ ポプラ社)
 「オレ、カエルやめるや」(デヴ・ペティ マイクロマガジン社) 5
 「オレ・ダレ」(越野民雄 講談社)
 「おながたいくまちゃん」(シャーリー・パレントー 岩崎書店) 2
 「おんなじおんなじおんなじね」(荻田澄子 学研) 2
 「おんなじおんなじももんちゃん」(とよたかずひこ 童心社)

【か】 選択作品数 (異なり 37 のべ 130)

「かいじゅうたちのいるところ」(モーリス・センダック 富山房)
 「かえるがみえる」(まつおかきょうこ こぐま社)
 「かえるくんのみずたまり」(カエルくんのみずたまり 宮西達也) 2
 「かえるとカレーライス」(長新太 福音館書店)
 「かえるののだめやさん」(戸田和代 岩崎書店)
 「かおかおどんなかお」(柳原良平 こぐま社) 2
 「かくれんぼ」(きもとももこ 福音館書店)
 「かさ」(松野正子 福音館書店) 4
 「かささしてあげるね」(はせがわせつこ 福音館書店) 23
 「かさちゃんです」(とよたかずひこ 童心社) 2
 「かたあしだちのエルフ」(おのきがく ポプラ社)
 「かたづけやさーい」(わたなべあや ひかりのくに) 4
 「かたつむりののんちゃん」(高家博成・仲川道子 童心社) 2
 「かたつむりぼうやとかめばあちゃん」(西平あかね 大日本図書)
 「がたんごとんがたんごとん」(安西水丸 福音館書店) 3
 「がちゃがちゃどんどん」(元永定正 福音館書店) 8
 「かっくんこ！」(林よしえ アリス館)
 「がっこうだってどきどきしてる」(アダム・レックス WAVE出版)
 「がったいガッチーン！」(新井洋行 ほるぷ出版) 5
 「カップのいちにち」(おぐまこうじ くもん出版)
 「かばくん」(岸田衿子 福音館書店) 25
 「かばくんのふね」(岸田衿子 福音館書店)
 「かばんうりのガラゴ」(島田ゆか 文溪堂) 5
 「カブトくん」(タダサトシ こぐま社)
 「かぶとむしのぶんちゃん」(高家博成・仲川道子 童心社) 2
 「かまきりのかまくん」(高家博成・仲川道子 童心社)
 「かみさまからのおくりもの」(ひぐちみちこ こぐま社) 2
 「かみなりどんがやってきた」(中川ひろたか 世界文化社) 5
 「かみひこうき」(小林実 福音館書店)

「かめまんねん」(ほんまわか 文研出版)
 「かもさんおとおり」(ロバート・マックロスキー 福音館書店) 5
 「かものはしくんのわすれもの」(かないずみさちこ 大日本図書)
 「からすのパンやさん」(かこさとし 偕成社) 8
 「かれーちゃん」(カレーちゃん きたがわめぐみ) 4
 「かわいいかくれんぼ」(わらべきみか フレーベル館)
 「がんばる! たまごにいちゃん」(あきやまただし 鈴木出版)
 「がんばれ! まつげくん」(石井君枝 文芸社)

【き】 選択作品数 (異なり 22 のべ 72)

「きいちゃん」(ながやまただし BL 出版)
 「きこえる? きこえるよ」(たしろちさと グランママ社)
 「きつねのおきゃくさま」(あまんきみこ サンリード) 2
 「きつねのがっこう」(いもとようこ 講談社)
 「きのしたまさるパン」(飯森ミホ ひさかたチャイルド)
 「君のためにできるコト」(菊田まりこ 学研)
 「キャベツくん」(長新太 文研出版) 3
 「キャベツくんとブタヤマさん」(長新太 文研出版) 2
 「999 ひきのきょうだい」(木村研 ひさかたチャイルド) 2
 「999 ひきのきょうだいのおとうと」(木村研 ひさかたチャイルド) 2
 「999 ひきのきょうだいのほるですよ」(木村研 ひさかたチャイルド)
 「999 ひきのきょうだいのおひっこし」(木村研 ひさかたチャイルド) 3
 「ぎゅっ」(ジェズ・オールバラ 徳間書店) 2
 「きょうのえほん」(いもとようこ 金の星社)
 「きょうのおべんとうなんだろな」(きしだえりこ 福音館書店) 2
 「きょうはしましま」(木野あきこ こぐま社)
 「きょうはなんてうんがいいんだろう」(宮西達也 鈴木出版) 2
 「きょうはなんのひ?」(瀬田貞二 福音館書店) 2
 「きょうりゅうのたまご」(なかがわちひろ 徳間書店)
 「きょだいなきょだいな」(長谷川摂子 福音館書店)
 「きりんいす」(岡井美穂 福音館書店)
 「きんぎょがにげた」(五味太郎 福音館書店) 39

【く】 選択作品数 (異なり 37 のべ 149)

「くいしんぼうのあおむしくん」(槇ひろし 福音館書店)
 「くいしんぼうのくじら」(谷口智則 あかね書房)
 「くずかごおぼけ」(せなけいこ 童心社)
 「くだもの」(平山和子 福音館書店) 41
 「くつつつだいすき〜こななくつあったらいいな〜」(スギヤマカナヨ 福音館書店)
 「くつついた」(三浦太郎 こぐま社) 5
 「くまくまパン」(西村敏雄 あかね書房) 2
 「クマくんのはちみつぶんぶんケーキ」(柳生まち子 福音館書店) 3
 「くまこちゃんのみずたまはんかち」(なかやみわ 鈴木出版)
 「くまさんくまさんなにみてるの?」(ビル・マーチン 偕成社)
 「くまさんのおたすけえんぴつ」(アンソニー・ブラウン BL 出版)
 「くまちゃんせんせい」(マリーニ・モンティーニ 小峰書店)
 「くまのこうちょうせんせい」(こんのひとみ 金の星社)
 「くまのしんぶんきしゃ」(こんのひとみ 金の星社) 2
 「くまのぼりす」(ディック・ブルーナ 福音館)
 「くものうえのハリー」(城井文 バイインターナショナル)

「くものがっこう えんそく」(みらいなな 童話屋)
 「くものもち」(こしたミカ 福音館書店)
 「くもりのちはれ せんたくかあちゃん」(さとうわきこ 福音館書店)
 「くらいくらい」(はせがわせつこ 福音館書店)
 「グリーンマントのピーマンマン」(さくらともこ 岩崎書店) 3
 「クリスマスくろくま」(たかいよしかず くもん出版)
 「くりちゃんとエーメさんのトマト」(どいかや ポプラ社) 2
 「くりちゃんとピーとナーとツー」(どいかや ポプラ社)
 「ぐりとぐら」(中川李枝子 福音館書店) 35
 「ぐりとぐらの1ねんかん」(中川李枝子 福音館書店)
 「ぐりとぐらのえんそく」(なかがわりえこ 福音館書店)
 「ぐりとぐらのかいすいよく」(なかがわりえこ 福音館書店)
 「ぐるぐるぐる」(内田麟太郎 金の星社)
 「ぐるんぱのようちえん」(西内ミナミ 福音館書店) 5
 「クレヨンからのおねがい!」(ドリュー・デイウォルト ほるぷ出版) 2
 「クレヨンのくろくん」(なかやみわ 童心社) 11
 「くろくまのパンケーキ」(小林ゆき子 フレーベル館) 4
 「くろくんとふしぎなともだち」(なかやみわ 童心社) 6
 「くろねこかあさん」(東君平 福音館書店) 4
 「くろねこさんしろねこさん」(得田之久 童心社)
 「くわがたのがたくん」(高家博成・仲川道子 童心社) 2

【け】 選択作品数 (異なり5 のべ5)

「けいとだま」(大槻あかね 福音館書店金の星社)
 「ケーキやけました」(彦坂有紀・もりといずみ 講談社)
 「ゲーとピー」(毛利子来 福音館書店)
 「ゲゲゲ妖怪ずかん」(水木しげる 小学館)
 「月ようびはなにたべる?」(エリック・カール 偕成社)

【こ】 選択作品数 (異なり34 のべ103)

「恋するひと」(レベッカ・ドートゥルメール 朔北社) 2
 「ごきげんならいおん」(ルイーザ・ファティオ 福音館書店)
 「こぐまちゃんおはよう」(わかやまけん こぐま社) 3
 「こぐまちゃんとどうぶつえん」(わかやまけん こぐま社)
 「こぐまちゃんとぼーる」(わかやまけん こぐま社)
 「こぐまちゃんのどろあそび」(わかやまけん こぐま社)
 「こぐまちゃんのみずあそび」(わかやまけん こぐま社) 4
 「こぐまのくうちゃん」(あまんきみこ 童心社)
 「こぐまのたろ」(きたむらえり 福音館書店) 2
 「こぐまのはっぱ」(ほんままゆみ 小峰書店) 2
 「こころとしんぞう」(中川ひろたか 保育社)
 「こすずめのぼうけん」(ルース・エインズワース 福音館書店) 21
 「こぞうのヤンティ」(片平直樹 ひかりのくに)
 「こちょこちょももんちゃん」(とよたかずひこ 童心社)
 「子ねずみくんのクリスマス」(ダイアナ・ヘンドリー ポプラ社)
 「こねてのぼして」(ヨシタケシンスケ ブロンズ新社) 12
 「このあとどうしちゃう」(ヨシタケシンスケ ブロンズ新社)
 「ごぶごぶごぼごぼ」(駒形克己 福音館書店) 6
 「ゴムあたまポンたろう」(長新太 童心社) 2
 「ごめんなさい」(中川ひろたか 偕成社)

「ごめんやさい」(わたなべあや ひかりのくに) 4
 「これはのみのぴこ」(谷川俊太郎 サンリード)
 「ころころころ」(元永定正 福音館書店) 15
 「ごろごろごろ」(長新太 BL出版) 2
 「ごろごろごろん」(とよたかずひこ 鈴木出版)
 「ころんちゃん」(あきやまただし PHP研究所)
 「こわがりおぼけのプー」(ビルヒッテ・ミンネ フレーベル館)
 「こんたのおつかい」(田中友佳子 徳間書店)
 「こんとあき」(林明子 福音館書店) 5
 「こんにちは いぬ」(きたやまようこ あかね書房)
 「こんにちは」(わたなべしげお 福音館書店)
 「こんにちは あかぎつね!」(エリック・カール 偕成社)
 「こんにちは たまごにいちちゃん」(あきやまただし 鈴木出版)
 「こんもりくん」(山西ゲンイチ 偕成社) 3

【さ】選択作品数(異なり 14 のべ74)

「さあ、はこをあけますよ!」(ドロシー・ケンハート 岩波書店)
 「さかさのこもりくん」(あきやまただし 教育画劇) 3
 「さっちゃんのまほうのて」(たばたせいいち 偕成社)
 「SOME DAY いつかはきっと…」(シャーロット・ゾロトフ ほるぷ出版)
 「さよならさんかく」(わかやまけん こぐま社) 2
 「さよならまたね」(かさいまり ひさかたチャイルド) 4
 「ざりがにのあかくん」(高家博成・仲川道子 童心社)
 「さるかにがっせん」(いもとようこ 金の星社)
 「サンタクロースってほんとにいるの?」(てるおかいつこ 福音館書店)
 「3びきのくま」(トルストイ 福音館書店) 15
 「3びきのくま」(ポール・ガルドン ほるぷ出版)
 「三びきのこぶた」(平田昭吾 ポプラ社)
 「三びきのこぶた」(イギリス昔話 福音館書店) 19
 「三びきのやぎのがらがらどん」(マーシャ・ブラウン 福音館書店) 23

【し】選択作品数(異なり 36 のべ88)

「シーソーあそび」(エクトル・シエラ 絵本塾出版)
 「シールのかくれんぼ」(定岡フミヤ 講談社)
 「しかけのないしかけえほん」(のぶみ 幻冬舎) 2
 「じごくのラーメンや」(荻田澄子 教育画劇)
 「しずくのぼうけん」(マリア・テルリコフスカ 福音館書店) 8
 「したじきくんとなかまたち」(二宮由紀子 アリス館)
 「じっちょりんのあるくみち」(かとうあじゅ 文溪堂) 2
 「しっぼ. しっぼ. しっぼっぼ」(木曾秀夫 フレーベル館) 6
 「じぶんだけのいろ」(レオ・レオニ 好学社)
 「しましまぐるぐる」(かしわらあきお 学研)
 「じゃあじゃあびりびり」(まついりこ 偕成社) 3
 「じゃがいもじゃがじゃがさつまいも」(長野ヒデ子 世界文化社) 2
 「ジャッキーつきへいく」(あいはらひろゆき ブロンズ新社)
 「ジャッキーのはつこい」(あいはらひろゆき ブロンズ新社)
 「しゃっくりヒック」(木坂涼 福音館書店)
 「11びきのねこ」(馬場のぼる こぐま社) 4
 「11びきのねことあほうどり」(馬場のぼる こぐま社) 4
 「11びきのねことぶた」(馬場のぼる こぐま社) 2

「11ぴきのねことへんなねこ」(馬場のぼる こぐま社)
 「11ぴきのねこどろんこ」(馬場のぼる こぐま社) 2
 「11ぴきのねこふくろのなか」(馬場のぼる こぐま社)
 「十二支のはやくちことばえほん」(高畠純 教育画劇)
 「14ひきのあさごはん」(いわむらかずお 童心社)
 「14ひきのやまいも」(いわむらかずお 童心社)
 「しゅくだい」(いもとようこ 岩崎書店) 3
 「10ぴきのかえる」(間所ひさこ PHP 研究所)
 「10ぴきのかえるうみへいく」(間所ひさこ PHP 研究所)
 「10ぴきのかえるざんざんやまへ」(間所ひさこ 図書印刷)
 「しょうぶだ!!」(きしらまゆこ フレーベル館) 3
 「しりたがりのこひつじ」(アーノルド・サンドガード 偕成社)
 「しりとりのだいすきなおうさま」(中村翔子 鈴木出版)
 「しろくまちゃんのほっとけーき」(わかやまけん こぐま社) 12
 「しろくまちゃんばんかいに」(わかやまけん こぐま社) 4
 「しろくまのパンツ」(ツペラツペラ ブロンズ新社) 10
 「しろねこしろちゃん」(森佐智子 福音館)
 「しんせつなともだち」(ファンイーチュン 福音館書店)

【す】 選択作品数 (異なり 12 のべ 33)

「すいかくんがね…」(とよたかずひこ 童心社) 2
 「スイミー」(レオ・レオニー 好学社) 4
 「ずーっとずっとだいすきだよ」(ハンス・ウィルヘルム 評論社) 2
 「スーホの白い馬」(大塚勇三再話 福音館書店) 10
 「ずかん・じどうしゃ」(山本忠敬 福音館書店) 4
 「すきすきさくらんぼ」(じゃんぼかめ 国土社) 3
 「すきすきぼうし〜どんなぼうしかぶってみたい?〜」(スギヤマカナヨ 福音館書店)
 「すすめ! かいてんずし」(岡田よししたか ひかりのくに)
 「すっぽんぽーん」(わたなべあや ひかりのくに)
 「すてきな三にんぐみ」(トミー・アンゲラー 偕成社) 3
 「すてきなすてきなアップルパイ」(寮美千子 鈴木出版)
 「すみっこのおぼけ」(武田美穂 ポプラ社)

【せ】 選択作品数 (異なり 6 のべ 16)

「せきたんやのくまさん」(フィービとセルビウォージントン 福音館書店)
 「せきらんうんのいっしょう」(荒木健太郎 ジャムハウス) 2
 「ぜったいぜったいねるもんか!」(マラ・バークマン ほるぷ出版)
 「ぜったいにおしちゃダメ?」(ビル・コッター サンクチュアリ・パブリッシング) 3
 「せつぶんのひのおにっか」(青山友美 講談社) 4
 「せんたくかあちゃん」(さとうわきこ 福音館書店) 5

【そ】 選択作品数 (異なり 11 のべ 50)

「ぞうくんのあめふりさんぽ」(なかのひろたか 福音館書店) 7
 「ぞうくんのさんぽ」(なかのひろたか 福音館書店) 22
 「ぞうのエルマー」(デビット・マッキー BL 出版) 2
 「ぞうはどこへもいかない」(五味太郎 偕成社)
 「そおっとそおっとね」(たんじあきこ ほるぷ出版)
 「そらの100かいだてのいえ」(いわいとしお 偕成社)
 「そらはだかんぼ!」(五味太郎 偕成社)
 「そらめめくとながいがいめめ」(なかやみわ 小学館)

「そらまめくんのあたらしいベット」(なかやみわ 小学館)
「そらまめくんのベッド」(なかやみわ 福音館書店) 12
「そらまめくんのぼくのいちにち」(なかやみわ 福音館書店)

【た】 選択作品数 (異なり 44 のべ 154)

「だいくとおにろく」(松居直再話 福音館書店) 10
「だいじょうぶだいじょうぶ」(いとうひろし 講談社)
「だいすきなグー」(ごとうやすゆき PHP 研究所) 2
「たいせつでいっぱい」(しぶやきみえ 文芸社)
「たいせつなこと」(マーガレット・ワイズ・ブラウン フレーベル館)
「だいちゃんのきいろいけしゴム」(ゆめさきそら 文芸社) 2
「たかいたかい」(礒みゆき ポプラ社)
「たからもののあなた」(まつおりかこ 岩崎書店) 2
「タコさんトコトコどこいくの?」(ツペラツペラ 絵本館)
「たこやきようちえん」(さいとうしのぶ ポプラ社)
「たたくとぼん」(寺村輝夫 あかね書房)
「たっくんのおしろ」(土屋富士夫 ひさかたチャイルド) 6
「だっこだっこ」(古賀ようこ アートダイジェスト)
「だっだぁー」(ナムーラミチヨ 主婦の友社)
「たっちんのダンボールだいぼうけん」(きむらゆういち ひさかたチャイルド)
「だって…」(いしづちひろ 国土社) 3
「たなばたさま」(いもとようこ 金の星社)
「たなばたバス」(藤本ともひこ 鈴木出版)
「たべてみたい!」(いしいひろし 白泉社)
「たまごがあるよ」(風木一木 KADOKAWA)
「たまごさんがね…」(とよたかずひこ 童心社) 5
「たまごにいちちゃん」(あきやまただし 鈴木出版) 2
「たまごねえちゃん」(あきやまただし 鈴木出版)
「たまごのあかちゃん」(神沢利子 福音館書店) 16
「たまごのうた」(市原淳 フレーベル館)
「たまらんちゃん」(つばいじゅり 金の星社)
「だめだめ、デイジー」(ケス・グレイ 小峰書店)
「だるまさんが」(かがくいひろし ブロンズ新社) 23
「だるまさんと」(かがくいひろし ブロンズ新社) 8
「だるまさんの」(かがくいひろし ブロンズ新社) 8
「だるまちゃんとかみなりちゃん」(加古里子 福音館書店) 3
「だるまちゃんとだいこくちゃん」(加古里子 福音館書店)
「だるまちゃんとてんぐちゃん」(加古里子 福音館書店) 2
「だれのおよめさんに…?」(いもとようこ 金の星社)
「たろうのおでかけ」(村山桂子 福音館書店)
「たろうのともだち」(村山桂子 福音館書店) 4
「たんじょうびおめでとう」(わかやまけん こぐま社) 2
「たんじょうびのおくりもの」(ブルーノ・ムナーリ フレーベル館)
「たんじょうびのふしぎなてがみ」(エリック・カール 偕成社) 6
「タンタンのしろくまくん」(いわむらかずお 偕成社)
「タンタンのずぼん」(いわむらかずお 偕成社)
「タンタンのハンカチ」(いわむらかずお 偕成社) 3
「タンタンのぼうし」(いわむらかずお 偕成社)
「たんたんぼうや」(かんざわとしこ 福音館書店) 22

【ち】 選択作品数（異なり 19 のべ 36）

「ちいさいうち」(バー吉ニア・リー・パトソン 岩波書店) 3
「ちいさなうさこちゃん」(ディック・ブルーナ 福音館書店)
「ちいさなおうさま」(三浦太郎 偕成社) 2
「ちいさなきろいかさ」(もりひさし 金の星社)
「ちいさなくも」(エリック・カール 偕成社)
「ちいさなくれよん」(篠塚かをり 金の星社) 3
「ちいさなたまねぎさん」(せなけいこ 金の星社)
「ちいさなねこ」(石井桃子 福音館書店) 9
「ちいさなヒッポ」(マーシャ・ブラウン 偕成社)
「ちがうねん」(ジョン・クラッセン クレヨンハウス)
「ちか100かいだてのいえ」(いわいとしお 偕成社)
「ちっちゃなおさかなちゃん」(ヒド・ファン・ヘネヒテン 学研)
「ちのはなし」(堀内誠一 福音館書店)
「ちびころおにぎり はじめてのおかいもの」(おおいじゅんこ 教育画劇)
「ちゃんとたべなさい」(ゲス・グレイ 小峰書店)
「ちょっといれて」(さとうわきこ 偕成社)
「ちょっとだけ」(瀧村有子 福音館書店)
「ちょっとだけまいご」(クリス・ホートン BL出版) 5
「ちょっとまって」(ささきまゆ 是之堂)

【つ】 選択作品数（異なり 5 のべ 13）

「つきよのおんがくたい」(山下洋輔 福音館書店)
「つとむくのかばみがき」(まつたにみよこ 偕成社)
「つまんないつまんない」(ヨシタケシンスケ 白泉社) 4
「つみき」(中川ひろたか 金の星社) 5
「つみきだいさくせん」(新井洋行 金の星社) 2

【て】 選択作品数（異なり 14 のべ 75）

「ティッチ」(パット・ハッチンス 福音館書店) 23
「てがみぼうやのゆくところ」(加藤晶子 講談社)
「できるかな？あたまからつまさきまで」(エリック・カール 偕成社)
「てくてくてくてく」(大森真貴乃 ひかりのくに)
「でこちゃん」(つちだのぶこ PHP研究所) 6
「でてこいでてこい」(林明子 福音館書店) 7
「てのひらどうぶつえん」(ハン・テヒ 瑞雲舎)
「てぶくろ」(ウクライナ民話 福音館書店) 22
「てるてるちゃんとながぐつ」(おだしんいちろう ひかりのくに)
「てるてるぼうず」(おぐまこうじ くもん出版) 2
「でんしゃがきました」(三浦太郎 童心社) 6
「でんしゃでいこうでんしゃでかえろう」(間瀬なおかた ひさかたチャイルド)
「でんしゃにのって」(とよたかずひこ アリス館) 2
「でんしゃはうたう」(三宮麻由子 福音館書店)

【と】 選択作品数（異なり 58 のべ 155）

「トイレたんけんたい」(おだしんいちろう フレーベル館)
「とうさんまいご」(五味太郎 偕成社)
「どうしてどうして？」(トニー・ミトン 小学館)
「どうするジョージ」(クリス・ホートン BL出版)
「どうするどうするあなのなか」(きむらゆういち 福音館書店) 2

「どうすればいいのかな？」(わたなべしげお 福音館書店) 15
 「どうぞのいす」(香山美子 ひさかたチャイルド) 14
 「どうぶつえんのおふろやさん」(とよたかずひこ ひさかたチャイルド)
 「どうぶつのおかあさん」(小森厚 福音館書店) 16
 「どうぶつのこどもたち」(小森厚 福音館書店) 5
 「とけいのほん1」(まついりこ 福音館書店) 2
 「とこちゃんはどこ」(松岡享子 福音館書店) 8
 「とっとことととこ」(まついりこ 童心社)
 「とっぺんのとけい」(井上よう子 ひさかたチャイルド)
 「となりのせきのますだくん」(武田美穂 ポプラ社)
 「となりの花さかじじい」(馬場のぼる こぐま社)
 「とのさまのひげ」(ますだゆうこ 偕成社)
 「とべないほたる 1 ほたるのたんじょう」(小沢昭巳 ハート出版)
 「とべないほたる 2 ホタルたちのふしぎなよる」(小沢昭巳 ハート出版)
 「とべないほたる 3 つきみそうのまつり」(小沢昭巳 ハート出版)
 「とべないほたる 4 みずたまのゆめ」(小沢昭巳 ハート出版)
 「とべないほたる 5 ののさんのうた」(小沢昭巳 ハート出版)
 「とべないほたる 6 にじのほたる」(小沢昭巳 ハート出版)
 「とべないほたる 7 てんとうむしたちのよる」(小沢昭巳 ハート出版)
 「とべないほたる 8 もりからのおたより」(小沢昭巳 ハート出版)
 「とべないほたる 9 みずべのおやど」(小沢昭巳 ハート出版)
 「とべないほたる 10 ほしづきよのかわべり」(小沢昭巳 ハート出版)
 「とべないほたる 11 ぎんいろのもり」(小沢昭巳 ハート出版)
 「とべないほたる 12 あめあがりのきしべ」(小沢昭巳 ハート出版)
 「トマトさん」(田中清代 福音館書店)
 「ともだちくるかな」(内田麟太郎 偕成社)
 「ともだちごっこ」(内田麟太郎 偕成社)
 「ともだちひきとりや」(内田麟太郎 偕成社)
 「ともだちや」(内田麟太郎 偕成社)
 「どらせんせい「たべちゃいたーい」のまき」(山下明生 ひさかたチャイルド)
 「とりかえっこ」(さとうわきこ ポプラ社) 3
 「トリックオアトリート！」(岡村志満子 くもん出版)
 「どろんこ！どろんこ！」(村上康成 講談社) 4
 「どろんこどろんこ！」(わたなべしげお 福音館書店)
 「どろんこハリー」(ジーン・ジオン 福音館書店) 25
 「どん！」(西村敏雄 金の星社)
 「トンガのきいちごつみ」(広野多珂子 ひさかたチャイルド) 2
 「どんぐりとんぼろりん」(武鹿悦子 ひさかたチャイルド)
 「どんぐりにんじゃ」(浅沼とおる 鈴木出版) 2
 「とんことり」(筒井頼子 福音館書店)
 「とんでけとんでけわがままむし」(さくらともこ 金の星社) 3
 「とんでもない」(鈴木のりたけ アリス館)
 「どんどこどん」(和歌山静子 福音館書店)
 「どんどこももんちゃん」(とよたかずひこ 童心社) 9
 「どんどんくるくる」(中尾昌稔 大日本図書)
 「とんとんとん！だれかな？」(ミカエラ・モーガン 岩崎書店)
 「とんとんとん」(上野与志 ひさかたチャイルド)
 「とんとんとんとんひげじいさん」(藤本ともひこ ひさかたチャイルド) 2
 「どんないろがすき」(フレーベル館)
 「どんなかんじかなあ」(中山千夏 自由国民社)

「どんなにきみがすきだかあててごらん」(サム・マクブラットニィ 評論社)

「とんねるをぬけると」(片山健 福音館書店)

「とんぼのあかねちゃん」(高家博成・仲川道子 童心社)

【な】 選択作品数 (異なり 13 のべ 29)

「なずみさんのながいパン」(多田ヒロシ こぐま社)

「なっとうぼうや」(わたなべあや 学研) 2

「なつみはなんにでもなれる」(ヨシタケシンスケ PHP 研究所) 15

「なつをみつけたよ」(平野恵理子 福音館書店)

「なでなでももんちゃん」(とよたかずひこ 童心社)

「なにしてるなにしてる」(多田ヒロシ こぐま社) 2

「なにたべてきたの?」(岸田衿子 佼成出版社)

「なにをたべたかわかる?」(長新太 絵本館)

「なにをたべてきたの?」(岸田衿子 佼成出版社)

「菜の子ちゃんとキツネ力士」(富安陽子 福音館書店)

「なんだこりゃたまご」(ジェラルド・ローズ ほるぷ出版)

「なんでやねん」(中川ひろたか 世界文化社)

「なんのいろ」(ビーケン・セン 絵本塾出版)

【に】 選択作品数 (異なり 6 のべ 12)

「にいちゃんのなみだスイッチ」(いとうみく アリス館)

「にじいろのさかな」(マークス・フィスター 講談社)

「にじいろのしまうま」(こやま峰子 金の星社)

「にんじゃべんとう」(木坂涼 教育画劇)

「にんじん」(せなけいこ 福音館書店) 7

「にんじんさんがあかいわけ」(松谷みよ子 童心社)

【ね】 選択作品数 (異なり 17 のべ 43)

「ねえどっちがすき」(安江リエ 福音館)

「ねえどれがいい」(ジョン・バーニンガム 評論社)

「ねこざかなのはなび」(わたなべゆういち フレーベル館)

「ねこのニャゴマロ」(サム・ロイド 評論社)

「ねずみくんとかくれんぼ」(なかえよしを ポプラ社)

「ねずみくんとシーソー」(なかえよしを ポプラ社)

「ねずみくんのきもち」(なかえよしを ポプラ社)

「ねずみくんのチョッキ」(なかえよしを ポプラ社) 2

「ねずみのおいしゃさま」(なかがわまさふみ 福音館書店)

「ねずみのかいすいよく」(山下明生 ひさかたチャイルド)

「ネズミのゆうびんやさん」(マリアンヌ・デュブク 偕成社)

「ねないこだれだ」(せなけいこ 福音館書店) 20

「ねむいねむいねずみのあまやどり」(佐々木マキ PHP 研究所)

「ねむとココロ」(木村カエラ)

「ねむりひめ」(グリム童話 福音館書店) 7

「ねられんねられんかぼちゃのこ」(やぎゅうげんいちろう 福音館書店)

「ネルとマリのたからもの」(亀岡亜希子 PHP 研究所)

【の】 選択作品数 (異なり 11 のべ 13)

「のせてのせて」(松谷みよ子 童心社)

「ノラネコぐんだんアイスのくに」(工藤ノリコ 白泉社)

「ノラネコぐんだんそらをとぶ」(工藤ノリコ 白泉社)

「ノラネコぐんだんパンこうじょう」(工藤ノリコ 白泉社)
 「のりのりこさん」(かとうまふみ BL出版)
 「のりものつみき」(よねづゆうすけ 講談社) 2
 「ノンタンあわぶくぶくぷぷぷう」(キヨノサチコ 偕成社)
 「ノンタンいたいのとんでけ〜」(キヨノサチコ 偕成社)
 「ノンタンおしっこしーしー」(キヨノサチコ 偕成社)
 「ノンタンおよぐのだいすき」(キヨノサチコ 偕成社)
 「ノンタンピクニックららら」(キヨノサチコ 偕成社) 2

【は】 選択作品数 (異なり 41 のべ 122)

「はーはのはみがき」(こやまこいこ 教育画劇)
 「バーバパパのジュースづくり」(アネット・チゾン、タラス・テイラー 講談社)
 「歯いしゃのチュー先生」(ウィリアム・スタイグ 評論社)
 「ばいばい」(まつのりこ 偕成社)
 「ばけばけばけばけばけたくん」(岩田明子 大日本図書) 5
 「ばけものづかい」(せなけいこ 童心社) 2
 「はじめてのおつかい」(筒井頼子 福音館書店) 37
 「はしれ！ウリくん」(きむらゆういち 金の星社)
 「バスがきました」(三浦太郎 童心社) 2
 「はだかんぼばなな」(じゃんぼかめ 国土社) 3
 「ばたばたもんちゃん」(とよたかずひこ 童心社)
 「はっぱのおうち」(征矢清 福音館書店)
 「はなちゃんすんごい」(のぶみ あかね書房)
 「バナナじけん」(高島那生 BL出版)
 「バナナわに」(尾崎美記 ひさかたチャイルド)
 「バナナンばあば」(林木林 佼正出版社) 3
 「はなのあなのはなし」(やぎゅうげんいちろう 福音館書店)
 「はなびドーン」(カズコ・G・ストーン 童心社) 2
 「はなをくんくん」(ルース・クラウド 福音館書店) 6
 「バニーといっしょ！おやすみ」(イオルク・ミューレ キーステージ 21) 2
 「パパ、お月さまとって！」(エリック・カール 偕成社) 2
 「はははのはなし」(加古里子 福音館書店)
 「はみがきれっしゃしゅっぱつしんこう！」(くぼまちこ アリス館) 2
 「バムとケロのおかいもの」(島田ゆか 文溪堂)
 「バムとケロのそらのたび」(島田ゆか 文溪堂)
 「バムとケロのにちようび」(島田ゆか 文溪堂) 2
 「はやくはやくっていわないで」(益田ミリ ミシマ社) 2
 「はらぺこあおむし」(エリック・カール 偕成社) 15
 「はらぺこかいじゅうクイシンボーヤ」(きのしたかく Yahoo! きっず「えほんの自由図書館」)
 「はらぺこソーダくん」(岩田明子 佼正出版社)
 「はらぺこニードル」(清水真裕 童心社)
 「ハリーのセーター」(ジーン・ジオン 福音館書店)
 「はりきりみかん」(じゃんぼかめ 国土社) 3
 「はりねずみのはりこ」(なかやみわ 福音館書店)
 「パンケーキを食べるサイなんていない？」(アンナ・ケンプ BL出版)
 「ハンタイおばけ」(トム・マックレイ 光村教育出版)
 「パンダおやこたいそう」(いりやまさとし 講談社) 4
 「パンダともだちたいそう」(いりやまさとし 講談社) 6
 「パンツちゃんとはけたかな」(宮野聡子 教育画劇)
 「パンどうぞ」(彦坂有紀 講談社)

「パンやのくまさん」(フィービとセルビ・ウォージントン 福音館書店)

【ひ】 選択作品数 (異なり 28 のべ 59)

「ぴあのうさぎ」(あきやまただし 金の星社)
「ピーターラビットのおはなし」(ビアトリクス・ポター 福音館書店) 5
「ぴーちゃんくもとぶ」(まついのりこ 偕成社)
「ピーマンとよふかし大まおう」(さくらともこ 岩崎書店) 4
「火うち石でおまたせワン!」(ハンス・クリスチャン・アンデルセン 三起商行)
「ぴかくんめをまわす」(松居直 福音館書店)
「ピカゴロウ」(ひろただいさく・ひろたみどり 講談社) 2
「ピカピカヒーローせっけんくん」(うえたに夫婦 PHP 研究所)
「光の旅かげの旅」(アン・ジョナス 講談社)
「ピッキーとポッキー」(あらしやまこうざぶろう 福音館書店) 3
「ピッキーとポッキーのかいすいよく」(あらしやまこうざぶろう 福音館書店) 2
「びっくりハット」(いそけんじ ひかりのくに)
「びっくりはなび」(新井洋行 講談社) 3
「ひつじばん」(あきやまただし 鈴木出版) 4
「ぴっちとりた まよなかのサーカス」(ながおたくま BL 出版)
「ぴっぽのたび」(刀根里衣 NHK 出版)
「ひとりでうんちできるかな」(きむらゆういち 偕成社)
「ピノキオ」(カルロ・コッローディ 大日本絵画)
「ひまわり」(和歌山静子 福音館書店) 2
「100万回生きたねこ」(佐野洋子 講談社) 4
「100まんびきのねこ」(ワンダ・ガアグ 福音館書店) 6
「100かいだてのいえ」(いわいとしお 偕成社) 2
「ぴょーん」(まつおかたつひで ポプラ社)
「ひよこ」(こがようこ 大日本図書)
「ひよこ」(中川ひろたか 金の星社) 3
「ぴよちゃんとひまわり」(いりやまさとし 学研)
「ピヨピヨスーパーマーケット」(工藤ノリコ 佼正出版社) 3
「ピンクだいすき!」(ピレット・ラウド 福音館書店) 2

【ふ】 選択作品数 (異なり 23 のべ 50)

「ぶーちゃんとおにいちゃん」(島田ゆか 白泉社) 2
「ぶーぶーじどうしゃ」(山本忠敬 福音館書店) 8
「ブーブーブーどこいった」(西村敏雄 学研) 4
「ブカとピチ」(片岡輝 ひさかたチャイルド)
「ふしぎなカサやさん」(みやにしたつや 金の星社) 2
「ふしぎなキャンディーやさん」(みやにしたつや 金の星社)
「ふしぎなふしぎなプレゼント」(マリオ・ラモ 平凡社)
「ふたごのたこたこウインナー」(林木林 ひさかたチャイルド) 2
「ぶたさんたいそう」(くわざわゆうこ フレーベル館)
「ぶたのたね」(佐々木マキ 絵本館) 6
「ブタベイカリー」(角野栄子 文溪堂)
「ふたりはいつもともだち」(もいちくみこ 金の星社)
「ぷっぷっぷ〜」(いしづちひろ くもん出版)
「ふとっちょねこ」(ジャック・ケント 朔北社)
「ふまんがあります」(ヨシタケシンスケ PHP 研究所) 3
「ふゆってどんどころなの?」(工藤ノリコ 学研)
「プリンちゃん」(なかがわちひろ 理論社) 4

「プリンちゃんとおかあさん」(なかがわちひろ 理論社)
「ブルくんとかなちゃん」(ふくざわゆみこ 福音館書店)
「ふるやのもり」(瀬田貞二 福音館書店)
「フレデリック」(レオ・レオニ 好学社) 2
「ぶんとろことたうたう」(わしおとしこ ひさかたチャイルド)
「ぷんぷんおぼけ」(なかがわちひろ 理論社) 4

【へ】 選択作品数 (異なり 8 のべ 20)

「ペコペコざかな」(菅野由貴子 岩崎書店) 2
「ベタベタかめん」(あきやまただし 金の星社) 2
「へびくんのおさんぽ」(いうとひろ 鈴木出版)
「ペンギンかぞくのおひっこし」(刀根里衣 小学館)
「ペンギンきょうだい ふねのたび」(工藤ノリコ ブロンズ新社) 3
「へんしんおてんき」(あきやまただし 金の星社) 3
「へんしんトンネル」(あきやまただし 金の星社) 7
「へんしんマンザイ」(あきやまただし 金の星社)

【ほ】 選択作品数 (異なり 30 のべ 51)

「ぼうしとったら」(ツペラツペラ 学研)
「ボートにのって」(とよたかずひこ アリス館)
「ぼかぼかふとんおやこ」(コダイラヒロミ 教育画劇)
「ポカポカホテル」(松岡節 ひかりのくに)
「ぼく、あめふりお」(大森裕子 教育画劇)
「ぼくとクッキー さよならまたね」(かさいまり ひさかたチャイルド) 4
「ぼくにあるもの」(桑田友美 文芸社) 2
「ぼくのイスなのに！」(ロス・コリンズ PHP 研究所) 6
「ぼくのおべんとう」(スギヤマカナヨ アリス館) 2
「ぼくのくれよん」(長新太 講談社)
「ぼくのだ！わたしのよ！」(レオ・レオニ 好学社)
「ぼくのだいじなあおいふね」(ピーター・ジョーンズ 偕成社)
「ぼくのトイレ」(鈴木のりたけ PHP 研究所)
「ぼくのニセモノをつくるには」(ヨシタケシンスケ) 3
「ぼくのぼんわたしのぼん」(神沢利子 福音館書店) 3
「ぼくのひこうきたんじょう号」(篠原ユキオ コスモ出版)
「ぼくはカメレオン」(たしろちさと グランまま社) 2
「ぼくはきみがすき」(いもとようこ 至光社)
「ぼくはここにいる」(ピーター・レイノルズ 小峰書店)
「ぼくんちカレーライス」(つちだのぶこ 佼正出版社) 3
「星のベイビーサーカス フルーツ島のわんぱくパイレーツ」(きのひなた 星の環会)
「ほしをめざして」(ピーター・レイノルズ 岩崎書店)
「ボタンのくに」(なかむらしげお こぐま社)
「ポチポチのとしょかん」(井川ゆりこ 文溪堂)
「ポッケのワンピース」(つちだのぶこ 学研) 2
「ポッチャーン！」(フィリップ・コランタン 朔北社)
「ほね」(堀内誠一 福音館書店)
「ほわほわさくら」(ひがしなおこ くもん出版)
「ぼんぼんポコポコ」(長谷川義史 金の星社) 4
「ほんをひらいて」(トニ・モリスン&スレイド・モリスン ほるぷ出版)

【ま】 選択作品数（異なり 20 のべ 46）

- 「まあちゃんのながいかみ」（たかどのほうこ 福音館書店）6
「まあちゃんのまほう」（たかどのほうこ 福音館書店）
「まぐらのせんにな そこのあなたの巻」（かがくいひろし 佼正出版社）
「まじょのぼうし」（さとうめぐみ ハッピーオウル社）
「ますだくんのランドセル」（武田美穂 ポプラ社）
「まだかなまだかな」（伊藤正道 偕成社）
「またまた！ねずみくんのチョッキ」（なかえよしを ポプラ社）
「またまたはい！」（みやにしたつや アリス館）
「まないたにりょうりをあげないこと」（シゲタサヤカ 講談社）2
「まねきねこだ!!」（高島那生 好学社）
「まねしんぼう」（みやにしたつや 岩崎書店）5
「まねっポーズ」（たかてらかよ ひかりのくに）
「まほうのえのぐ」（林明子 福音館書店）
「まほうのカメラ」（木曾秀夫 フレーベル館）
「ママがおばけになっちゃった！」（のぶみ 講談社）
「まゆげちゃん」（真珠まりこ 講談社）2
「まる みつけた」（大塚いちお 福音館）
「まるくておいしいよ」（こにしえいこ 福音館書店）12
「まるまる」（中辻悦子 福音館書店）5
「まるまるまるのほん」（エルヴェ・デュレ ポプラ社）

【み】 選択作品数（異なり 7 のべ 10）

- 「みあげるとそら」（赤川明 ひさかたチャイルド）3
「みいたんのかくれんぼ」（小川ナオ 学研）
「みえるとかみえないとか」（ヨシタケシンスケ アリス館）2
「ミッフィーのゆめ」（ディック・ブルーナ 講談社）
「みてみて！」（かとうようこ ポプラ社）
「みてみて！」（谷川俊太郎 福音館書店）
「みんなでつくっちゃた」（長新太 大日本図書）

【む】 選択作品数（異なり 2 のべ 2）

- 「むしとりにいこうよ」（はたこうしろう ほるぷ出版）
「むすんでひらいて」（新井洋行 瑞雲舎）

【め】 選択作品数（異なり 6 のべ 10）

- 「メイシーちゃんのおかいもの」（ルーシー・カズンズ 偕成社）
「メイシーちゃんのかそうパーティ」（ルーシー・カズンズ 偕成社）
「めがねうさぎ」（せなけいこ ポプラ社）
「めがねうさぎのクリスマスったらクリスマス」（せなけいこ ポプラ社）
「めしあがれ」（一、・ 視覚デザイン研究所）
「めっきらもっきらどおんどん」（長谷川摂子 福音館書店）5

【も】 選択作品数（異なり 21 のべ 85）

- 「もいもい」（市原淳 ディカパー・トゥエンティワン）2
「もう、ねるんだってば！」（ジョリー・ジョン そうえん社）
「もうおきるかな？」（まつのまさこ 福音館書店）7
「もうぬげない」（ヨシタケシンスケ ブロンズ新社）18
「もぐらバス」（うちのますみ 偕成社）3
「もこ もこもこ」（谷川俊太郎 文研出版）3

「もしも暗闇がこわかったら夜空に星をくわえましょう」(クーパー・エデنز ほるぷ出版)
 「もじゃもじゃ」(せなけいこ 福音館書店) 7
 「もったいなばあさん」(真珠まりこ 講談社) 2
 「もったいなばあさんがくるよ!」(真珠まりこ 講談社)
 「もったいなばあさんのいただきます」(真珠まりこ 講談社)
 「もったいなばあさんまほうのくにへ」(真珠まりこ 講談社) 3
 「もっちゃうもっちゃうもうもっちゃう」(土屋富士夫 徳間書店) 2
 「もねちゃんのたからもの」(たかおゆうこ 徳間書店)
 「ももたろう」(松井直 福音館書店) 20
 「ももんちゃんあーん」(とよたかずひこ 童心社)
 「ももんちゃんぎゅっ!」(とよたかずひこ 童心社)
 「ももんちゃんしー」(とよたかずひこ 童心社)
 「森のおひめさま」(ジビュレ・フォン・オルファース 平凡社)
 「もりのなか」(マリー・ホール・エッツ 福音館書店) 8
 「もん太と大いのしし」(馬場のぼる ポプラ社)

【や】選択作品数(異なり8 のべ14)

「やさい」(村上祥子 金の星社)
 「やさいさん」(ツペラツペラ 学研) 3
 「やさいのおしゃべり」(泉なほ 金の星社) 2
 「やさいのおなか」(きうちかつ 福音館書店) 2
 「やさいのがっこう ピーマンくんゆめをみる」(なかやみわ 白泉社)
 「やさいのともだち」(神沢利子 ひさかたチャイルド) 3
 「やさしいライオン」(やなせたかし フレーベル館)
 「ヤモップさんぴたっとかいけつ!」(松山円香 あかね書房)

【ゆ】選択作品数(異なり6 のべ6)

「ゆうこのキャベツぼうし」(やまわきゆりこ 福音館書店)
 「ゆうびんやさんおねがいね」(サンドラ・ホーニング 徳間書店)
 「ゆーらりももんちゃん」(とよたかずひこ 童心社)
 「ゆきダルムくん」(伊藤正道 教育画劇)
 「ゆめにここにこ」(柳原良平 こぐま社)
 「ゆめみるひつじのおくりもの」(刀根里衣 小学館)

【よ】選択作品数(異なり8 のべ17)

「ようかいえんにいらっしゃい」(白土あつこ ひさかたチャイルド) 6
 「ようちえんのいちにち」(おかしゅうぞう 佼成出版社) 2
 「よるくま」(酒井駒子 偕成社) 2
 「よるのえほん」(バーバラ&エド・バンバリー あすなろ出版)
 「よるのえんてい」(佐々木洋 講談社)
 「よるのつみきだいさくせん」(新井洋行 金の星社) 3
 「よるのようちえん」(谷川俊太郎 福音館書店)
 「よろしくともだち」(内田麟太郎 偕成社)

【ら】選択作品数(異なり2 のべ23)

「ライオンのかくれんぼ」(やすいすえこ ひかりのくに)
 「ラチとらいおん」(マレーク・ペロニカ 福音館書店) 22

【り】選択作品数(異なり6 のべ14)

「りすでんわ」(高橋和枝 白泉社) 2

「りゅうがあります」(ヨシタケシンスケ PHP 研究所) 6
「りんごがコロコロリンコ」(三浦太郎 講談社)
「りんごころん」(中川ひろたか ブロンズ新社)
「りんごかもしれない」(ヨシタケシンスケ ブロンズ新社) 3
「りんごりんごりんごりんごりんごりんご」(安西水丸 主婦の友社)

【る】 選択作品数 (異なり 2 のべ 3)

「ルラルさんのだいくしごと」(いとうひろし ポプラ社) 2
「ルラルさんのにわ」(いとうひろし ポプラ社)

【れ】 選択作品数 (異なり 2 のべ 3)

「れいぞうこからとーって!」(竹与井かこ アリス館) 2
「れいぞうこにマンモス!」(ミカエル・エスコフィエ 光村教育出版)

【ろ】 選択作品数 (異なり 2 のべ 2)

「ロージーのモンスターたいじ」(フィリップ・ヴェヒター ひさかたチャイルド)
「ローリー・ポーリー・オーリー」(ウィリアム・ジョイス PHP 研究所)

【わ】 選択作品数 (異なり 11 のべ 42)

「わたし」(谷川俊太郎 福音館書店)
「わたしとあそんで」(マリー・ホール・エッツ 福音館書店) 10
「わたしのおべんとう」(スギヤマカナヨ アリス館) 2
「わたしのおほしさま」(のせうりょう ぶんしん出版)
「わたしのかさ」(もりようこ あかね書房) 2
「わたしのワンピース」(にしまきかやこ こぐま社) 20
「わたしはだあれ?」(まつもとさとみ KADOKAWA)
「ワニくんのおおきなあし」(みやざきひろかず BL 出版)
「わにわにのおふろ」(小風さち 福音館書店)
「わるいことがしたい」(沢木耕太郎 講談社)
「わんぱくだんのにんじゃごっこ」(ゆきのゆみこ・上野与志 ひさかたチャイルド) 2

【ん】 選択作品数 (異なり 3 のべ 3)

「んふんふなめこ絵本 うみのそこのひみつ」(せきちさと 岩崎書店)
「んふんふなめこ絵本 さいこうのスープ」(せきちさと 岩崎書店)
「んふんふなめこ絵本 みんなのおうち」(岩崎書店)

■参考文献

- (1) 伊勢明子、吉村真理子「保育者にとっての絵本体験の重要性～保育者の資質を高める絵本ノートの活用について～」
2017 千葉敬愛短期大学紀要 第39号 pp. 449-455

平成30年度運営委員（アイウエオ順）

岡崎 裕美	清水 一巳
黒田 順子	鈴木 健一
齋藤 めぐみ	三浦 謙一
佐久間 敦子	

『千葉敬愛短期大学総合子ども学研究所 年報』

発 行——2019年3月15日

編集者——千葉敬愛短期大学総合子ども学研究所 運営委員会

発行者——千葉敬愛短期大学総合子ども学研究所

所長 鈴木 健一

〒285-8567 千葉県佐倉市山王1丁目9番地

TEL. 043-486-7111(代表) FAX. 043-486-2200

印刷所——大日本法令印刷

千葉敬愛短期大学